

# 英国・フランスにおけるコンテンツ産業調査

2019年3月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

## 【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。

また本レポートに掲載された内容を、ジェトロの許可なく無断複製・転載することを禁じます。

## 目 次

1. 英国.....	1
(1) 英国の市場規模と将来展望 .....	1
① 概要 .....	1
(i) テレビ放送 .....	2
(ii) 劇場用アニメ .....	8
(iii) DVD .....	11
(iv) インターネット配信.....	14
② 市場予測、展望.....	17
③ 主な関連見本市およびイベント .....	20
④ 主要な輸入作品リスト .....	21
(i) 主要なテレビアニメ放映作品一覧.....	21
(ii) 主要な劇場上映アニメ作品一覧.....	23
(iii) 主要な DVD アニメ販売作品一覧.....	25
(iv) 主要なインターネット配信アニメ作品一覧 .....	26
(2) 現地主要企業およびバイヤー .....	28
① 現地主要企業およびバイヤーリスト .....	28
(i) Manga Entertainment Ltd.....	28
(ii) Anime Ltd.....	28
(iii) MVM Entertainment Ltd.....	28
(iv) STUDIOCANAL Ltd .....	29
(v) Sony Pictures Entertainment, UK.....	29
(vi) Universal Pictures Ltd.....	29
(vii) Altitude Film Entertainment Ltd .....	29
(viii) Revelation Films Ltd.....	30
(ix) Anime UK News .....	30
(x) Netflix UK.....	30
(xi) Fetch Publicity .....	30
② バイヤー面談記録.....	30
(i) Manga Entertainment Ltd.....	30
(ii) Anime Limited .....	31
(iii) Fetch Publicity Ltd .....	31
③ ライセンス取引のビジネスフロー .....	33

2. フランス.....	35
(1) フランスの市場規模と将来展望.....	35
① 概要 .....	35
(i) テレビ放送 .....	36
(ii) 劇場用アニメ.....	41
(iii) DVD.....	44
(iv) インターネット配信 (VOD) .....	47
② 市場予測、展望.....	52
③ 主な関連見本市およびイベント.....	53
④ 主要な輸入作品リスト.....	55
(i) 主要なテレビアニメ放映作品一覧.....	55
(ii) 主要な劇場上映アニメ作品一覧.....	56
(iii) 主要な DVD アニメ販売作品一覧.....	59
(iv) 主要なインターネット配信アニメ作品一覧.....	60
(2) 現地主要企業およびバイヤー.....	62
① 現地主要企業およびバイヤーリスト.....	62
(i) VIZ Media Europe .....	62
(ii) Kazé.....	62
(iii) Anime Digital Network.....	63
(iv) Viacom International Media Networks France (Game-One/J-One) .....	63
(v) Crunchyroll .....	64
(vi) Eurozoom.....	65
(vii) Mangas.....	65
(viii) Wakanim.tv.....	65
(ix) Kana Home Video.....	66
(x) Wild Bunch Distribution.....	66
② 現地主要企業およびバイヤーとの面談記録.....	67
(i) Crunchyroll .....	67
(ii) Viz Media Europe (Anime Digital Network/ADN).....	68
(iii) Viacom International Media Networks France (Game-One/J-One) .....	71

## 図表リスト

図 1： 英国家庭におけるテレビ番組の視聴プラットフォーム（2001～2018 年、100 万世帯）	2
図 2： 英国ホームエンターテイメント市場の推移（2014～2018 年）	12
図 3： 英国全体および 16～34 歳層の映像コンテンツの機器別視聴時間（2018 年）	15
図 4： 英国の主要 SVOD サービス加入世帯数の推移（2018 年）	16
図 5： ライセンサーから配給会社が直接購入する場合のフロー	34
図 6： フランスの国営放送局で放映されたアニメーション番組制作国の割合（2017 年）	36
図 7： フランスの主要テレビ局によるアニメ番組のキャッチアップ放送時間（月平均、2017 年）	39
図 8： フランスの劇場公開アニメーション作品制作国の割合（2016～2017 年）	42
図 9： フランスの劇場公開アニメーション作品の観客年齢層（2017 年）	44
図 10： フランスのビデオ市場における DVD/Blu-ray と VOD のマーケットシェアの推移（2012～2017 年推定値）	45
図 11： フランスにおけるアニメーション DVD/Blu-ray 売上の推移（2012～2017 年、税込）	46
図 12： フランスにおけるアニメ VOD プラットフォームのシェア（2018 年 11 月～2019 年 1 月、%）	49
図 13： VIZ EUROPE Group の構成図	62
表 1： 英国の 2017 年劇場公開作品ジャンル別興行収益	1
表 2： 英国の主要テレビチャンネル	3
表 3： 英国の主要な子供向けチャンネル	5
表 4： 英国の主要なテレビアニメ放映作品一覧	5
表 5： 英国およびアイルランドにおける劇場用アニメ作品と全公開作品との比較	8
表 6： 劇場公開映画興行収益トップ 20	9
表 7： 英国の主要なテレビアニメ放映作品	22
表 8： 英国でテレビ放映された主要な日本テレビアニメ作品一覧	22
表 9： 英国でテレビ放映された主要な日本劇場用アニメ作品一覧	22
表 10： 英国の興行収益上位にランクインした主な劇場公開アニメ作品（2016～2018 年）	23
表 11： 英国で過去 2 年に劇場公開されたアニメ映画	24
表 12： 英国で過去に公開された主要な日本制作の劇場用アニメ作品（2016 年以前）	24
表 13： 英国の DVD/Blu-ray 年間上位売上に入ったアニメ作品	25
表 14： 英国の外国語映画作品ビデオフォーマット（DVD、Blu-ray、その他）売上トップ	25
表 15： 英国で視聴可能なインターネット配信されているアニメ作品	27
表 16： 英国でインターネット配信されている諸外国のアニメ作品	27
表 17： 日本のアニメ制作会社の国別有効契約数（2017 年）	35

表 18 :	フランスの子供向けチャンネル (国内放送局) .....	37
表 19 :	フランスの子供向けチャンネル (外国放送局) .....	38
表 20 :	Gulli で紹介されている主なアニメ作品 (2019 年 3 月現在) .....	40
表 21 :	フランス国内制作の劇場用アニメーション作品数と制作費 (2016~2017 年) .....	42
表 22 :	フランスの劇場公開アニメーション映画作品数 (2016~2017 年) .....	42
表 23 :	フランスの新規劇場公開アニメ作品の興行成績 (2016~2017 年) .....	43
表 24 :	フランスにおける新規劇場公開作品本数の制作国別推移 (2012~2017 年) .....	44
表 25 :	フランスの DVD/Blu-ray と VOD の売上 (税込) の推移 (2012~2017 年推定値) ..	45
表 26 :	フランスにおける劇場用アニメーション作品の DVD と Blu-ray の売上 (2017 年) .	46
表 27 :	フランスの主要 VOD プラットフォーム利用者シェアの推移 (2013~2017 年) .....	47
表 28 :	フランスにおけるアニメ TV シリーズの需要ランキング (2018 年 12 月 28~2019 年 3 月 27 日) .....	49
表 29 :	フランスにおける日本のアニメ TV シリーズの需要ランキング (2018 年 12 月 28~2019 年 3 月 27 日) .....	50
表 30 :	フランスで子供向けアニメを配信する主な VOD プラットフォーム.....	52
表 29 :	フランスでテレビ放映された主要な日本テレビアニメ作品 .....	55
表 30 :	フランスでテレビ放映された主要な外国制作テレビアニメ作品 .....	56
表 31 :	フランスで劇場公開された主な劇場用アニメ作品 (2000 年以降、観客動員数順) ....	56
表 32 :	フランスで劇場公開された主な外国制作劇場用アニメーション作品 (公開年 2009 年以 降) .....	57
表 33 :	フランスでリリースされた主なアニメ DVD/Blu-ray .....	59
表 34 :	フランスでリリースされた主な外国制作アニメーション DVD/Blu-ray .....	59
表 35 :	フランスでインターネット配信されている主な日本のアニメ作品とその VOD プラット フォーム (2019 年 3 月現在) .....	60
表 36 :	フランスでインターネット配信されている主な外国制作アニメーション作品とその VOD プラットフォーム.....	61

## 1. 英国

### (1) 英国の市場規模と将来展望

#### ① 概要

英国では「ウォレスとグルミット」シリーズで知られる Aardman Animations<sup>1</sup>、ディズニーや Netflix オリジナル作品を手掛ける Brown Bag Films<sup>2</sup>等、世界的に知られるアニメ制作会社も数多く存在し、また、タックス・リリーフ（税金軽減措置）の効果もあり、アニメ制作が発展している<sup>3</sup>。劇場用映画のジャンル別の興行収益を見ると<sup>4</sup>、アニメ作品は「アクション作品」に続く収益を上げており、人気のジャンルであることが分かる。

表 1： 英国の 2017 年劇場公開作品ジャンル別興行収益

(単位：100 万ポンド)

順位	ジャンル	興行収益	本数
1	アクション	319.8	83
2	アニメ	211.7	48
3	SF	152.2	14
4	ドラマ	144.3	236
5	コメディ	94.4	129
6	ファンタジー	83.8	7
7	ホラー	66.2	29
8	音楽/ダンス	65.5	6
9	戦争	62.4	3
10	アドベンチャー	56.4	10
11	ファミリー	42.7	4
12	犯罪	29.0	11
13	スリラー	26.7	64
14	伝記	13.2	17
15	恋愛	4.4	10
16	ドキュメンタリー	4.3	89
	合計	1,376.9	760

出所：「BFI Statistical Yearbook 2018」P36 より抽出し作成

<https://www.bfi.org.uk/sites/bfi.org.uk/files/downloads/bfi-statistical-yearbook-2018.pdf>

英国においてアニメ作品は子供を対象とした作品が主流である。BBC の番組リスト<sup>5</sup>を見ると、ほとんどのアニメ番組が子供を対象としたものであり、英国で興行収益上位にランクインする劇場用アニメ映画のほとんどが子供およびファミリー層向けの作品である（表 10 参照）。

このように英国のアニメ作品は「子供向け」がメインである。12～13 歳以上をターゲット層に

<sup>1</sup> Aardman Animations Ltd <https://www.aardman.com>

<sup>2</sup> Brown Bag Films Ltd 本社はダブリン（アイルランド）だが、英国（マンチェスター）にもスタジオを持つ。 <https://www.brownbagfilms.com>

<sup>3</sup> 2018 年 10 月 9 日「UK Screen Alliance」HP “UK Animation Industry sees huge boost in production thanks to Animation Tax Relief” <http://www.ukscreenalliance.co.uk/news/article/5324>

<sup>4</sup> 1 ポンド=144.331 円（2019 年 3 月 28 日終値）

<sup>5</sup> BBC “Categories: Animation” <https://www.bbc.co.uk/programmes/formats/animation/all>

した作品はニッチであり<sup>6</sup>、こうした作品は基本的にはコアなアニメファンに支えられている<sup>7</sup>。しかし、近年インターネット配信サービスにおいて、日本の作品タイトルも数多く配信されるようになっており、今後、アニメを取り巻く状況は変化していくと考えられる。

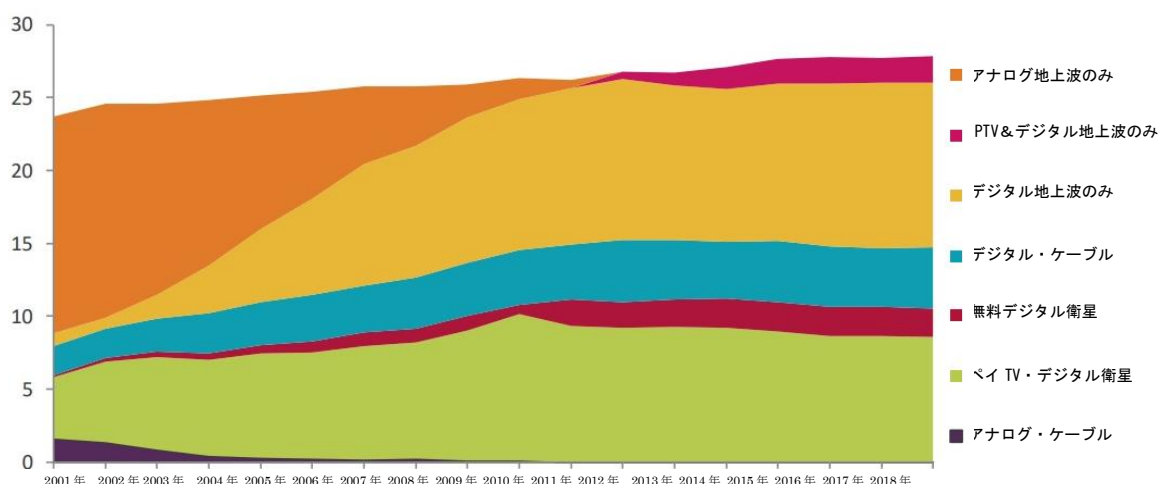
## (i) テレビ放送

近年、英国におけるテレビ放送を取り巻く環境は大きく変化している。英国のテレビ放送のデジタル化、主要テレビ局による VOD（ビデオ・オン・デマンド）への参入、およびインターネットと各デバイスの普及等により、人々のテレビ放送への向き合い方は変容しつつある。

### • 英国のテレビ放送事情

英国は世界に先駆けて 1998 年にデジタル放送を開始した。2007 年から英国全土の地上デジタル化(完全地デジ化)への移行作業が開始され、2012年に完了した<sup>8</sup>。現在、英国情報通信庁(Ofcom)には地上波、衛星/ケーブルを含め約 1,500 チャンネル<sup>9</sup>（地方局を除く）が登録されている。

図 1： 英国家庭におけるテレビ番組の視聴プラットフォーム（2001～2018 年、100 万世帯）



出所：Ofcom Media Nations UK 2018

[https://www.ofcom.org.uk/\\_data/assets/pdf\\_file/0014/116006/media-nations-2018-uk.pdf](https://www.ofcom.org.uk/_data/assets/pdf_file/0014/116006/media-nations-2018-uk.pdf)

地デジ化が進む過程で視聴方法の選択肢が増えた。現在最も利用者が多いのは、住宅にアンテナを設置して受信する「Freeview」<sup>10</sup>と呼ばれる無料デジタル放送である。70 チャンネル（および 15 の HD チャンネル）<sup>11</sup>を有する Freeview は全テレビ視聴の 39.8%（1,130 万世帯）を占め

<sup>6</sup> 2019 年 2 月 26 日に行った Manga Entertainment Ltd の社長 Jerome Mazandarani 氏とマーケティング部長の Andrew Hewson 氏へのインタビュー、および 2019 年 3 月 19 日に行った Fetch Publicity 社長、Almar Hafidason 氏へのインタビューより。

<sup>7</sup> Manga Entertainment Ltd、Fetch Publicity へのインタビューおよび、2019 年 3 月 15 日に行った Anime Limited の社長 Andrew Partridge 氏へのインタビューより。

<sup>8</sup> DTC <https://dtg.org.uk/uk-completes-digital-switchover/>

<sup>9</sup> OfcomHP 2019 年 2 月 13 日更新 <https://www.ofcom.org.uk/manage-your-licence/tv-broadcast-licences/current-licensees>

<sup>10</sup> フリービュー HP <https://www.freeview.co.uk/>

<sup>11</sup> フリービュー HP <https://www.freeview.co.uk/why-freeview/channels>

ている。月額課金制の「ペイ TV」と呼ばれる衛星放送（30.4%）、ケーブルテレビ放送（15.7%）による視聴がそれに続く<sup>12</sup>。

多チャンネル時代に突入した現在、視聴可能なチャンネルは、どのネットワークを利用しているか、および選択しているチャンネルパッケージの内容によって異なる。しかし Ofcom が公共放送と位置付けている主要地上波テレビ局（BBC、および大手民放局 ITV、channel4、C5）が運営するチャンネル<sup>13</sup>は、いずれのネットワークを利用した場合でも視聴可能である<sup>14</sup>。

表 2： 英国の主要テレビチャンネル

チャンネル	系列局
BBC1	BBC
BBC2	
BBC3	
BBC4	
Cbeebies	
CBBC	
BBC News	
ITV	ITV
ITV2	
ITV Be.	
ITV3	
ITV4	
CITV	
ITV HD	Channel4
Channel4	
E4	
More 4	
Film 4	
4S	
4Musuc	Channel5
Channel5	
5Star	
5USA	
5Spie	

出所：各テレビ局の HP から抽出

- ビデオ・オン・デマンド（VOD）

英国では 2007 年から主要地上波テレビ局が VOD サービスを開始している<sup>15</sup>。主要地上波テ

<sup>12</sup> Ofcom "Media Nation 2018" P12 [https://www.ofcom.org.uk/data/assets/pdf\\_file/0014/116006/media-nations-2018-uk.pdf](https://www.ofcom.org.uk/data/assets/pdf_file/0014/116006/media-nations-2018-uk.pdf)

<sup>13</sup> Ofcom は BBC が運営する全チャンネル、および ITV、Channel4、Channel5、SPC（Sianel Pedwar Cymru、ウェールズのテレビ局）のメインチャンネルを"Public service broadcasting (PSB) television（公共放送）"と定義づけている。しかし SPC 英国全土のテレビで視聴可能ではないため、本報告書では主要地上波チャンネルを BBC、ITV、Channel4、Channel5 の 4 局が提供する各チャンネルとする。  
<https://www.ofcom.org.uk/tv-radio-and-on-demand/information-for-industry/public-service-broadcasting>

<sup>14</sup> ITV HD 等、HD 放送のみ Freeview では視聴できず、ペイ TV でのみ視聴可能な場合がある。

<sup>15</sup> 2018 年 5 月 7 日「ガーディアン」 "BBC, ITV and Channel 4 in talks to create UK streaming service"  
<https://www.theguardian.com/film/2018/may/07/bbc-itv-and-channel-4-in-talks-to-create-uk-streaming-service-combat-netflix-amazon>



ビ局が提供する VOD サービスは BVOD (Broadcaster Video On Demand :ブロードキャスター・ビデオ・オン・デマンド) と呼ばれる。具体的には現在テレビで放送中の番組がテレビ以外のデバイス (パソコン、タブレット、スマートフォン) から同時に視聴できる「インターネット常時同時配信」、期間限定 (ほとんどの場合が 1 カ月以上) でほぼすべての過去放送番組を何度でも視聴できるアーカイブへのアクセス、番組コンテンツのデバイスへのダウンロード (期間限定のオフライン視聴) 等の提供を行っている。これらのサービスは ITV のダウンロードサービス<sup>16</sup>以外はすべて無料である。

VOD は英国コンテンツ市場において著しい成長を遂げているが (この点については「(v)インターネット配信」の項で記述)、BVOD の普及により主要地上波テレビ局が VOD のエリアでもメイン・プレイヤーでもあるという現象が起こっている。Ofcom が 2017 年に行った調査<sup>17</sup>によると、『テレビ以外の方法』でテレビ番組を見る方法」として、回答者の 63%が BBC の VOD サービス「BBC iPlayer」を挙げており、英国における VOD の浸透ぶりが伺える。従来のように放送時間や視聴場所に縛られずテレビ番組を楽しめ、または録画をしないと見逃してしまう心配もなくなり、テレビはインターネット環境やデバイスがあれば「いつでもどこでも視聴可能」なものとなっている。

VOD の急速な普及によって、テレビの視聴方法や習慣も大きく変化している<sup>18</sup>。Ofcom が 2017 年に行った調査<sup>19</sup>によると、成人による映像 (オーディオビジュアル) の 1 日あたりの平均視聴時間は 5 時間 1 分であった。テレビのライブ放送を含めたテレビ放送の視聴が 71%と最も多いものの、その割合は低下している。特に 16~34 歳への調査では全体のテレビ放送の視聴は 45%であり、Youtube や SVOD (定額制動画配信) を含めたテレビ放送以外のコンテンツを視聴する割合が高くなっている (図 4 参照)。

- 英国の子供向けチャンネル

英国のテレビチャンネルで放送されているアニメは欧米制作の子供向け作品が主流であり、アニメ作品をコンスタントに放送しているのは子供向けチャンネルである。主要地上波局は子供向けチャンネルも持っており、また Freeview や各衛星放送、ケーブルテレビでも子供向けチャンネルを視聴できる。

欧州全体で 329 局ある子供向けチャンネルの半数以上 (56%) は英国のチャンネルとなっている<sup>20</sup>。これには英国を欧州の拠点とする米国資本のチャンネルも多く含まれ、「ニコロデオ

---

<sup>16</sup> ITV の視聴サービス「ITV HUB」がオフライン視聴用ダウンロードをする場合、月 3.99 ポンドの定額料金が発生。BBC と Channel4 は同サービスも無料、Channel5 はこのサービスが存在しない。

<sup>17</sup> Ofcom " Box Set Britain: UK's TV and online habits revealed" <https://www.ofcom.org.uk/about-ofcom/latest/media/media-releases/2017/box-set-britain-tv-online-habits>

<sup>18</sup> HuffPost UK " British TV Habits In Five Charts " [https://www.huffingtonpost.co.uk/damian-radcliffe/british-tv-habits\\_b\\_18440934.html](https://www.huffingtonpost.co.uk/damian-radcliffe/british-tv-habits_b_18440934.html)

<sup>19</sup> Ofcom 「Media Nation 2018」 " Total audiovisual viewing time spent per day, all adults vs. 16-34s: 2017" [https://www.ofcom.org.uk/\\_data/assets/pdf\\_file/0014/116006/media-nations-2018-uk.pdf](https://www.ofcom.org.uk/_data/assets/pdf_file/0014/116006/media-nations-2018-uk.pdf)

<sup>20</sup> European Audiovisual Observatory(MAVISE) "Media Ownership: Children's TV channels in Europe" P8

(Nickelodeon)」、「カートゥーン ネットワーク (Cartoon Network)」、「ディズニー・チャンネル (Disney Channel)」等、アメリカ資本の子供向けチャンネルも多く放送されており、輸入されたテレビアニメ放映作品の多くは米国作品である<sup>21</sup>。

表 3： 英国の主要な子供向けチャンネル

チャンネル	系列局	プロバイダー (地上波、衛星、ケーブル)		
		Freeview	Sky	Virgin Media
cbbc	BBC	○	○	○
Cbeebies		○	○	○
Citv	ITV	○	○	○
itvBe.		○	○	○
5+1	Channel5	○	○	○
Pop	Pop TV	○	○	○
tiny pop		○	○	○
Pop Max		○	○	○
ディズニー・チャンネル	ディズニー・チャンネル		○	○
ディズニー・ジュニア			○	○
ディズニー XD			○	○
カートゥーン ネットワーク	カートゥーン ネットワーク		○	○
ブーメラン			○	○
ブーメラン HD			○	○
ニコロデオン	ニコロデオン		○	○
ニコロデオン HD			○	○
ニック Jr.			○	○
ニック Jr. Too			○	○
ニックトゥーン			○	○
ZooMoo HD				○
Baby TV			○	○
cartoonito			○	○

出所：各ネットワークの番組表から抽出して作成

表 4： 英国の主要なテレビアニメ放映作品一覧

Cbeebies		ニックトゥーン		カートゥーン ネットワーク	
タイトル	制作国	タイトル	制作国	タイトル	制作国
Charlie and Lola	英国	スポンジ・ボブ	米国	Steven Universe	米国
デンジャーマウス	英国	Kids Danger	米国	Ben 10	米国
Hey Duggee	英国	Rise of the Teenage Mutant Ninja Turtles	米国	Teen Titans Go!	米国
Go Jetters	英国	Welcome to the Wayne	米国	Craig of the Creek	米国
カズーブ!	オーストラリア	ザ・ラウド・ハウス	米国	Cloudy with a Chance of Meatballs	米国
Alphablocks	英国	Mysticons	カナダ	Unikitty	デンマーク
Bitz & Bob	英国	ラグラッツ	米国	ぼくらベアベアーズ	米国

出所：「Cbeebies」「ニックトゥーン」「カートゥーン ネットワーク」HP より作成  
<https://www.bbc.co.uk/cbeebies>、<http://www.nick.co.uk>、<https://www.cartoonnetwork.co.uk>

<sup>21</sup> 「Cbeebies」および「ニコロデオン」でのアニメ放映作品を調査。

- アニメ作品のテレビ放映

英国のテレビチャンネルでは古くは 1969 年 BBC 放送の「海底少年マリン」<sup>22</sup>、1978 年に放送された「科学戦隊ガッチャマン」<sup>23</sup>にさかのぼり、数多くの日本のテレビアニメ作品が放映されてきた。現在英国で最も人気のある日本制作のテレビアニメ作品は「ポケットモンスター」であり 6、その他では「ベイブレード」、「ドラゴンボール」、「遊☆戯☆王」が続く<sup>24</sup>。こうした子供向け作品はおもちゃメーカーにも IP（知的財産、ここではキャラクター使用权）がライセンスされている。

「ポケットモンスター」は現在 ITV の子供向けチャンネル「CITV」と子供向けチャンネル「Pop Max」<sup>25</sup>で放映されている。また、エンターテインメントチャンネル「Viceland」<sup>26</sup>でもアニメ作品を放映しているものの（表 8 参照）、レギュラー放送されている日本のテレビアニメシリーズの作品は多くない<sup>27</sup>。テレビアニメ作品ではないが、スタジオ・ジブリ制作の劇場用映画はほぼ全作品が英国でテレビ放映されて人気がある<sup>28</sup>（表 9 参照）。

日本のテレビアニメシリーズは主に「Anime Central」<sup>29</sup>（2007～2008 年）や「Jetix」<sup>30</sup>（1998～2009 年）等の衛星放送およびケーブルテレビ・ネットワークのアニメ専門チャンネルで放映されていた。しかし 2010 年前後に Anime Central、Jetix、CNX、Toonami 等、日本のテレビアニメを放送してきたチャンネルが相次いで閉局した<sup>31</sup>。また、かつては衛星放送「Sky（スカイ）」の SF チャンネル「Syfy（元 Sci-Fi）」に日本テレビアニメ放映枠があったが<sup>32</sup>、現在は「Film4」「Syfy」等で劇場用作品とテレビシリーズを含めたアニメを特集するシリーズが設けられることはあるが、レギュラー放映はしていない<sup>33</sup>。

こうした現象は、アニメが英国においては常にニッチ市場であるものの、テレビ放映権が高額であり、放送局側にとってコスト面で見合わないことが原因に挙げられる<sup>34</sup>。子供向けコンテンツがアニメ放送の主流である英国において、アニメは「子供のもの」というイメージが今なお根強

---

<sup>22</sup> BBC “Marine Boy” <https://genome.ch.bbc.co.uk/schedules/bbccone/london/1969-02-05#at-16.55>

<sup>23</sup> BBC “Classic TV Battle of the Planets” <http://www.bbc.co.uk/cult/classic/battle/intro.shtml>

<sup>24</sup> Manga Entertainment Ltd, Anime Limited, Fetch Publicity へのインタビューより。

<sup>25</sup> TV Guide <https://www.tvguide.co.uk/titlesearch.asp?title=pokemon>

<sup>26</sup> Viceland [https://tvguide.viceland.com/en\\_uk](https://tvguide.viceland.com/en_uk)

<sup>27</sup> 2009 年 6 月 9 日「ガーディアン」 ” Why is anime invisible on British TV?”

<https://www.theguardian.com/culture/tvandradioblog/2009/jun/09/anime-japan-tv>

<sup>28</sup> Channel4 “Studio Ghibli: The Complete Adventure on Film4”

<https://www.channel4.com/programmes/film4/articles/all/studio-ghibli-the-complete-adventure-on-film4/5885>

<sup>29</sup> Otaku News “Anime Central Vanishes from Sky” <https://www.otakunews.com/Article/1346/anime-central-vanishes-from-sky>

<sup>30</sup> Variety “Disney XD replaces U.K.’s Jetix” <https://variety.com/2009/tv/news/disney-xd-replaces-u-k-s-jetix-1118004978/>

<sup>31</sup> 2009 年 6 月 9 日「ガーディアン」 ” Why is anime invisible on British TV?”

<https://www.theguardian.com/culture/tvandradioblog/2009/jun/09/anime-japan-tv>

<sup>32</sup> Anime News Network “Sci-Fi Channel”

<https://www.animenewsnetwork.com/encyclopedia/company.php?id=2422>

<sup>33</sup> Syfy の番組表で確認。 <http://www.syfy.co.uk/>

<sup>34</sup> 2009 年 6 月 9 日「ガーディアン」 ” Why is anime invisible on British TV?”

<https://www.theguardian.com/culture/tvandradioblog/2009/jun/09/anime-japan-tv>

く残っている。アニメのファンは英国にも多く、多くの情報サイト<sup>35</sup>やアニメ同好会が存在する<sup>36</sup>。しかし、日本のテレビアニメには青年層向きの作品が多く、英国の厳しいセンサーシップ（検閲、Ofcom が行う）<sup>37</sup>の壁を超えるのが難しい。放送する場合でも深夜枠に限られ、メインストリームになりづらい<sup>38</sup>。アニメ作品は地上波テレビチャンネルで高い頻度で放送されるコンテンツではないため<sup>39</sup>、英国において「よく見かける」という感覚に乏しく、（日常的にアニメ番組を視聴する）子供世代にとって強い存在感を発揮するまでに至っていない。

「Akira」「攻殻機動隊」等のヒット作を手掛けている Manga Entertainment Ltd は、インタビューの中で「アニメ作品は 12～13 歳以上をターゲットにしたものが多く、『子供世代に望ましい内容』と判断されないこともある」と語っている。さらに「テレビ局側はティーンエイジャーや、特に 15～35 歳ぐらいまでの男性層が魅力的に感じるコンテンツを放送してテレビ視聴に繋がりたいと考えているが、大きなアクションを行っている様子はあまりない。この市場の大部分を Netflix（等のインターネット配信）が掌握している」と指摘する。

アニメそのものは一定の需要があるものの、上記のような理由からこれまで青年層をターゲットとしたアニメ作品の多くがテレビ放映されることなく直接 DVD 化されてきた。Netflix<sup>40</sup>、Amazon Prime<sup>41</sup>等の米系大手インターネット動画配信サービスや Crunchyroll<sup>42</sup>等のアニメ作品に強い配信サイトが視聴者を拡大して以降<sup>43</sup>、日本テレビアニメ作品はメインの放映の場をテレビからインターネット動画配信サービスへと移行している<sup>44</sup>。

- テレビ放映の重要性

アニメ作品が英国でテレビ放映される場合、英国のテレビ各局は英国ローカルの配給会社経由でテレビ放映に必要な EST（視聴権販売型）権を取得するのが一般的である。毎年フランス・カンヌで MIPCOM や MIPTV といったコンテンツマーケットが開催される。日本からアニメコンテンツを多く保持するテレビ・キー局やメジャーIP（知的財産権）管理会社（ポケモン、講談社、東映アニメ、Viz Media 等）が参加し、権利の取引が行われる。

しかし、英国のテレビ局はアニメ作品の権利取得のために、こうしたコンテンツマーケットを

---

<sup>35</sup> Anime UK News <https://animeuknews.net/>

<sup>36</sup> Brit Anime <http://www.britanime.org.uk/ukclubs.htm>

<sup>37</sup> Communications Act 2003 <https://www.legislation.gov.uk/ukpga/2003/21/contents>

<sup>38</sup> 2009年6月9日「ガーディアン」 ” Why is anime invisible on British TV?”

<https://www.theguardian.com/culture/tvandradioblog/2009/jun/09/anime-japan-tv>

<sup>39</sup> 2009年6月9日「ガーディアン」 ” Why is anime invisible on British TV?”

<https://www.theguardian.com/culture/tvandradioblog/2009/jun/09/anime-japan-tv>

<sup>40</sup> Netflix UK <https://www.netflix.com/gb/>

<sup>41</sup> Amazon Prime の動画配信部門「Prime Video」を指す。本報告書では「Amazon Prime」と表記する。

<https://www.amazon.co.uk/Amazon-Video/b?ie=UTF8&node=3010085031>

<sup>42</sup> Crunchroll <https://www.crunchyroll.com/>

<sup>43</sup> 2017年7月8日「Radiotimes」 ” Japanese anime is finally going mainstream in the UK. What's going on – and why now?” <https://www.radiotimes.com/news/2017-07-08/japanese-anime-is-finally-going-mainstream-in-the-uk-whats-going-on-and-why-now/>

<sup>44</sup> 2009年6月9日「ガーディアン」 ” Why is anime invisible on British TV?”

<https://www.theguardian.com/culture/tvandradioblog/2009/jun/09/anime-japan-tv>

利用することはあまりない。英国におけるアニメ配給のリーディング・カンパニーは Manga Entertainment Ltd、Anime Limited、MVM Entertainment Ltd の3社であるが<sup>45</sup>（「(2) ①現地主要企業およびバイヤーリスト」参照）、英国のローカル市場に根差しているこうした配給会社を通じてアニメ作品の放映権を取得することが多い<sup>46</sup>。

アニメのメイン放映の場がインターネット配信に移行しつつある現在も、英国市場に特化している配給会社にとって、テレビは大衆に訴えることができるメディアであり、重要な存在である<sup>47</sup>。インターネット配信サービスは潤沢な資金を持つ大手が世界規模でサービスを展開しており、英国ローカル市場をターゲットにしている配給会社が同様の手法で競争するのは困難である。よりローカル市場に特化し、DVDやBlu-rayの販売につなげる宣伝効果、および作品のブランド力をあげるためにも全国放送を行うテレビチャンネルへの放映権販売はローカル配給会社にとっては重要である。

## (ii) 劇場用アニメ

### • 英国における劇場公開アニメ状況

2017年に英国およびアイルランドで劇場公開された映画作品は760本であり、観客動員数は1億7,060万人であった<sup>48</sup>。劇場用アニメ作品は48本であり、これは劇場公開作品全760本の6.3%にあたる。他ジャンル（ドラマ236本、コメディ129本）と比較すると公開数は少ないものの、興行収益で比較すると、全興行収益13億7,600万ポンドの内、アニメ作品の収益は2億1,1070万ポンドに上り、全体の15.4%を占めている。これはアクション作品（興行収益3億1,980万ポンド）に続く収益である。2015年、2016年も同程度の収益を記録していることから、アニメ作品は映画産業における重要度は高いといえる。

表5：英国およびアイルランドにおける劇場用アニメ作品と全公開作品との比較

	興業収益 (単位：100万ポンド)		公開本数		全体数との比較 (%)	
	全体	アニメ	全体	アニメ	数	収益
2015年	£1,298.40	£210.00	759	29	3.80%	16.20%
2016年	£1,262.00	£210.70	821	44	5.40%	16.70%
2017年	£1,376.90	£211.70	760	48	6.30%	15.40%

出所：BFI "STATISTICAL YEARBOOK 2016"

<https://www.bfi.org.uk/sites/bfi.org.uk/files/downloads/bfi-statistical-yearbook-2016.pdf>

"STATISTICAL YEARBOOK 2017"

<https://www.bfi.org.uk/sites/bfi.org.uk/files/downloads/bfi-statistical-yearbook-2017.pdf>

"STATISTICAL YEARBOOK 2018"

<https://www.bfi.org.uk/sites/bfi.org.uk/files/downloads/bfi-statistical-yearbook-2018.pdf>

<sup>45</sup> Manga Entertainment Ltd へのインタビューおよび Anime Limited の社長 Andrew Partridge 氏へのインタビューによる。英国におけるアニメ・セールスの規模は、1位 Manga Entertainment Ltd、2位 Anime Limited、3位 MVM Entertainment Ltd の順である。Anime Limited によると、デジタル分野だけの場合、Anime Limited がトップである。

<sup>46</sup> Manga Entertainment Ltd へのインタビューによる。

<sup>47</sup> Manga Entertainment Ltd および Anime Limited へのインタビューによる。

<sup>48</sup> BFI "lm at the Cinema 2018"

<https://www.bfi.org.uk/sites/bfi.org.uk/files/downloads/bfi-film-at-the-cinema-2018-07-20.pdf>

英国で公開される劇場用映画の過半数以上が欧米制作の作品であり、インド映画がそれに続く。アニメ作品については、興行収益の上位を占める作品のほとんどが米国および英国制作の作品である。

表 6： 劇場公開映画興行収益トップ 20

2017年				2018年			
	タイトル	配給会社	制作国		タイトル	配給会社	制作国
1	スター・ウォーズ/最後のジェダイ	Disney	米国	1	アベンジャーズ/エンドゲーム	Disney	米国
2	美女と野獣	Disney	米国	2	マンマ・ミーア! ヒア・ウィー・ゴー	UPI	米国
3	ダンケルク	WB	英国・他	3	インクレディブル・ファミリー	Disney	米国
4	グレイテスト・ショーマン	Fox	米国	4	ブラックパンサー	Disney	米国
5	怪盗グルーのミニオン大脱走	UPI	米国	5	ボヘミアン・ラブソディ	Fox	英国・米国
6	パディントン 2	StCanal	英・仏	6	ジュラシック・ワールド/炎の王国	UPI	米国
7	ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー:リミックス	Disney	米国	7	ピーターラビット	Sony	米国・英国・オーストラリア
8	ジュマンジ/ウェルカム・トゥ・ジャングル	Sony	米国	8	メリー・ポピンズ リターンズ	Disney	米国
9	IT/イット “それ”が見えたら、終わり。	WB	米国	9	デッドプール 2	Fox	米国
10	マイティ・ソー バトルロイヤル	Disney	米国	10	ファンタスティック・ビーストと黒い魔法使いの誕生	WB	英国・米国
11	スパイダーマン:ホームカミング	Sony	米国	11	アリー/スター誕生	WB	米国
12	ワイルド・スピード ICE BREAK	UPI	米国	12	グリーンチ	UPI	米国
13	ラ・ラ・ランド	Lions Gate	米国	13	ウィンストン・チャーチル/ヒトラーから世界を救った男	UPI	英国
14	ボス・ベイビー	Fox	米国	14	ミッション:インポッシブル/フォールアウト	PPI	米国
15	SING/シング	UPI	米国	15	アクアマン	WB	米国
16	レゴバットマン ザ・ムービー	WB	米国・他	16	ヴェノム	Sony	米国
17	キングスマン: ゴールドメン・サークル	Fox	英国・米国	17	リメンバー・ミー	Disney	米国
18	オリエント急行殺人事件	Fox	米国	18	ハン・ソロ/スター・ウォーズ・ストーリー	Disney	米国
19	LOGAN/ローガン	Fox	米国	19	モンスター・ホテル クルーズ船の恋は危険がいっぱい?!	Sony	米国
20	フィフティ・シェイズ・ダーカー	UPI	米国	20	フィフティ・シェイズ・フリーズ	UPI	米国

注) ハイライトした作品はアニメ作品

出所: Box Office Mojo から抽出 <https://www.boxofficemojo.com/intl/uk/yearly/>



- 英国における日本の劇場用アニメ状況

現在、英国で劇場公開されている日本のアニメ映画は年間多くても 10 本程度、少ないと 5 本以下という現状（表 11 参照）であるが、「ポケットモンスター みんなの物語」（2018 年）等、上映館が 300 カ所を超えて公開されている作品もある。

日本制作の劇場用アニメ映画では、1991 年に公開された大友克洋監督「Akira」（1988 年）<sup>49</sup>や 2003 年に公開されて高い評価を受けた「千と千尋の神隠し」（2001 年）<sup>50</sup>等のスタジオ・ジブリ作品の功績が大きい。「Akira」は英国をはじめとする欧米諸国に日本アニメの存在感を知らしめたと言われており<sup>51</sup>、スタジオ・ジブリ作品はアニメファン以外の層にも大きく知られる存在である。

スタジオ・ジブリの作品はほぼすべて劇場公開されている。またスタジオ・ジブリ出身の監督が制作した作品は劇場公開されることが多く、「時をかける少女」以降の細田守監督作品、米林宏昌監督の全作品も公開されている。

新海誠監督作品は過去に制作された全作品が英国で DVD 発売されておりイベント上映等も行われてきたが<sup>52</sup>、2016 年に公開された「君の名は。」は英国で新海監督の名を広く知らしめるきっかけとなった。劇場公開に先立ち日本制作アニメ作品として初となるロンドン映画祭のコンペティション部門に選出され、各メディアで大きく取り上げられた<sup>53</sup>。劇場動員数は約 6 万人<sup>54</sup>であり、通常アニメを見ない層にも支持され<sup>55</sup>、新しい世代のヒットメーカーとして英国のアニメファンに大きなインパクトを与えた。

続く 2017 年に公開された片渕須直監督作品「この世界の片隅に」も高い評価を獲得した<sup>56</sup>。こうした話題作が続いたことが、日本アニメへの注目度を上げる結果となった。

2019 年は新海監督の新作「天気の子」が 7 月 19 日に日本公開される。（業界関係者）皆が次なる『君の名は。』を探している状態」と、Manga Entertainment はインタビューの中で語り<sup>57</sup>、英国のアニメ業界関係者も大いに注目している。

---

<sup>49</sup> 2013 年 7 月 10 日「ガーディアン」” Akira: the future-Tokyo story that brought anime west”  
<https://www.theguardian.com/film/2013/jul/10/akira-anime-japanese-cartoon-manga>

<sup>50</sup> 2013 年 9 月 3 日「ガーディアン」 “Sprited Away”  
<https://www.theguardian.com/film/2003/sep/12/spirited-away-review>

<sup>51</sup> BFI “30 years of Akira – teenage kicks, anime-style” <https://www.bfi.org.uk/news-opinion/news-bfi/features/30-years-akira-teenage-kicks-anime-style>

<sup>52</sup> BFI “June 2012 at BFI Southbank” <https://www.bfi.org.uk/sites/bfi.org.uk/files/downloads/bfi-press-release-june-2012-at-bfi-southbank-2012-04-26.pdf>

<sup>53</sup> 2016 年 11 月 9 日「ガーディアン」紙 ”Makoto Shinkai: could the anime director be cinema's 'new Miyazaki'”  
<https://www.theguardian.com/film/2016/nov/09/makoto-shinkai-director-anime-your-name>

<sup>54</sup> Anime Limited へのインタビューによる。

<sup>55</sup> Anime Limited へのインタビューによる。

<sup>56</sup> 2017 年 6 月 27 日「インディペンデント」紙 “In This Corner of the World review: a dream-like portrait of what was lost in the blast of Hiroshima”  
<https://www.telegraph.co.uk/films/0/in-this-corner-of-the-world-review-a-dream-like-portrait-of-what/>

<sup>57</sup> Manga Entertainment Ltd へのインタビューによる。

Manga Entertainment は 2019 年 1 月 23 日に「ドラゴンボール超 ブロリー」を劇場公開した。劇場公開の場合、日本公開と海外での公開に数カ月～1年以上の時差が生じることがあるが、同作品の日本公開は 2018 年 12 月 14 日、米国公開は 2019 年 1 月 19 日公開であり、日米公開とほぼ同時期で英国での公開が実現した。大手インターネット配信を相手に競争するのは難しいものの、劇場用長編アニメ映画は競争が比較的穏やかであり、「ドラゴンボール」等、「すでにブランドを確立しているシリーズ作品の場合、中規模ヒットであってもマネタイズが可能である」と同社は語っている。こうした理由から同社は劇場公開を手掛けることに意欲的であり、2015 年に「ドラゴンボール Z 復活の「F」」（興行収益 20 万ポンド、観客動員数約 2 万 1,000 人）、2018 年 12 月「僕のヒーローアカデミア」（興行収益 25 万 6,000 ポンド、観客動員数約 2 万 7,000 人）が公開された<sup>58</sup>。「ドラゴンボール超 ブロリー」はその中でも最大のヒット作となり、観客動員数約 10 万人<sup>59</sup>、約 100 万ポンドの興行収益を記録した<sup>60</sup>。同社によると「これは日本の劇場用アニメ作品の興行収益としては「千と千尋の神隠し」に次ぐ歴代 2 位の収益である」という<sup>61</sup>。

このように話題作が継続的に英国で劇場公開されているものの「アニメ作品は視聴者の約 1%程度しかリーチしていない」と Anime Limited は厳しい指摘をしている。10 万人を動員した「ドラゴンボール超 ブロリー」も「熱烈なアニメファン層が観客であり、そのほとんどが男性（であったはず）」と推測される。この点からも「(ii) テレビ放送」で記した通り、全国規模での露出・拡散が可能なテレビ放映の重要性が裏付けられる。

### (iii) DVD

#### • 英国の DVD 市場

英国の DVD 市場は 2004 年がピークであり、小売りビデオ（DVD & Blu-ray 及び VHS）の売上は 22 億 4,500 万ポンドであったが<sup>62</sup>、その後、下降をたどり、2018 年は 6 億 1,600 万ポンドであった<sup>63</sup>。エンターテインメントのデジタル化が急速に進む中、英国の DVD 市場は縮小の一途をたどっている。

2014 年から 2018 年までのホームエンターテインメント市場の推移をみると、市場そのものは 4.2%/年の割合で上昇しているが<sup>64</sup>、DVD 販売および DVD レンタルは 2014 年から半減となっている。また 2014 年は DVD の売り上げ（セル&レンタル DVD）は、デジタルの売り上げ（SVOD、

---

<sup>58</sup> Manga Entertainment Ltd へのインタビューによる。映画のチケット 1 枚を 9.50 ポンドとし、興行収益から観客動員数を同社が計算した。

<sup>59</sup> Anime Limited へのインタビューによる。

<sup>60</sup> Manga Entertainment Ltd の HP “Dragon Ball Super: Broly breaks £1M box office”  
<https://www.mangauk.com/dragon-ball-super-broly-breaks-1m-box-office/>

<sup>61</sup> Manga Entertainment Ltd へのインタビューによる。

<sup>62</sup> BFI “Film on Physical Video (2015-2016)” P3&4  
<https://www.bfi.org.uk/sites/bfi.org.uk/files/downloads/bfi-statistical-yearbook-film-on-physical-video-2015-2016-08-25.pdf>

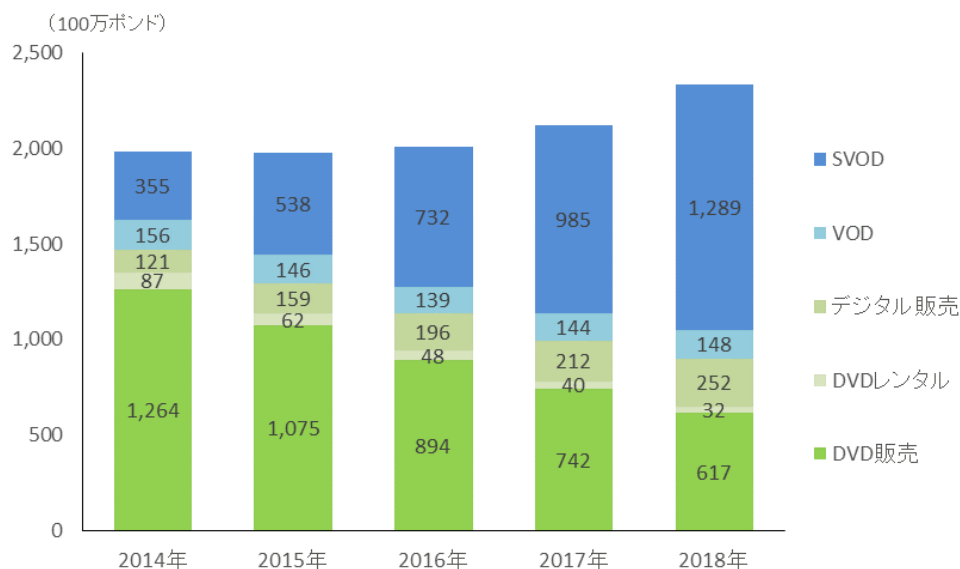
<sup>63</sup> British Association for Screen Entertainment “Home Entertainment Market 2014-2018”  
<https://baseorg.uk/insights/market-insight/>

<sup>64</sup> British Association for Screen Entertainment “Home Entertainment Market 2014-2018”  
<https://baseorg.uk/insights/market-insight/>



買い切り型 VOD、デジタルレンタル) の約 2.5 倍もの売り上げであったが、2018 年には全く逆の状況になっており、デジタル売り上げが DVD 売り上げの約 2.5 倍となっている。

図 2： 英国ホームエンターテイメント市場の推移 (2014～2018 年)



出所：British Association for Screen Entertainment “Home Entertainment Market 2014-2018”  
<https://baseorg.uk/insights/market-insight/>

DVD レンタルサービスの業務停止も続いている<sup>65</sup>。店舗展開をしていた米系 DVD レンタルチェーン「ブロックバスター」が 2013 年に経営破たんした<sup>66</sup>。Amazon UK は 2011 年にオンライン注文による DVD 宅配レンタルサービス「Love Film」を買収し DVD レンタルサービスを開始したが、2014 年にインターネット配信サービス「Amazon Prime」を開始し、2017 年に DVD 宅配レンタルサービスから撤退した。

DVD のセールスの減少とデジタルのセールスの増加は 2015 年が分岐点になった。2016 年に DVD とデジタルのセールスの売り上げが逆転したことは、大きな話題となった<sup>67</sup>。

クリスマスに贈り物をする文化がある英国において、DVD はプレゼントとして人気の商品である。「エンターテインメント・リテラーズ・アソシエーション」の 2017 年発行のプレスリリース<sup>68</sup>には CEO キム・ベイリー氏は「年間でクリスマスシーズンはデジタルセールスより DVD (および CD) フォーマットが強い時期である」とコメントしており、デジタル時代においても「フィ

<sup>65</sup> Wired “A love letter (of sorts) to LoveFilm”  
<https://www.wired.co.uk/article/lovefilm-uk-closed-amazon-dvd-rental>

<sup>66</sup> 2013 年 1 月 16 日「ガーディアン」 “Blockbuster joins UK retail casualty list and calls in the administrators”  
<https://www.theguardian.com/business/2013/jan/16/video-chain-blockbuster-falls-into-administration>

<sup>67</sup> 2017 年 1 月 5 日「ガーディアン」 “Film and TV streaming and downloads overtake DVD sales for first time”  
<https://www.theguardian.com/media/2017/jan/05/film-and-tv-streaming-and-downloads-overtake-dvd-sales-for-first-time-netflix-amazon-uk>

<sup>68</sup> 2017 年 1 月 5 日 Entertainment Retailers Association プレスリリース “Entertainment sales reached £6.3bn in 2016”  
<https://eraltd.org/news-events/press-releases/2017/entertainment-sales-reached-63bn-in-2016/>

ジカル (=ハードフォーマットの DVD や Blu-ray) 商品のニーズを裏付けている。しかし 2018 年 12 月末には英国最大のホームエンターテインメント小売チェーンであった「HMV」が経営破たんした。クリスマス前の 1 週間は英国でもっとも消費が伸びる時期であるが、2018 年の同時期の売り上げは、前年比で DVD は 31%、Blu-ray は 33%減少、DVD 離れの傾向を浮き彫りにした。

このような状況で、アニメ作品を含めた映像コンテンツの中には DVD で発売されない作品も多くある。かつては英国で劇場公開やテレビ放映がされない作品も DVD で流通していたが、現在は日本製アニメ作品も含め VOD のみで流通している作品もある (表 15 参照)。

- アニメ作品の DVD 発売

2009 年にアニメ専門チャンネル Anime Central の閉局以降、アニメを安定して視聴できるフォーマットは DVD のみであった時代もある。現在でもスタジオ・ジブリの作品は現在、「火垂るの墓」「かぐや姫の物語」<sup>69</sup>「レッドタートル ある島の物語」<sup>70</sup>の 3 作品を除いてインターネット配信されていないため、テレビ、または DVD で視聴されている。スタジオ・ジブリ作品は外国語映画作品の DVD 売り上げの常に上位を独占しており、長年にわたり強い人気がある (表 14 参照)。

しかしインターネット配信の成長によって、アニメコンテンツは大手配信サービスで大量に視聴が可能になった。現在アニメ作品のメインプラットフォームはインターネット配信であり、2025 年前後までに、DVD および Blu-ray による展開は終了するとの予測もある<sup>71</sup>。

英国ローカルに根差すアニメの配給会社は自社でインターネット配信を行っても Netflix や Amazon Prime、Crunchyroll 等の世界規模の大手に太刀打ちできないため、自社でのストリーミング配信サービスは行わず、DVD と Blu-ray のみ展開するケースが多い。この場合、配給会社はライセンサー (実施許諾者) から各エピソードの独占的ビデオグラム (DVD & Blu-ray) 配給権のみを取得する。インターネット配信会社による配信終了後に DVD と Blu-ray 化して発売するが、制作コストと市場導入コストは自社で支払わなければならない。インターネット配信での利益を DVD 発売のコストに回せないため、配給会社にとっては厳しいビジネスでもあるという<sup>72</sup>。

アニメタイトルの DVD 販売の場合、小規模展開の作品は 1 タイトル 1,000~2,000 枚程度のセールスであり、既存のアニメファンをターゲットにしている。レギュラーでテレビ放映をしている「ポケットモンスター」等の全国規模で人気の作品は英国の大手スーパー・チェーン (Tesco、

---

<sup>69</sup> 2018 年 5 月 6 日「ガーディアン」"Where to find anime film gems online"

<https://www.theguardian.com/film/2018/may/06/where-to-find-anime-film-gems-online-takahata-kon>

<sup>70</sup> Amazon UK "The Red Turtle" <https://www.amazon.co.uk/Red-Turtle-Emmanuel-Garjjo/dp/B072FS1FLS/>

<sup>71</sup> Manga Entertainment Ltd へのインタビューによる。Anime Limited もインタビューの中で「2~3 年以内に DVD 市場は終了するだろう」と述べている。

<sup>72</sup> Manga Entertainment Ltd へのインタビューによる。

Sainsbury's、Asda 等) で 7 ポンド程度で発売されており<sup>73</sup>、一般の子供層を広くターゲットにしている。

また、コアなファンとコレクターを対象にした「豪華版 (特別版) DVD」というカテゴリーも存在する。Manga Entertainment は「攻殻機動隊 (テレビ版 52 話)」ボックスセットを定価 100 ポンドで 1,000 セット発売した。現在、テレビ放映しておらず、また DVD でしか見られない作品をまとめて見られるこうしたボックスセットはコアなファンに人気であり、高額であっても購入される。Anime Limited は、「アニメの DVD 市場は、低価格 (5.99 ポンド〜) の商品ではなく、高額なコレクターズ用豪華版 (60 ポンド〜) にシフトしている」とコメントしている。DVD 産業が衰退しつつある中、こうしたコレクターの存在が DVD 産業を支えている<sup>74</sup>。

#### (iv) インターネット配信

- 英国におけるインターネット配信サービスの利用状況

2018 年に行われた調査<sup>75</sup>によると英国の 90% の家庭でインターネットを利用しており、78% の成人がインターネットに接続可能な携帯電話またはスマートフォンを所持している。また、2017 年の調査<sup>76</sup>によると、52% の家庭において、テレビにインターネットが接続されており、動画配信サービスを視聴する環境は整っていると言える。

こうした背景の中、動画配信サービスの勢いが増している。全世代で映像コンテンツ全体の時間と視聴方法を比較すると、従来通りテレビでのライブ放映視聴時間 (174 分/1 日) がもっとも長い。しかし 16~34 歳の視聴動向では、テレビでのライブ放映視聴時間が 97 分に下がり、放送コンテンツ (Broadcast Contents) よりも SVOD、Youtube 等の非放送コンテンツ (Non-broadcast Contents) <sup>77</sup> の視聴時間の方が長くなっている (図 3)。

---

<sup>73</sup> Manga Entertainment Ltd へのインタビューによる。

<sup>74</sup> Fetch Publicity へのインタビューより。

<sup>75</sup> 英国国家統計局 (National Statistics) ”Internet access – households and individuals, Great Britain: 2018“

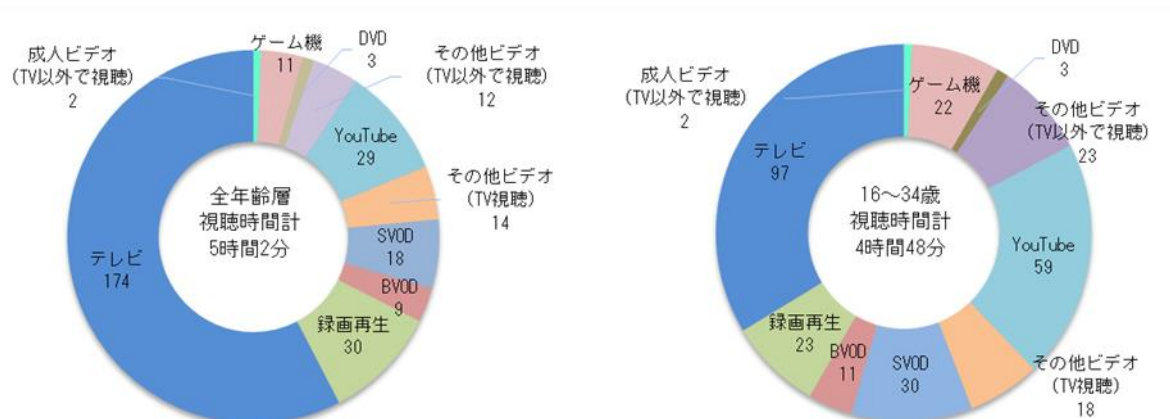
<https://www.ons.gov.uk/peoplepopulationandcommunity/householdcharacteristics/homeinternetandsocialmediausage/bulletins/internetaccesshouseholdsandindividuals/2018#9-out-of-10-households-have-internet-access>

<sup>76</sup> Ofcom “Media Nation 2018” P14 [https://www.ofcom.org.uk/data/assets/pdf\\_file/0014/116006/media-nations-2018-uk.pdf](https://www.ofcom.org.uk/data/assets/pdf_file/0014/116006/media-nations-2018-uk.pdf)

<sup>77</sup> Ofcom は「Media Nation2018」で、オーディオビジュアル視聴について、放送コンテンツ (Broadcast Contents。ライブ放映、放送の録画、BVOD を指す) とそれ以外の非放送コンテンツ (Non-broadcast Contents、具体的には SVOD、Youtube、DVD 等) に分けて分析している。

[https://www.ofcom.org.uk/data/assets/pdf\\_file/0014/116006/media-nations-2018-uk.pdf](https://www.ofcom.org.uk/data/assets/pdf_file/0014/116006/media-nations-2018-uk.pdf)

図 3： 英国全体および 16～34 歳層の映像コンテンツの機器別視聴時間（2018 年）



出所： Ofcom “Media Nation 2018” P21 [https://www.ofcom.org.uk/data/assets/pdf\\_file/0014/116006/media-nations-2018-uk.pdf](https://www.ofcom.org.uk/data/assets/pdf_file/0014/116006/media-nations-2018-uk.pdf)

インターネット配信の中でも、特に大きな成長を遂げているのが SVOD（定額制動画配信）サービスである。2018 年第一四半期に SVOD の収益がペイ TV（衛星放送およびケーブルテレビ）の収益を初めて上回った<sup>78</sup>。また BARB (Broadcasters' Audience Research Board) が行った 2018 年第 3 四半期の調査によると<sup>79</sup>、英国において、Netflix<sup>80</sup>、Amazon Prime<sup>81</sup>、Now TV が SVOD のトップ 3 であり、英国の全世帯の 40.9%にあたる 1,160 万世帯が上記 3 社の提供する SVOD サービスの少なくとも 1 つのサービスに加入している<sup>82</sup>。加入世帯は全体で前年比 22%増、英国の SVOD をリードする Netflix の加入世帯数は 1 年間で 220 万世帯も増加した。こうした SVOD の勢いについて、Ofcom は「(SVOD が) テレビ視聴の習慣を大きく変えている」と評している<sup>83</sup>。

<sup>78</sup> Ofcom "TV streaming services overtake pay TV for first time" <https://www.ofcom.org.uk/about-ofcom/latest/media/media-releases/2018/streaming-overtakes-pay-tv#2>

<sup>79</sup> BARB (Broadcasters' Audience Research Board) 2019 年 1 月 "The SVOD Report" <https://www.barb.co.uk/download/?file=/wp-content/uploads/2019/01/BARB-SVOD-White-Paper-2019.pdf>

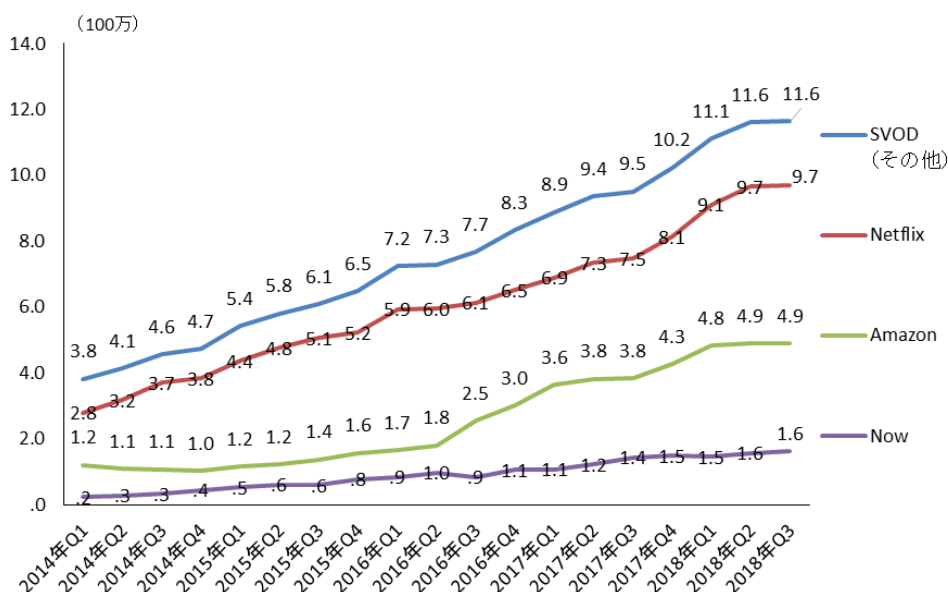
<sup>80</sup> Netflix UK <https://www.netflix.com/gb/>

<sup>81</sup> Amazon Prime Video <https://www.amazon.co.uk/Amazon-Video/b?ie=UTF8&node=3010085031>

<sup>82</sup> TV Vision " BARB: SVOD use rises 22% year-on-year in the UK " <https://tbivision.com/2019/01/24/barb-svod-use-rises-22-year-on-year-in-the-uk/>

<sup>83</sup> Ofcom “TV streaming services overtake pay TV for first time” <https://www.ofcom.org.uk/about-ofcom/latest/media/media-releases/2018/streaming-overtakes-pay-tv>

図 4： 英国の主要 SVOD サービス加入世帯数の推移（2018 年）



出所：BARB (Broadcasters' Audience Research Board) 2019年1月 "The SVOD Report"  
<https://www.barb.co.uk/download/?file=/wp-content/uploads/2019/01/BARB-SVOD-White-Paper-2019.pdf>

• アニメ作品のインターネット配信状況

「(i) テレビ放送」で述べた通り、現在、英国でアニメ作品を地上波及びペイ TV（衛星放送、ケーブルテレビ等）によるテレビ放映で視聴できる機会は少ないものの、SVOD では数多くの作品を視聴することが可能である。この分野において大手 SVOD サービス Netflix と Amazon Prime が業界をけん引している存在である<sup>84</sup>。Netflix は 2012 年 3 月に、Amazon Prime は 2014 年 2 月<sup>85</sup>にインターネット配信サービスを開始した<sup>86</sup>。両サービス共にアニメ作品のラインナップが豊富で、Netflix が制作・配信しているオリジナルのアニメ作品のラインナップについて、大きく報道され話題となっている<sup>87</sup>。

コアなアニメファンには Crunchyroll や FunimationNow<sup>88</sup>等、アニメコンテンツに強い配信サービスが人気である<sup>89</sup>。中でも 2007 年にアメリカでサービス開始した Crunchyroll は、日本制作のアニメ、ドラマ、漫画作品を専門としている配信サイトである。2017 年に全世界の有料会員数（月額制課金契約をしているサブスクリバラー）が 100 万人を超え、2018 年 10 月には 200 万

<sup>84</sup> Wired “The best anime movies and series on Netflix and Amazon Prime”

<https://www.wired.co.uk/article/best-anime-movies-tv-series-netflix-amazon>

<sup>85</sup> 2014 年 2 月 21 日「ガーディアン」 “Amazon takes on Netflix with rebrand of LoveFilm video-on-demand service” <https://www.theguardian.com/technology/2014/feb/21/amazon-lovefilm-revamp-film-tv-rental>

<sup>86</sup> Netflix は SVOD のみの展開であるが、Amazon Prime は SVOD と TVOD (Transactional Video On Demand/都度課金型動画配信) を提供している。 <https://help.netflix.com/en/node/41049>  
<https://www.amazon.co.uk/gp/help/customer/display.html?nodeId=201994480>

<sup>87</sup> 2018 年 10 月 26 日 Anime UK News “The List of Anime Coming to Netflix this December 2018!” <https://animeuknews.net/2018/11/the-list-of-anime-coming-to-netflix-this-december-2018/>

<sup>88</sup> Funimation <https://www.funimation.com/>

<sup>89</sup> 2009 年 6 月 9 日「ガーディアン」 “Why is anime invisible on British TV?” <https://www.theguardian.com/culture/tvandradioblog/2009/jun/09/anime-japan-tv>

人を超えた。現在、無料会員（課金契約はしてないがサイト登録はしている）は 4,000 万人以上に達しており<sup>90</sup>、英国でも高い人気を誇っている。

Crunchyroll と FunimationNow は 2016 年から約 2 年間、お互いが配信権を持つ作品をシェアするパートナーシップ協定を結び、同じ作品に Crunchyroll は字幕をつけて配信、FunimationNow は吹き替え付きで配信していた<sup>91</sup>。しかし、現在 Sony の傘下の FunimationNow が自社ブランドのグローバル化を図り、パートナーシップは 2018 年 11 月 9 日に解消された<sup>92</sup>。しかし、その直後に英国版 Amazon Prime 内の 1 チャンネルという形で、Amazon Prime を経由して FunimationNow の作品を視聴できるシステムが導入された<sup>93</sup>。このように SVOD を舞台にアニメの配信および視聴方法は今後も変化すると予想される。

Manga Entertainment は英国内のアニメファンは約 35 万人と推測しており、また Anime Limited は「コアなアニメファン」は約 20 万人と推測している。Crunchyroll は英国内の会員数を発表していないが、アニメファンにとって身近な存在である。Manga Entertainment による、35 万人ほぼ全員が有料・無料いずれかの方法で Crunchyroll を視聴し、年齢層中心は 17～25 歳、有料会員は 10 万人程度と推測している。

全世界に 1 億 3,900 万人<sup>94</sup>の有料会員を持つ Netflix は視聴データの公開を厳しく制限しているが、Manga Entertainment は「全世界で約 1,000 万人がアニメを視聴している」と推測している。Anime Limited は日本国外にいる Netflix のレギュラー視聴者のうち、10%程度がアニメを視聴していると推測しており、2 社共に Netflix には巨大なアニメ視聴者層が存在すると考えている。

## ② 市場予測、展望

### ・ 制作から配信まで「一本化」の流れ

かつて映像コンテンツは制作と配給（放映・配信）は別の会社が担うものであった。しかし Netflix および Amazon Prime によるコンテンツ制作事業への参入以降、制作から配信までを自社で行っている。このように現在アニメを含む映像コンテンツ業界では制作からインターネット配信までを同じ会社が一括して行うのが世界的なトレンドになっている<sup>95</sup>。

---

<sup>90</sup> Anime News Network “Crunchyroll Surpasses 2 Million Subscribers”  
<https://www.animenewsnetwork.com/daily-briefs/2018-10-26/crunchyroll-surpasses-2-million-subscribers/.138374>

<sup>91</sup> 2016 年 9 月 8 日 Crunchyroll “Crunchyroll and Funimation Partner to Expand Access to Anime!”  
<https://www.crunchyroll.com/anime-news/2016/09/08/crunchyroll-and-funimation-partner-to-expand-access-to-anime>

<sup>92</sup> 2018 年 10 月 18 日 Variety “Sony’s Funimation Ends Anime Licensing Pact With Crunchyroll”  
<https://variety.com/2018/digital/news/funimation-ends-crunchyroll-anime-licensing-deal-sony-1202984211/>

<sup>93</sup> 2018 年 11 月 12 日 Funimation “Prime Video Channels launches Sony Pictures Television’s Funimation Now”  
<https://www.funimation.com/blog/2018/11/12/prime-video-channels-launches-sony-pictures-televisions-funimationnow/>

<sup>94</sup> 2019 年 1 月 18 日 CNN “Netflix adds 9 million paying subscribers, but stock falls”  
<https://edition.cnn.com/2019/01/17/media/netflix-earnings-q4/index.html>

<sup>95</sup> Manga Entertainment Ltd へのインタビューによる。



このトレンドには大きく分けて 2 つの流れがある。1 つは大手企業によるインターネット配信会社の買収である。SONY は米国最大のアニメ配給会社 Funimation (FunimationNow 運営) を 2017 年に買収 (① (iv) 参照)、米国の大手通信会社 AT&T は 2018 年に Crunchyroll を買収した。また 2019 年 2 月には、SONY 傘下である世界最大級のアニメ IP 所有企業である「アニプレックス<sup>96</sup>」がアニメ専門の映像プラットフォーム AnimeLab を運営する Madman Anime (オーストラリア) を買収した<sup>97</sup>。巨大企業が買収を進めることでコンテンツ制作から劇場公開、インターネット配信までのシステムの本格化がさらに進むことになるだろう。また SONY のように、所有する IP やゲーム等の別事業の展開が注目されている企業もある<sup>98</sup>。この流れは今後、欧州にも訪れると予想される<sup>99</sup>。

もう 1 つの流れは、既存の企業によるインターネット配信サービスの開始である。2019 年秋にアップル社がインターネット配信「アップル TV+」のサービスを開始する<sup>100</sup>。現段階でアニメ作品の動向は、著名な映画監督や俳優らと連携して映画や番組、ドキュメンタリーを制作すると発表した。ディズニーも、2017 年に「2019 年に Netflix でのディズニー制作作品の配信を終了する」と宣言し、本年末までに自社の動画配信プラットフォーム「Disney +」を開始予定である。ワーナー・ブラザーズ、米インターネット会社「コムキャスト」も同様のビジネスの展開を予定しているとみられる<sup>101</sup>。

- IP 展開の変化

IP (知的財産) の展開にも今後変化が予想される。フランスやドイツではアニメ・キャラクターが出演する舞台やコンサートのツアーが行われており、また、大手企業の商品とアニメ・キャラクターがコラボするビジネスモデル (例: ファーストフード・チェーンとのコラボ等) もフランスで展開しているが、英国ではこうしたモデルはあまりみられない。こうしたビジネスの成立には、一般への大規模露出が可能であるテレビ放映がいまだ影響力を持っていると Manga Entertainment は指摘している。しかし、今後は会員数の多いインターネット配信がより大きな力を持っていく可能性がある。

- Netflix 資本によるアニメ作品の増加

Manga Entertainment は現在、アニメ作品「キャノン・バスターズ」を Netflix と共同制作している。同作品は米国人ラション・トーマスが監督を務め、日本のアニメ制作会社「サテライト」

---

<sup>96</sup> 株式会社アニプレックス HP [https://www.sme.co.jp/s/SME/page/company\\_corporate-group?ima=2942](https://www.sme.co.jp/s/SME/page/company_corporate-group?ima=2942)

<sup>97</sup> 2019 年 2 月 9 日アニメーションビジネス・ジャーナル 「アニプレックス、豪州アニメ配給大手 Madman Anime を 23 億円で買収か」 <http://animationbusiness.info/archives/7174>

<sup>98</sup> Manga Entertainment Ltd へのインタビューによる。

<sup>99</sup> Anime Limited へのインタビューによる。

<sup>100</sup> 2019 年 3 月 26 日日本経済新聞「アップル動画配信参入 定額制、100 カ国・地域で」  
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO42905100W9A320C1MM0000/>

<sup>101</sup> Radio Times “What is Apple TV+? Everything you need to know about Apple’s new streaming subscription service”  
<https://www.radiotimes.com/news/on-demand/2019-03-25/apple-streaming-service-what-is-it-tv-shows-movies-launch-releases-cost/>

<sup>102</sup>が実制作を担当するものの日本の資本が入らないため、制作国は米国と英国となる。

Netflix は同社がネットワークを持つ 190 カ国に配信されることから、プロデューサーや監督等、制作側には魅力的である。また Netflix で放映されることで（キャラクター展開を行うための）IP の販売もしやすくなる<sup>103</sup>。こうした作品は日本のアニメの制作技術が入っており、アニメのテイストがあるため、視聴者ターゲット層は従来通りのアニメファン層である。しかし実際には日本制作のアニメ作品ではない。今後このようなビジネスモデルで制作される作品増えていくことが予想されるが、こうした流れに日本がどのように対応し、アニメのブランド力が守れるか。今後の日本のフレキシブルな対応が問われる。

- アニメファンの男女比の変化

これまで英国におけるアニメファン層は男性 70%、女性 30%程度の男女比であると考えられてきた。しかし、近年、この男女比に変化が起きている。現在、英国アニメファンのうち、48～52%程度が女性であると考えられている<sup>104</sup>。年 2 回開催されている日本文化イベント「Hyper Japan ((vii) 主な関連見本市およびイベント参照)」の来場者の男女比はほぼ同じであり、ロンドンとバーミンガムで開催されている MCM Comic Con (③主な関連見本市およびイベント参照) の入場者も男性 60%、女性 40%である。このような状況から Manga Entertainment は「女性のアニメファンが増えているのではないかと推測し、「女性に親しみやすい内容の日本のアニメ作品が増えていることが理由ではないかと分析する<sup>105</sup>。この現象をアニメの配給会社は歓迎している<sup>106</sup>。

- 日本以外のアジア製アニメ作品

インタビュー<sup>107</sup>によると、英国において（日本以外の）アジア制作のアニメ作品の人気は高くない。中国はアニメ制作に乗り出したばかりであるが、子供向け中心である。韓国のヨン・サンホ監督の作品はコアなアニメファンには注目されているものの、クリエイターの名前で作品が視聴される作品は日本作品以外にはほぼないのが現状である<sup>108</sup>。しかし Netflix はフィリピン、タイ、韓国、台湾、シンガポール等のアジア諸国のコンテンツ制作に投資しており<sup>109</sup>、今後、英国でも市場が拡大する可能性がある。

- 中国市場と規制が及ぼす影響

日本のアニメ作品はこれまでほとんどは、制作および資金調達も含めて日本国内で完結していた。しかし、ここ 10 年、特に過去 5 年でその状況が変化しつつあり、中国からの投資が拡大して

---

<sup>102</sup> 2017 年 8 月 3 日 ING Japan “「マクロス Δ」のサテライトが海外クリエイターと組み送り出す「キャノン・バスターズ」が Netflix で配信決定” <https://jp.ign.com/netflix/16114/news/netflix>

<sup>103</sup> Manga Entertainment Ltd へのインタビューによる。

<sup>104</sup> Anime Limited へのインタビューによる。

<sup>105</sup> Manga Entertainment Ltd へのインタビューによる。

<sup>106</sup> Manga Entertainment Ltd および Anime Limited へのインタビューによる。

<sup>107</sup> Manga Entertainment Ltd および Anime Limited へのインタビューによる。

<sup>108</sup> Anime Limited へのインタビューによる。

<sup>109</sup> 2019 年 11 月 8 日ロイター通信” Netflix steps up original Asian content to hook international viewers” <https://www.reuters.com/article/us-netflix-asia/netflix-steps-up-original-asian-content-to-hook-international-viewers-idUSKCN1ND0AM>



いる。中国の大手動画共有プラットフォームである「ビリビリ<sup>110</sup>」「テンセント<sup>111</sup>」をはじめとする各社が、日本のアニメコンテンツを制作会社からプリセール段階で購入している。プリセールが成立した場合、制作費の25～100%がその売上で賄われ、日本の制作会社の大きな財源となっているとManga Entertainmentは指摘する。<sup>112</sup>「ビリビリ」はモバイルゲーム・プラットフォームも展開している。購入したアニメ作品をモバイルゲームにリンクさせており、ゲームにアニメ作品の広告展開も可能だ。しかし中国政府はインターネット動画配信における海外コンテンツの規制を強化しており<sup>113</sup>、日本から中国へのコンテンツ販売が難しくなっている。また近年、中国に限らず世界各地で新作アニメを日本での配信開始とほぼ同時に視聴できることを期待する傾向があるため、正規の方法では視聴が不可能な場合は海賊版が流通することになる。この問題を解決するため、中国企業が日本の制作会社を買収または日本と共同制作をする形でコンテンツを制作し「同時配信」を可能にする動きがある<sup>114</sup>。こうした動向は英国のアニメ配給会社も注視している<sup>115</sup>。

- アニメ市場を育てる試み

インターネット配信により、英国で視聴可能なアニメ作品数は増えて、視聴者年齢層も上がっていきと考えられる。Fetch Publicityはインタビューの中で「視聴者の興味をどうやって継続させるか？」の重要性を指摘する。アニメファンになった子供たちは、10～15年後に大人になったとき、自分たちの子供にアニメを見せたいと考えるかもしれない。継続的にファンを育成し、アニメ市場を成長させていく試みが重要である。

### ③ 主な関連見本市およびイベント

イギリスで定期的に行われているアニメ関連イベントには下記の通り。これらは一般向けのファンイベントであり、事業者向けコンテンツマーケットではない。

名称	London Anime & Gaming Con
会場	London Metropolitan University Rocket Complex, 66-220 Holloway Rd, London N7 8DB UK
ウェブサイト	<a href="https://winter.londonanimecon.com/">https://winter.londonanimecon.com/</a> <a href="https://summer.londonanimecon.com/">https://summer.londonanimecon.com/</a>
開催日 (2019年)	2月15～17日、6月28～30日
運営会社	Animeleague Ltd
連絡先	Email: <a href="mailto:info@animeleague.com">info@animeleague.com</a>
イベント概要	毎年冬と夏に行われているアニメとゲームのファンイベント。

<sup>110</sup> 哔哩哔哩 (ビリビリ) <https://www.bilibili.com/>

<sup>111</sup> 腾讯 (テンセント) <https://v.qq.com>

<sup>112</sup> Manga Entertainment Ltd へのインタビューによる。

<sup>113</sup> Manga Entertainment Ltd へのインタビューにより。参照：

[https://www.nhk.or.jp/bunken/research/focus/f20181101\\_5.html](https://www.nhk.or.jp/bunken/research/focus/f20181101_5.html)

<sup>114</sup> Manga Entertainment Ltd へのインタビューにより。参照：2018年3月 Jetro 中国アニメ市場調査 (第3&4章) [https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/Reports/02/2018/ab0ab7636de81fe2/animation.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/Reports/02/2018/ab0ab7636de81fe2/animation.pdf)

<sup>115</sup> Manga Entertainment Ltd へのインタビューによる。

名称	<b>MCM Comic con London</b>
会場	ExCeL London, Royal Victoria Dock, 1 Western Gateway, Royal Docks, London E16 1XL UK
ウェブサイト	<a href="https://www.mcmcomiccon.com/london/">https://www.mcmcomiccon.com/london/</a>
開催日 (2019年)	5月24～26日、10月25～27日
運営会社	MCM Central
連絡先	Tel : 0208 271 2135 Email: <a href="mailto:mcmlondonoctober@reedexpo.co.uk">mcmlondonoctober@reedexpo.co.uk</a>
イベント概要	SFファンをターゲットしたファンイベントであるが、アニメも扱う。毎年5月と10月に開催。

名称	<b>MCM Comic con Birmingham</b>
会場	NEC Birmingham, North Avenue, Marston Green, Birmingham B40 1NT UK
ウェブサイト	<a href="http://www.mcmcomiccon.com/birmingham/">http://www.mcmcomiccon.com/birmingham/</a>
開催日 (2019年)	3月23～24日、11月16～17日
運営会社	MCM Central
連絡先	Tel : 0208 271 2135 Email: <a href="mailto:MCMBirminghamMarch@reedexpo.co.uk">MCMBirminghamMarch@reedexpo.co.uk</a>
イベント概要	SFファンをターゲットしたファンイベントであるが、アニメも扱う。毎年3月と11月に開催。MCM Comic con London とは同じ会社が運営する姉妹イベント。

名称	<b>Hyper Japan</b>
会場	Olympia London, Hammersmith Road, Kensington, London W14 8UX UK
ウェブサイト	<a href="https://hyperjapan.co.uk/">https://hyperjapan.co.uk/</a>
開催日 (2019年)	7月13～15日、11月24～26日
運営会社	Cross Media Ltd.
連絡先	Tel : 020 8963 9903 Email: <a href="mailto:info@crossmedia.co.uk">info@crossmedia.co.uk</a>
イベント概要	年2回開催されている一般向けの日本文化イベント。コスプレコンテストも含め、アニメファンも集う。

英国の配給会社の場合、MIPCOM、MIPTV、アヌシー国際アニメーション映画祭のコンテンツマーケットに参加してライセンサーと交渉し、新規作品を発掘している。既にコンタクトのある日本のライセンサーとはEメールで連絡を取ることが多いため、日本に行かずとも交渉は可能である。しかし、アニメジャパンや東京国際映画祭には参加する配給会社もある。英国市場に特化している配給会社の場合、英語圏の他国（米国、オーストラリア、ニュージーランド等）と協力してライセンス契約を行う場合もある<sup>116</sup>。

#### ④ 主要な輸入作品リスト

##### (i) 主要なテレビアニメ放映作品一覧

英国のテレビ放映アニメ作品のほとんどは欧米で制作されている（「①(i)テレビ放送」参照）で述べた通りであるが、アメリカ制作の作品は日常的にテレビ放映されている。

<sup>116</sup> Manga Entertainment Ltd へのインタビューによる。

表 7： 英国の主要なテレビアニメ放映作品

Cbeebies		ニックトゥーン		カートゥーン ネットワーク	
タイトル	制作国	タイトル	制作国	タイトル	制作国
Charlie and Lola	英国	スポンジ・ボブ	米国	Steven Universe	米国
デンジャーマウス	英国	Kids Danger	米国	Ben 10	米国
Hey Duggee	英国	Rise of the Teenage Mutant Ninja Turtles	米国	Teen Titans Go!	米国
Go Jetters	英国	Welcome to the Wayne	米国	Craig of the Creek	米国
カズーブ!	オーストラリア	ザ・ラウド・ハウス	米国	Cloudy with a Chance of Meatballs	米国
Alphablocks	英国	Mysticons	カナダ	Unikitty	デンマーク
Bitz & Bob	英国	ラグラッツ	米国	ぼくらベアベアーズ	米国

出所：「Cbeebies」「ニックトゥーン」「カートゥーン ネットワーク」HP より作成  
<https://www.bbc.co.uk/cbeebies>、<http://www.nick.co.uk>、<https://www.cartoonnetwork.co.uk>

日本のアニメ作品のメインの放映の場がインターネット配信に移行して以来、テレビ放映される作品は少ないが、過去に地上波、衛星放送、ケーブルテレビのチャンネルで放映された作品は数多くある。また、日本製の劇場用アニメ作品は公開後にテレビ放映されることが多い。特にスタジオ・ジブリの作品は「Channel4」の映画チャンネルである「Fim 4」で「Studio Ghibli: The Complete Adventure (スタジオ・ジブリの冒険完全版)」として特集される等、人気がある<sup>117</sup>。

表 8： 英国でテレビ放映された主要な日本テレビアニメ作品一覧

テレビシリーズ	チャンネル
海底少年マリン	BBC
科学忍者隊ガッチャマン	BBC
電脳都市 OEDO808	Channel4
遊☆戯☆王	Sky
ドラゴンボール Z	Anime Central
BLEACH	Anime Central
カードキャプターさくら	ITV
ONE PIECE	Toonami
ポケットモンスター	CITV(ITV)/Pop Max
交響詩篇エウレカセブン	Viceland

引用：itv、Viceland 及びテレビガイドから抽出

表 9： 英国でテレビ放映された主要な日本劇場用アニメ作品一覧

劇場用映画	チャンネル
千と千尋の神隠し	BBC/Film4
魔女の宅急便	Film4
借りぐらしのアリエッティ	Film4
かぐや姫の物語	Film4
もののけ姫	Film4
ルパン三世 カリオストロの城	Film4
火垂るの墓	Film4
風の谷のナウシカ	Film4
崖の上のポニョ	Film4
ホーホケキョ となりの山田くん	Film4
ゲド戦記	Film4

<sup>117</sup> Channel4 "Studio Ghibli: The Complete Adventure on Film4"  
<https://www.channel4.com/programmes/film4/articles/all/studio-ghibli-the-complete-adventure-on-film4/5885>

となりのトトロ	Film4
思い出のマーニー	Film4
天空の城ラピュタ	Film4
紅の豚	Film4
風立ちぬ	Film4
耳をすませば	Film4
ハウルの動く城	Film4
おもひでぼろぼろ	Film4
猫の恩返し	Film4
平成狸合戦ぽんぽこ	Film4
Akira	SyFy
獣兵衛忍風帖	SyFy
REDLINE	SyFy
時をかける少女	SyFy
サマーウォーズ	SyFy
おおかみこどもの雨と雪	SyFy

出所：BBC、Channel4、Syfy より作成

<https://www.bbc.co.uk/programmes/b00794mp>

<https://www.channel4.com/programmes/film4/articles/all/studio-ghibli-the-complete-adventure-on-film4/5885>

<https://www.syfy.co.uk/galleries/anime-season>

(ii) 主要な劇場上映アニメ作品一覧

興行収益上位を獲得した主要劇場公開用アニメ作品を見ると、英国で制作されたアニメ作品も上位に食い込んではいるものの、圧倒的多数がアメリカで制作された作品であることが分かる。

表 10： 英国の興行収益上位にランクインした主な劇場公開アニメ作品（2016～2018年）

英国公開年	タイトル	制作国	制作年	年齢指定※	IMD B 評価
2018年	インクレディブル・ファミリー	米国	2018年	PG	7.8
2018年	ピーターラビット	米国/英国/ オーストラリア	2018年	PG	6.6
2018年	シュガー・ラッシュ:オンライン	米国	2018年	PG	7.3
2018年	アーリーマン ～ダグと仲間のキックオフ！～	英国/フランス	2018年	PG	6.1
2018年	名探偵シャーロック・ノームズ	英国/米国	2018年	U	5.1
2018年	犬ヶ島	米国	2018年	PG	7.9
2018年	Duck Duck Goose	米国/中国/英国	2018年	PG	5.7
2018年	Teen Titans Go! To The Movies	米国	2018年	PG	6.8
2017年	ボス・ベイビー	米国	2017年	U	6.3
2017年	レゴ®バットマン ザ・ムービー	米国/Den	2017年	U	7.3
2017年	レゴ®ニンジャゴー ザ・ムービー	米国・他	2017年	U	6
2017年	絵文字の国のジーン	米国	2017年	U	3.2
2017年	カーズ/クロスロード	米国	2017年	U	6.8
2017年	Ferdinand	米国	2017年	U	6.7
2017年	スーパーヒーロー・パンツマン	米国	2017年	U	6.2
2017年	スマーフ スマーフェットと秘密の大冒険	米国	2017年	U	6
2017年	マイリトルポニー プリンセスの大冒険	米国/カナダ	2017年	U	6.1
2016年	ファインディング・ドリー	米国	2016年	U	7.3
2016年	ペット	米国	2016年	U	6.5
2016年	カンフー・パンダ 3	米国	2016年	U	7.1
2016年	アングリーバード	米国	2016年	U	6.3
2016年	ソーセイジ・パーティー	米国	2016年	15	6.2
2016年	アイス・エイジ 5 止めろ！惑星大衝突	米国	2016年	U	5.7
2016年	コウノトリ大作戦！	米国	2016年	U	6.8

2016年	KUBO/クボ 二本の弦の秘密	米国	2016年	PG	7.8
-------	-----------------	----	-------	----	-----

注) 年齢指定のレイティングは The British Board of Film Classification (BBFC <http://www.bbfc.co.uk>) が審査する。

出所：Box Office Mojo から抽出し作成 <https://www.boxofficemojo.com>

英国で過去2年に劇場公開された日本制作の劇場上映アニメ作品は以下の通り。

表 11：英国で過去2年に劇場公開されたアニメ映画

2017年公開作品	制作年	上映館数
GHOST IN THE SHELL / 攻殻機動隊 (再上映)	1995年	--
聲の形 (2016年)	2016年	25+
ソードアート・オンライン -オーディナル・スケール-	2017年	25以下
フェアリーテイル -DRAGON CRY-	2017年	100+
レッドタートル ある島の物語	2016年	25以下
この世界の片隅に	2016年	100+
バケモノの子	2015年	25以下
ひるね姫 ～知らないワタシの物語～	2017年	100+
パーフェクト・ブルー (20周年記念再上映)	1997年	100+

2018年公開作品	制作年	上映館数
メアリと魔女の花	2017年	100+
ムタフカズ -MUTAFUKAZ-	2017年	25+
さよならの朝に約束の花をかざろう	2018年	25+
未来のミライ	2018年	100+
ポケットモンスター みんなの物語	2018年	300+

注) イベント上映や映画祭上映は含まない。

出所：Film Distributors' Association の過去の劇場公開スケジュールから抽出し作成。

<https://www.launchingfilms.com>

表 12：英国で過去に公開された主要な日本制作の劇場用アニメ作品 (2016年以前)

英国公開年	タイトル	制作年	年齢指定※	IMDB 評価
2003年	千と千尋の神隠し	2001年	PG	8.6
2005年	ハウルの動く城	2004年	U	8.2
2008年	時をかける少女	2006年	12	7.8
2010年	崖の上のポニョ	2008年	U	7.7
2011年	借りぐらしのアリエッティ	2010年	U	7.6
2014年	風立ちぬ	2013年	PG	7.8
2015年	ドラゴンボールZ 復活の「F」	2015年	12A	7.4
2016年	思い出のマーニー	2014年	U	7.7
2016年	君の名は。	2016年	12	8.6
2017年	この世界の片隅に	2016年	PG	7.9
2017年	聲の形	2016年	12	8.2
2017年	バケモノの子	2015年	12	7.7
2018年	僕のヒーローアカデミア	2018年	15	8.0
2018年	メアリと魔女の花	2017年	U	6.8
2019年	ドラゴンボール超 ブロリー	2018年	PG	8.1

注) 年齢指定のレイティングは The British Board of Film Classification (BBFC <http://www.bbfc.co.uk>) が審査する。

出所：Box Office Mojo より抽出し作成 <https://www.boxofficemojo.com>

(iii) 主要な DVD アニメ販売作品一覧

英国における DVD/Blu-ray のアニメ売り上げ上位は、劇場公開の興行収益と同様、米国制作の作品が占めている。また、アニメ作品もほとんど米国作品である。

表 13： 英国の DVD/Blu-ray 年間上位売上にいったアニメ作品

年	順位	タイトル	制作国
2016 年	6	ペット	米国
	7	ズートピア	米国
	9	ファインディング・ドリー	米国
	11	ジャングル・ブック	米国
	16	アーロと少年	米国
	29	インサイド・ヘッド	米国
2017 年	4	モアナと伝説の海	米国
	8	トロールズ	米国
	9	SING/シング	米国
	10	怪盗グルーのミニオン大脱走	米国
	20	レゴ®ニンジャゴー ザ・ムービー	米国/デンマーク/オーストリア
	24	ボス・ベイビー	米国
2018 年	19	モアナと伝説の海	米国
	22	SING/シング	米国
	26	アーリーマン ～ダグと仲間のキックオフ!～	英国/フランス
	28	怪盗グルーのミニオン大脱走	米国
	29	レゴ®ニンジャゴー ザ・ムービー	米国/デンマーク/オーストリア
	33	ボス・ベイビー	米国

注) ハイライトした作品は英国制作作品

出所：Official Chart より抽出し作成 <https://www.officialcharts.com>

しかし、外国語映画作品のビデオフォーマット（アニメ以外も含む）の売り上げ上位を見ると、スタジオ・ジブリ作品が常にトップ 10 にランクインしている。

表 14： 英国の外国語映画作品ビデオフォーマット（DVD、Blu-ray、その他）売上トップ 10

2014 年			
	作品名	制作国	配給
1	ザ・レイド GOKUDO	インドネシア/米国	eOne Films
2	ザ・レイド	インドネシア/米国	eOne Films
3	ドラゴン・タトゥーの女	スウェーデン/デンマーク/ドイツ	eOne Films
4	ライジング・ドラゴン	中国/香港	Universal
5	ファイティング・タイガー	米国/中国/香港	Universal
6	100 歳の華麗なる冒険	スウェーデン/クロアチア	StudioCanal
7	スターリングラード 史上最大の市街戦	ロシア	StudioCanal
8	1944: The Final Defence	フィンランド	Metrodome
9	ハウルの動く城	日本	StudioCanal
10	エディット・ピアフ～愛の讃歌～	英国/フランス/チェコ	Icon

2015 年			
	作品名	制作国	配給
1	ザ・レイド GOKUDO	インドネシア/米国	eOne Films
2	かぐや姫の物語	日本	StudioCanal
3	The Battle for Warsaw: Stones for the Rampart	スウェーデン/クロアチア	Kaleidoscope
4	100 歳の華麗なる冒険	スウェーデン/フランス/ドイツ	StudioCanal

5	風立ちぬ	日本	StudioCanal
6	千と千尋の神隠し	日本	StudioCanal
7	となりのトトロ	日本	StudioCanal
8	ハウルの動く城	日本	StudioCanal
9	もののけ姫	日本	StudioCanal
10	アデル、ブルーは熱い色	フランス/ベルギー/スペイン	Curzon Artificial Eye

2016年			
	作品名	制作国	配給
1	Surviving Auschwitz 1	フランス/イスラエル/ブルガリア	High Fliers
2	イップ・マン 継承	香港/中国	Kaleidoscope
3	思い出のマーニー	日本	StudioCana
4	リベリオン ワルシャワ大攻防戦	ポーランド	Kaleidoscope
5	千と千尋の神隠し	日本	StudioCanal
6	となりのトトロ	日本	StudioCanal
7	1944: Forced to Fight	エストニア/フィンランド	High Fliers
8	ロシアン・スナイパー	ロシア/ウクライナ	Arrow
9	最強のふたり	フランス	Entertainment in Video
10	もののけ姫	日本	StudioCanal

注) ハイライトした作品は日本制作作品

出所：BFI「FILM ON PHYSICAL VIDEO 2017」「FILM ON PHYSICAL VIDEO 2016」「FILM ON PHYSICAL VIDEO 2015」より抽出し作成 <https://www.bfi.org.uk/sites/bfi.org.uk/files/downloads/bfi-film-on-physical-video-2017-08-30.pdf>  
<https://www.bfi.org.uk/sites/bfi.org.uk/files/downloads/bfi-statistical-yearbook-film-on-physical-video-2015-2016-08-25.pdf>  
<https://www.bfi.org.uk/sites/bfi.org.uk/files/downloads/bfi-film-on-physical-video-2015.pdf>2015-2016-08-25.pdf

特に子供向けアニメ作品は、発売年以降も息長く人気となる作品が多い（DVD/Blu-ray化されている日本のアニメ作品については、インターネット配信状況と比較した表 15 を参照）。

#### (iv) 主要なインターネット配信アニメ作品一覧

英国版 Amazon Prime で「Anime」と検索すると 1,000 作品以上が候補にあがり、また、2018 年 11 月の段階で Crunchyroll は約 1,100 のアニメ作品（4 万エピソード）を所有している<sup>118</sup>。下表の通り、一つの作品が複数の主要 SVOD で配信されている場合もある。また VOD 作品の場合はインターネット配信のみされている作品もある。

<sup>118</sup> 2018 年 11 月 2 日 DIGIDAY UK” While other niche streaming services falter, Crunchyroll crosses 2 million subscribers” <https://digiday.com/media/crunchyroll-crosses-2-million-subscribers/>



表 15： 英国で視聴可能なインターネット配信されているアニメ作品

オリジナル フォーマット	タイトル	制作年	劇場	DVD	SVOD			備考
					Amazon Prime	Net flix	Crunchy roll	
映画	君の名は。	2016年	○	○	○			
映画	聲の形	2016年	○	○	○	○		
映画	この世界の片隅に	2016年	○	○	○			
映画	劇場版ポケットモンスター みんなの物語	2018年	○	○	○			
TVシリーズ	カウボーイビバップ	1998年	X	○	○		○	
TVシリーズ	DEATH NOTE	2006年	X	○	○	○		
TVシリーズ	鋼の錬金術師	2009年	X	○		○		
TVシリーズ	進撃の巨人	2013年	X	○	○	○	○	
TVシリーズ	ドラゴンボール超	2015年	X	○			○	
TVシリーズ	ヴァイオレット・エヴァーガーデン	2018年	X	X		○		
VOD	B: The Beginning	2018年	X	X		○		Netflix オリジナル
VOD	A.I.C.O.	2018年	X	X		○		Netflix オリジナル
VOD	いぬやしき	2017年	X	X	○			Amazon Prime 独占配信
VOD	ボールルームへようこそ	2017年	X	X	○			Amazon Prime 独占配信
VOD	約束のネバーランド	2019年	X	X			○	

出所：「Internet Movie Database」「Amazon UK」「Netflix」「Crunchyroll」サイトより抽出し作成  
<https://www.imdb.com>、<https://www.amazon.co.uk>、  
<https://www.netflix.com/gb/>、<https://www.crunchyroll.com>

諸外国の劇場用およびテレビアニメ作品の場合、アニメ作品の配信に強い Crunchyroll で配信されている作品はほぼない。劇場用アニメ作品は Amazon Prime のみで配信されている作品が多く目立つ。

表 16： 英国でインターネット配信されている諸外国のアニメ作品

オリジナル フォーマット	タイトル	制作国	制作年	劇場	DVD	SVOD		
						Amazon Prime	Net flix	Crunchy roll
映画	ペット	米国	2016年	○	○	○	○	
映画	ボス・ベイビー	米国	2017年	○	○	○		
映画	マイリトルポニー プリンセスの大冒険	米国・カナダ	2017年	○	○	○	○	
映画	絵文字の国のジーン	米国	2017年	○	○	○	○	
映画	インクレディブル・ファミリー	米国	2018年	○	○	○		
映画	名探偵シャーロック・ホームズ	米国	2018年	○	○	○		
映画	シュガー・ラッシュ:オンライン	米国	2018年	○	○	○		
TVシリーズ	ザ・シンプソンズ	米国	1989年～	x	○	○		
TVシリーズ	Arthur	米国・カナダ	1996年～	x	○	○		
VODシリーズ	シーラとプリンセス戦士	米国	2018年	x	x		○	

出所：「Internet Movie Database」「Amazon UK」「Netflix」「Crunchyroll」サイトより抽出して作成  
<https://www.imdb.com>、<https://www.amazon.co.uk>、  
<https://www.netflix.com/gb/>、<https://www.crunchyroll.com>



## (2) 現地主要企業およびバイヤー

## ① 現地主要企業およびバイヤーリスト

## (i) Manga Entertainment Ltd

企業名	<b>Manga Entertainment Ltd</b>
所在地	6 Heddon Street, London W1B 4BT UK
ウェブサイト	<a href="https://www.mangauk.com">https://www.mangauk.com</a>
連絡先	Mr. Jerome Mazandarani (Managing Director) LinkedIn : <a href="https://www.linkedin.com/in/jeromemazandarani/">https://www.linkedin.com/in/jeromemazandarani/</a>
企業概要	1987年創業、UKのアニメ配給としては老舗的存在。主にアニメ作品の劇場・ホームビデオ (DVD&Blu-ray)・デジタルコンテンツの配給、英国テレビチャンネルへの放映権の販売を手掛ける。
主な取扱作品	「AKIRA」「One Piece」「Naruto」「ドラゴンボール」
出展・参加展示会	日本：Anime Japan, TIFFCOM 欧州：MIPCOM, MIPTV, アヌシー国際アニメーション映画祭
日本企業とのコンタクト方法	既にコンタクトが多数あるため Email での連絡が主だが、年に2回程度日本へも出張。および展示会・映画祭での打ち合わせ。
JETRO のバイヤー招聘事業への関心有無	すでに JETRO とのコンタクトがあり、招聘事業に参加経験有り。

## (ii) Anime Ltd

企業名	<b>Anime Ltd</b>
所在地	Office 3401, 34 Brown Street, Glasgow G2 8PD UK
ウェブサイト	<a href="https://www.alltheanime.com">https://www.alltheanime.com</a>
連絡先	Mr. Andrew Partridge (President) Email : <a href="mailto:andrew@revolvingocelot.com">andrew@revolvingocelot.com</a>
企業概要	2012年創業、劇場公開作品も含め、アニメ作品 (映画、TV シリーズ両方) を配給する。「君の名は。」で大きく飛躍した。英国だけでなくフランスでも配給ビジネスを展開している。
主な取扱作品	「君の名は。」「Perfect Blue」「天空のエスカフローネ」「Cowboy Bebop」
出展・参加展示会	日本：Anime Japan, TIFFCOM 欧州：MCM Comic Con, Ani-Com, TIFFCOM, Anime Expo, Minami Con
日本企業とのコンタクト方法	既にコンタクトが多数あるため Email で担当者と直接連絡している。レギュラーベースで日本へも出張。
JETRO のバイヤー招聘事業への関心有無	招聘事業に参加経験有り。

## (iii) MVM Entertainment Ltd

企業名	<b>MVM Entertainment Ltd</b>
所在地	1st Floor, Benson's Court, St Mary's Arcade, Chepstow NP16 5EU UK
ウェブサイト	<a href="http://www.mvm-films.com">http://www.mvm-films.com</a>
連絡先	Tel: +44 (0)12 9162 7207
企業概要	主に日本 TV アニメシリーズ作品の DVD 配給を行う。アニメ配給としては、英国内では Manga Entertainment、Anime Limited に続き、3番手の立ち位置。
主な取扱作品	「風のあすから」「アマガミ」「ネトゲの嫁は女の子じゃないと思った?」「学戦都市アスタリスク」
出展・参加展示会	

## (iv) STUDIOCANAL Ltd

企業名	<b>STUDIOCANAL Ltd</b>
所在地	4 Pancras Square, Kings Cross, London N1C 4AG UK
ウェブサイト	<a href="http://www.studiocanal.co.uk">http://www.studiocanal.co.uk</a>
	Tel: +44 (0) 20 7534 2700
	Email: <a href="mailto:info@studiocanal.co.uk">info@studiocanal.co.uk</a>
企業概要	大手配給会社。扱う作品のほとんどが実写だが、ジブリ制作作品はすべてこの会社がイギリス配給を行っている。その他、北野武監督作品なども配給。旧社名は「Optimum Releasing」。2006年にフランス大手配給会社 Studiocanal に買収された。
主な取扱作品	「千と千尋の神隠し」「となりのトトロ」「かぐや姫の物語」「火垂るの墓」等、スタジオ・ジブリ作品
出展・参加展示会	

## (v) Sony Pictures Entertainment, UK

企業名	<b>Sony Pictures Home Entertainment Ltd</b>
所在地	25 Golden Square, Soho, London W1F 9LU UK
ウェブサイト	<a href="http://www.sonypictures.co.uk">http://www.sonypictures.co.uk</a>
	Tel: +44 (0) 20 7533 1111
	Email: 米国本社のコンタクトフォーム <a href="https://secure.sonypictures.com/corp/contactus.html">https://secure.sonypictures.com/corp/contactus.html</a>
企業概要	本社は米国。実写からアニメ作品まで、大作を中心に幅広く制作・配給している。
主な取扱作品	「鬼神伝」「鉄コン筋クリート」「ユーリ!!! on ICE」
出展・参加展示会	

## (vi) Universal Pictures Ltd

企業名	<b>Universal Pictures Ltd</b>
所在地	1 Central Saint Giles, St Giles High Street, London WC2H 8NU UK
ウェブサイト	<a href="http://www.universalpictures.co.uk">http://www.universalpictures.co.uk</a>
	Tel: +44 (0) 20 7533 1111
	Email: <a href="mailto:enquiriesuk@nbcuni.com">enquiriesuk@nbcuni.com</a>
企業概要	本社は米国。実写からアニメ作品まで、大作を中心に幅広く制作・配給している。
主な取扱作品	「アルスラーン戦記」「蒼天の拳」
出展・参加展示会	

## (vii) Altitude Film Entertainment Ltd

企業名	<b>Altitude Film Entertainment Ltd</b>
所在地	34 Fouberts Place, London W1F 7PX UK
ウェブサイト	<a href="http://www.altitudefilm.com">http://www.altitudefilm.com</a>
	Tel: +44 (0) 20 7478 7612
	Email: <a href="mailto:info@altitudefilm.com">info@altitudefilm.com</a>
企業概要	インディー系 DVD 配給会社。実写作品がメインだが 101 Anime というブランドを持っている。
主な取扱作品	「エルフェンリート」「ラーゼフォン」
出展・参加展示会	

(viii) Revelation Films Ltd

企業名	<b>Revelation Films Ltd</b>
所在地	CILIP Building, 7 Ridgmount Street, London, WC1E 7AE UK
ウェブサイト	<a href="https://www.revelationfilms.co.uk">https://www.revelationfilms.co.uk</a>
	Tel: +44 (0) 20 7478 7612
	Email: コンタクトフォーム <a href="https://www.revelationfilms.co.uk/contactus">https://www.revelationfilms.co.uk/contactus</a>
企業概要	制作、権利販売、配給を行う会社。実写がメインだが、アニメ作品を扱った経験がある。
主な取扱作品	「ツバサ・クロニクル」「月詠」
出展・参加展示会	

(ix) Anime UK News

企業名	<b>Anime UK News</b>
ウェブサイト	<a href="https://animeuknews.net">https://animeuknews.net</a>
連絡先	Email: コンタクトフォーム <a href="https://animeuknews.net/contact-us/">https://animeuknews.net/contact-us/</a>
企業概要	2004年のローンチから、英国および世界のアニメ情報を発信するアニメニュースサイト。英国のアニメ発信者のリーダー的存在。

(x) Netflix UK

企業名	<b>Netflix UK</b>
ウェブサイト	<a href="https://www.netflix.com/gb/">https://www.netflix.com/gb/</a>
連絡先	Email: コンタクトフォーム <a href="https://help.netflix.com/en/contactus">https://help.netflix.com/en/contactus</a>
企業概要	米国の動画配信サイト。英国のアニメ配信のリーディング・ネットワーク。
主な取扱作品	「聲の形」「A.I.C.O. Incarnation」「アグレッシブ烈子」

(xi) Fetch Publicity

企業名	<b>Fetch Publicity</b>
所在地	2 John Street   London WC1N 2ES UK
ウェブサイト	<a href="https://fetch.fm">https://fetch.fm</a>
連絡先	Almar Hafliason (Managing Director)
	Tel: +44 (0) 203 405 4312
	Email: <a href="mailto:almar@fetch.fm">almar@fetch.fm</a>
企業概要	映画・映像関係のPR会社。アニメの配給会社 (Manga Entertainment、Anime Limited、Funimation) のPRも担当。「君の名は。」「未来のミライ」「聲の形」等の1日上映イベントを手掛けた。

② バイヤー面談記録

(i) Manga Entertainment Ltd

Jerome Mazandarani 氏 (Managing Director)、Andrew Hewson 氏 (Marketing Manager)

面談日: 2019年2月26日

・ ビジネスの特徴・展望

アニメ作品のホームビデオ (DVD および Blu-ray) とデジタルコンテンツ、英国テレビチャンネルへの放映権の販売等をメインに行っているが、劇場公開も手掛ける。「ドラゴンボール」等の

大ヒットシリーズの権利も多数保持。現在 Netflix オリジナル・アニメ「Cannon Busters」を Netflix（米国）と共同制作している<sup>119</sup>。

ホームビデオの分野はまだ DVD および Blu-ray フォーマットでの展開がセールスの主軸であるが、今年からダウンロードによる購入とレンタルをメインに移行している。Twitter のフォロワー数は 13 万 3,000 人、Facebook のフォロワー数、Instagram のフォロワー数は 15,000 人。Instagram のフォロワー数は欧州のアニメコミュニティで最大である。長い年月を築いたコミュニティであるためファンからの信頼も厚く、SNS を利用することで他の媒体等に大きな広告費を掛けることなく作品の宣伝が可能である。

- 日本へのリクエスト

日本との共同制作についての情報、およびアニメ市場についての分析データが欲しい。

## (ii) Anime Limited

Andrew Partridge 氏 (President)

面談日：2019 年 3 月 15 日

- ビジネス展望

(「②市場予測、展望」で触れたように) Netflix や Amazon Prime 等の大手インターネット配信の登場、および巨大企業による配信プラットフォームのサービス提供が進んでいる。アニメの配信が増えることでアニメ作品への需要は高まっているものの、自社で配信プラットフォームを持つのはコストが掛かりすぎる。

アニメ産業が「国・地域」に根差したものからグローバル化することは英国ローカル配給会社にとっては大きな脅威である。しかし Anime Limited および競合 2 社 (Manga Entertainment、MVM Entertainment) は英国ローカル市場を熟知していない配信会社や大手映画会社に対してマーケティングやプロモーションを提供できる立場にある。

今後同社は、万単位のアニメコンテンツの権利を生かし、マーチャндаイジングに力を入れていく予定である。Viceland や Vice TV といった全国放送のテレビチャンネルへの放映権販売や Netflix での配信、英国及びフランスでのデジタルコンテンツの分野も引き続き注力していく。

## (iii) Fetch Publicity Ltd

Almar Hafliðason 氏 (Managing Director)

面談日：2019 年 3 月 19 日

---

<sup>119</sup> Manga Entertainment Ltd HP より <https://www.mangauk.com/the-cannon-busters-animated-tv-show-is-heading-to-netflix/>

社長の Hafliðason 氏は前職（The Associates、PR 会社）時代から Manga Entertainment や MVM Entertainment の PR を担当する等、アニメの PR に長く携わってきた。2012 年に「Fetch Publicity」を Lisa Debell 氏と設立。映画・映像作品全般の PR を専門とし、アニメは手掛ける作品の一部（Funimation、Anime Limited の PR を担当）であるものの、英国におけるアニメ PR の専門的存在である。

- アニメの PR の概要と現状

映像産業全体の中でアニメは小さな市場である。アニメファンそのものは増えているものの（他のエンターテインメント作品と比較し）決して多くはない。しかし、ロイヤリティーの高いファンに支えられている。

これまでに 16 作品の「アニメ 1 日上映イベント」を手掛けてきた。「君の名は。」、「未来のミライ」、「聲の形」、「さよならの朝に約束の花をかざろう」の 4 作品のイベントは成功している。「ドラゴンボール」等、既に有名なシリーズ化作品は劇場上映されやすいが、そうでない単独タイトルの作品（＝有名なシリーズではない作品）は、1 作品ごとにファンを構築しなくてはならない。日本からがタレント（監督等）が来英する場合、多くの人を集めることができるため、イベントは運営しやすくなる。

従来のフィジカル（DVD や Blu-ray）市場からインターネット配信（デジタル）市場への移行は急速に進んでいる。インターネット配信において、視聴可能なアニメ作品の数は増えているものの、それだけで視聴者が増える、ファン層が厚くなるというわけではない。インターネット配信サイトのプログラム欄に作品名が見えていても、その作品がどんな作品なのかが分からなければ人は視聴しない。適切な PR を行っていないければ、「カジュアルレベル（＝コアなファンとは言えないレベルのファン）」を視聴まで導引するのは難しい。

アニメ作品が英国メディアで大きく取り上げられることは難しい。2005 年に「妄想代理人」（今敏監督）が DVD リリースされた際、大手新聞「Times」日曜版の作品紹介欄で大きく取り上げられた。当時、アニメ作品が大手メディアに掲載されることは大変珍しかった。その後、スタジオ・ジブリ作品が知名度を上げたことにより状況はやや変化した。「未来のミライ」、「聲の形」は多くメディアに露出したが、依然としてメディアに記事掲載してもらうことは困難である。ブロックバスター系のロマンティックコメディ映画が雑誌の表紙になることは簡単だが、アニメ作品の場合は作品の質に関わらず難しく、試写会を行ってもライターを集めることも容易ではない。こういった現実の中、PR 会社はいかにメディアの注目を集め、かつ人々に作品が届くかを考えなくてはならない。

- 英国におけるアニメファンの傾向

英国では SF やホラー系のアニメが安定した人気がある。また、SF やホラー作品愛好家とアニメファンの親和性も高い。「HELLSING」の PR を手掛けた際、アニメファンだけでなく、昔の英国のホラー映画のファンにも興味をもってもらえることに気付いた。Comic Con（「① (vii) 主

な関連見本市およびイベント」参照)はSFファンタジーのファンイベントであるが、アニメコーナーが設けられていることから明らかである。

こうした「ジャンルをまたいだ」ファンもいる一方で、「その道の専門家」と言えるレベルのコアなアニメファンもいる。大切なことはアニメファンの志向を尊重し、彼らが望むものを提供することだと考えている。

- 日本への要望

アニメ作品に関する記事をメディア（雑誌、新聞、オンライン）に露出するよう働きかけるのがPR会社の業務の1つであるが、日本の作品の場合、最大のネックは日本の制作委員会による宣伝用のアートワーク（画像、ポスター等の宣材物）の承認が遅いことである。制作委員会が掲載記事の編集コントロールもするため、タイミングを逃してしまう。日本側は記事掲載のプロセスが日本と英国では異なることを理解すべきである。もし、日本側がPR会社を信用し、承認プロセスが不要であればメディア露出を増やすことは可能であるが、日本側の対応は「センシティブすぎる」と感じている。英国では、メディア会社は少ない人数で媒体を回している。作品を記事として取り上げてくれる意思があったとしても、（長く待たせることで）編集者・記者があつという間に興味を失ってしまう。承認に時間がかかりすぎたため、表紙になる機会を失うという苦い経験もしている。日本のアニメが表紙になることは（どんな媒体であれ）少ない。英国ではアニメはニッチな市場であることを理解してほしい。

- 日本へのプレスツアーの可能性

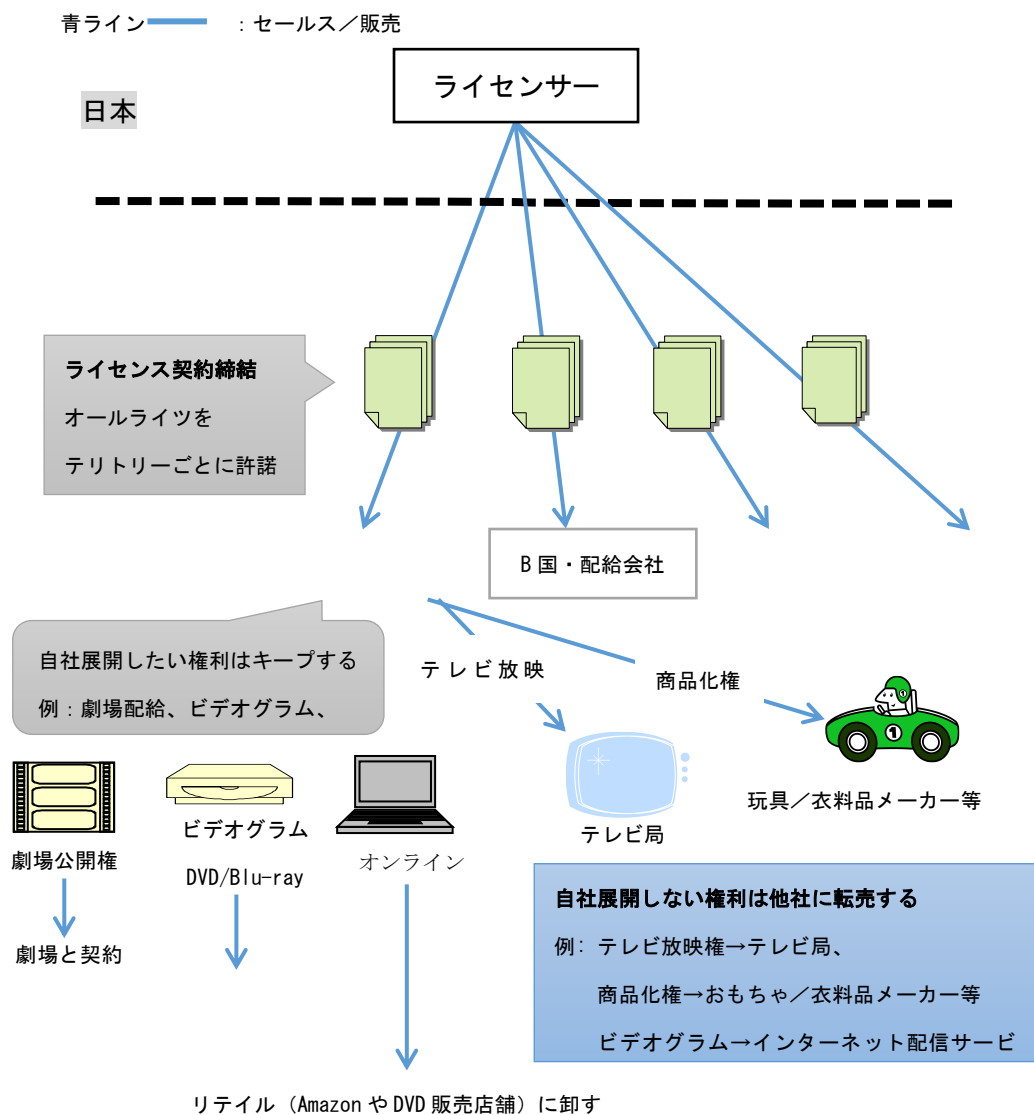
アニメ作品のPRのためにライターを日本に連れていくのは容易なことではない。ライターたちは日本には行きたがるが、日本で何をするのか、どんなアングルで取材ができるのか、何を見せられるのか、十分に魅力ある内容を提示する必要がある。例えばアニメ・スタジオを案内する、おもちゃやキャラクターグッズの制作現場を見せる等、様々なアングルで日本のアニメ産業がどのように動いているかを紹介したらどうだろうか。これまでの経験から良いホテルを用意してプレミアに招待しても、それだけではメディア（やライター）は動かない。

### ③ ライセンス取引のビジネスフロー

インタビューの結果、アニメ作品が海外配給会社にライセンスされる場合の典型的なフローは以下図の通りである。近年、そのフローは急速に変化しており、「(1) ① (vi) 市場予測、展望」に記したように、制作から配給・配信までのフローが一企業またはグループ企業内で完結する場合もある。また、セールスエージェントがライセンスを仲介する、大きな配給会社が数か国または数エリアをまとめて購入し、その後サブライセンスする場合もある。

またライセンスのモデルは国や地域ごとに特徴があるわけではない（よってフランスの報告欄には図を掲載しない）。

図 5： ライセンサーから配給会社が直接購入する場合のフロー



出所：各社インタビューの内容をもとに作成

## 2. フランス

### (1) フランスの市場規模と将来展望

#### ① 概要

フランスは、日本の文化、アニメへの関心度が非常に高い。日本動画協会の調査によると、2017年の制作会社の国別契約数ではフランスは152件、米国、韓国、台湾に次いで4位となっており、欧州では2番手のイギリスを大幅に上回っている（表17参照）。

表17：日本のアニメ制作会社の国別有効契約数（2017年）

	国	契約件数
1	米国	215
2	韓国	163
3	台湾	154
4	フランス	152
5	カナダ	142
6	中国	121
7	イギリス	91
8	オーストラリア	77
9	香港	48
10	ニュージーランド	45
10	アイルランド	45
12	タイ	34
13	イタリア	32
14	ドイツ	26
15	マカオ	25
15	フィリピン	25

注) アニメ制作会社による回答数に基づく。

出所：日本動画協会「アニメ産業レポート」[https://aja.gr.jp/jigyou/chousa/sangvo\\_toukei](https://aja.gr.jp/jigyou/chousa/sangvo_toukei)

メディアコンテンツやプラットフォームに関するデータ集積と分析サービスを提供する Parrot Analytics 社 ([www.parrotanalytics.com](http://www.parrotanalytics.com)) による、人口100人当たりのアニメ作品の需要に関する調査結果によると、米国が断トツで首位であるが、フランスはフィリピンに次いで3位となり、欧州ではトップ10に入った唯一の国となった。同社は最も需要の高いアニメ作品も調査しており、フランスのトップ5は、1位「ドラゴンボール超」、2位「ドラゴンボールZ」、3位「僕のヒーローアカデミア」、4位「One Piece」、5位「東京喰種トーキョーグール」の順となった。<sup>120</sup>

また、ある配信プラットフォームの概算によると、18歳以上のフランス人の4割、または約1,800万人がアニメを視聴している<sup>121</sup>。この1,800万人すべてがアニメファンであるとは限らないが、1978年に放映された「UFOロボ・グレンダイザー」に始まりその後1990年代後半まで、人気子供番組であった「クラブドロテ」での放映を中心に、国営チャンネルで日本のアニメ

<sup>120</sup> Parrot Analytics ウェブサイト 2018年8月9日記事 "Countries outside of Japan with the highest demand for anime titles April-June 2018" (<https://www.parrotanalytics.com/insights/the-global-content-marketplace-audience-demand-for-anime/>)

<sup>121</sup> 2019年2月19日に実施したCrunchyrollのOlivier Fallaix氏とのインタビューによる。継続的なアニメファンとは限らない。



作品が頻繁に放映されて子供達に大人気となった時代もあり、ファンでなくともアニメに親近感を感じている人は非常に多い。テレビ放映の全盛期が終わり、一部のファンコミュニティによるニッチ市場であった時期を経ながら、アニメ市場は拡大を続けてきた。現在、アニメコンテンツに対する需要は過去にない高まりを見せており、インターネットと VOD プラットフォームにより、供給数も飛躍的に増加している。<sup>122</sup>

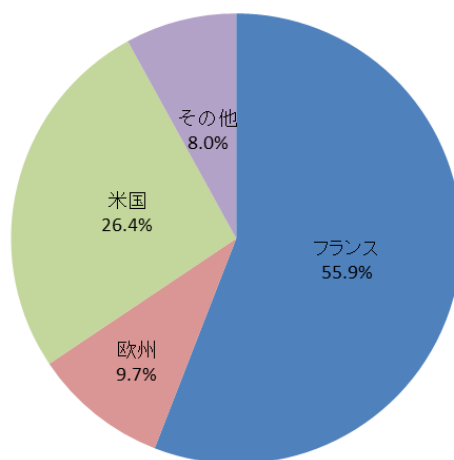
(i) テレビ放送

• アニメーション番組の放送

フランス国立映画・動画センター（CNC : Centre national du cinéma et de l'image animée）によると、2017年にフランス国内のテレビ局各局で放映されたアニメーション番組の長さは合計で14,674時間となった。アニメーション映画の放映時間は3.5%、計517時間であった。

アニメーション番組の74.9%が地上波デジタルテレビ（TNT : télévision numérique terrestre）各局による放映で、歴史的局<sup>123</sup>による放映は25.1%であった。国営放送局各局によるアニメーション番組の制作国は、フランスが半数以上の55.9%を占め、外国作品では米国が26.4%と圧倒的に多い（図6参照）。<sup>124</sup>

図6： フランスの国営放送局で放映されたアニメーション番組制作国の割合（2017年）



出所：CNC “Les chiffres clés de l’animation en 2017”

[https://www.cnc.fr/professionnels/etudes-et-rapports/etudes-prospectives/les-chiffres-cles-de-lanimation-en-2017\\_873982](https://www.cnc.fr/professionnels/etudes-et-rapports/etudes-prospectives/les-chiffres-cles-de-lanimation-en-2017_873982)

2017年、国営放送局が放映したアニメーション番組は全番組の8%を占めた。アニメーション番組の視聴者層は29.5%が4～10歳、12.9%が11～14歳で、40%以上が学校休暇中と、登

<sup>122</sup> 2019年3月11日に実施したGame One/J-OneのAurore DAVOINE-GRAZIANI氏とのインタビューによる。

<sup>123</sup> ‘chaînes historiques’ アナログ放送時代から存在した7局の通称

<sup>124</sup> CNC “Les chiffres clés de l’animation en 2017” [https://www.cnc.fr/professionnels/etudes-et-rapports/etudes-prospectives/les-chiffres-cles-de-lanimation-en-2017\\_873982](https://www.cnc.fr/professionnels/etudes-et-rapports/etudes-prospectives/les-chiffres-cles-de-lanimation-en-2017_873982)

校時間前となる午前 8 時半以前に放映されている。<sup>125</sup>

• フランスの子供向けチャンネル

フランスではアニメーションは子供向けと認識されており、アニメーション番組の放送は子供向けチャンネルによるものが主流である。フランスには国営放送局による子供向けチャンネルは存在しない。フランス国内の民営放送局、欧州、米国資本の放送局がそれぞれ複数の子供向けプログラムを放映しており、米国の主要子供向けチャンネルはフランス語で視聴可能であるが、フランスでは米国系よりも欧州系のチャンネルが主流である。その中でも Gulli (<http://www.gulli.fr/>) というフランス発の無料チャンネルが圧倒的な人気となっている<sup>126</sup>。

表 18：フランスの子供向けチャンネル（国内放送局）

チャンネル名	放送局	メディアグループ	国営/民営	言語	放映地域	無料/有料
Gulli	JEUNESSE TV	Lagardère Active	民営	フランス語	フランス国内全域	無料
Canal J	CANAL J	VIVENDI	民営	フランス語	フランス国内外	有料
Piwi+	MULTI THEMATIQUES		民営	フランス語	フランス国内全域	無料
TeleToon+ (フランス語)	MULTI THEMATIQUES		民営	フランス語	フランス国内全域	有料
Tiji	CANAL J		民営	フランス語	フランス国内全域	有料
CANAL+ Family	Canal+		民営	フランス語	フランス国内全域	有料
Cartoon's	MOBIBASE		民営	フランス語	フランス国内外	有料
ディズニー・チャンネル (フランス語)	THE WALT DISNEY COMPANY FRANCE SA	Walt Disney Inc	民営	フランス語	フランス国内	有料
ディズニーXD (フランス語)	ACTIVE LICENSING FRANCE		民営	フランス語	フランス国内外	有料
Berbère Jeunesse	BERBERE TELEVISION		民営	フランス語	フランス国内全域	無料
以下は、時間帯により子供向けアニメを放映している <sup>注1)</sup> 。						
Mangas	AB THEMATIQUES	Mediawan Thematics	民営	フランス語	フランス国内全域	無料
GAME ONE		Viacom International Media Networks Europe	民営	フランス語	フランス国内全域	有料
J ONE			民営	フランス語	フランス国内全域	無料
GONG MAX	Gong	Gong Media	民営	フランス語	フランス国内外	無料

注1) フランスのTV番組表 (<https://www.francetelevisions.fr/programme-tv>) では上段各局とともに子供・青少年向けチャンネルに分類されている。

出所：EU MAVISE のデータベースをベースに、情報を追加し EBS 作成  
<http://mavise.obs.coe.int/country?id=1>

<sup>125</sup> CNC “Les chiffres clés de l’animation en 2017”

<sup>126</sup> European Audiovisual Observatory(MAVISE) ”Media Ownership: Children’s TV channels in Europe”

表 19： フランスの子供向けチャンネル（外国放送局）

チャンネル名	放送局	メディアグループ	国営/ 民営	発信国	言語	放映地域	無料/ 有料
Baby TV (フランス語)	BABY NETWORK LIMITED	21st Century Fox	民営	英国	フランス語	フランス国内外	有料
Boing (フランス語)	TURNER BROADCASTING INTERNATIONAL LIMITED		民営	英国	フランス語	フランス国内全域	有料
Boomerang (フランス語)	TURNER BROADCASTING INTERNATIONAL LIMITED		民営	英国	フランス語	フランス国内外	有料
カートゥーンネットワーク (フランス語)	TURNER BROADCASTING INTERNATIONAL LIMITED		民営	英国	フランス語	フランス国内外	有料
ディズニー・シネマジック (フランス語)	WALT DISNEY COMPANY LIMITED(THE)	Walt Disney Inc	民営	英国	フランス語	フランス国内外	有料
ディズニー・ジュニア (フランス語)	WALT DISNEY COMPANY LIMITED(THE)	Walt Disney Inc	民営	英国	フランス語	フランス国内全域	有料
ニコロデオン・フォー・ティーン	NICKELODEON INTERNATIONAL LIMITED		民営	英国	フランス語	フランス国内全域	有料
ニコロデオン (フランス語)	NICKELODEON INTERNATIONAL LIMITED		民営	英国	フランス語	フランス国内全域	有料
ニック・ジュニア (フランス語)	NICKELODEON INTERNATIONAL LIMITED		民営	英国	フランス語	フランス国内全域	有料
Toonami (フランス語)	TURNER BROADCASTING INTERNATIONAL LIMITED		民営	英国	フランス語	フランス国内全域	有料
Al Rawda			民営	サウジアラビア	アラビア語	フランス国内外	有料
Baraem Europe	QATAR MEDIA CORPORATION		民営	カタール	アラビア語	フランス国内外	無料
Basma			民営	サウジアラビア	アラビア語	フランス国内外	有料
Jeem TV Europe	QATAR MEDIA CORPORATION		民営	カタール	アラビア語	フランス国内外	無料
Karusel International	KARUSEL		国営	ロシア	ロシア語	フランス国内外	無料
KiKA	ARD - ARBEITSGEMEINSCHAFT DER ÖFFENTLICH-RECHTLICHEN RUNDFUNKANSTALTEN DER BUNDESREPUBLIK DEUTSCHLAND	ZDF - ZWEITES DEUTSCHES FERNSEHEN	国営	ドイツ	ドイツ語	フランス国内外	無料

Majid TV			民営	UAE	アラビア語	フランス国 内外	有料
MBC 3 (Dubai)			民営	UAE	アラビア語	フランス国 内外	無料
Super RTL	SUPER RTL DISNEY FERNSEHEN GMBH & CO. KG	BERTELS MANN VERWAL TUNGSG ESELLSC HAFT MBH, Walt Disney Inc	民営	ドイツ	ドイツ語	フランス国 内外	無料
TRT Çocuk	Türkiye Radyo ve Televizyon Kurumu		国営	トルコ	トルコ語	フランス国 内外	無料

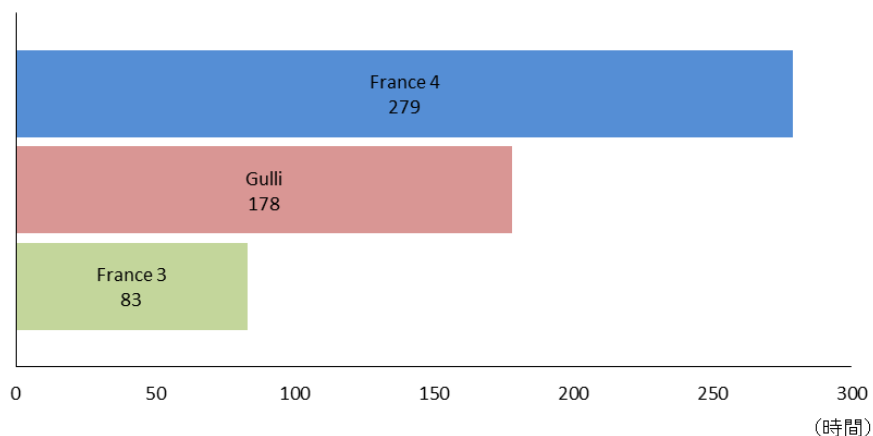
出所：EU MAVISE のデータベースを基に EBS 作成  
<http://mavise.obs.coe.int/country?id=1>

- アニメ番組のキャッチアップ放送

フランスでは、キャッチアップ TV（オンデマンド TV）サービスの需要も高まっている。フランス国営放送による 17～24 時放映番組の 70%がキャッチアップ TV でカバーされており、この割合は年々上昇している。<sup>127</sup> 2017 年の国営放送局によるアニメ番組のキャッチアップ放送時間は、各局合計の月平均で 741 時間、すべてのキャッチアップ放送の 3.1%がアニメ番組であった。

<sup>128</sup>

図 7： フランスの主要テレビ局によるアニメ番組のキャッチアップ放送時間（月平均、2017 年）



出所：CNC “Les chiffres clés de l’animation en 2017”

[https://www.cnc.fr/professionnels/etudes-et-rapports/etudes-prospectives/les-chiffres-cles-de-lanimation-en-2017\\_873982](https://www.cnc.fr/professionnels/etudes-et-rapports/etudes-prospectives/les-chiffres-cles-de-lanimation-en-2017_873982)

- アニメ作品のテレビ放送

2019 年 3 月現在、国営地上波放送局でレギュラー放映されている日本のアニメシリーズはない

<sup>127</sup> “CNC Result 2017” <https://www.cnc.fr/documents/71205/151678/Results+2017.pdf/0ac70ea6-dda2-707a-b9e3-4d3201d590c0>

<sup>128</sup> CNC “Les chiffres clés de l’animation en 2017 “

フランスのテレビ界においてもアニメ人気は認識され、90年代のアニメブームを終焉させたアニメの暴力描写、子供への悪影響といった懸念は薄れてきているものの、米国作品のように幅広い視聴者層の支持を得られない点が壁となっている。<sup>130</sup>そのような中で、2018年9月に民放TFXチャンネル（TF1グループ）が土曜日の朝にアニメの放映枠を作り、「ドラゴンボール超」、「僕のヒーローアカデミア」などの人気シリーズを放映し始めた<sup>131</sup>。TFXでは2019年に「キャプテン翼」や「シティーハンター」などの再放映も予定されている<sup>132</sup>。TFXのアニメ放映は大変有意義で、放映時間や作品数は少なくとも、大衆への影響力が大いに期待できる。こうした人気作品のテレビ放映はアニメへの関心度を高め、新たなファン層が他のアニメ作品を求めて、アニメを提供するMangas、Game-One/J-Oneなどの視聴に繋がる。<sup>133</sup>

前述のように、フランスではアニメーションは12歳までの子供向けと見なされており、日本以外の作品はこの層をターゲットにしているものがほとんどである<sup>134</sup>。日本のアニメ作品の多くがターゲットとするのはティーンエイジャー以上であるが、子供向けチャンネルのGulliではフランス、米国、英国などのアニメーションと共に、子供に人気のアニメを紹介している（表20参照）。2019年3月現在、「妖怪ウォッチ」と「ポケモン」が週間放映プログラムに組み込まれている<sup>135</sup>。GulliはキャッチアップTVのGulli Replay (<http://replay.gulli.fr/>)、会費制SVODプラットフォームのGulli Max (<http://svod.gulli.fr/>)も展開しており、Gulli Maxでは、現在放映されていない過去作品も配信され、表20であげた作品の多くを視聴できる。

表 20： Gulli で紹介されている主なアニメ作品（2019年3月現在）

作品名
マーメイドメロディーぴちぴちピッチ
鉄腕アトム
爆丸
ビーダマン
ベイブレードバースト
カリメロ（イタリアと共同制作）
古代王者恐竜キング
イナズマイレブンGO
アタッカーYOU!
こぶし
太陽の子エステバン（フランスと共同制作）
ポケットモンスター
小公女セーラ
テンカイナイト
トム・ソーヤーの冒険
妖怪ウォッチ
遊☆戯☆王

<sup>129</sup> 各放送局プログラム表とインタビューによる。

<sup>130</sup> Game One/J-One の Aurore DAVOINE-GRAZIANI 氏とのインタビューによる。

<sup>131</sup> TF1 ウェブサイト <https://www.tf1.fr/tfx/programmes-tv>

<sup>132</sup> Anime Digital Network の Julien Lemoine 氏とのインタビューによる。

<sup>133</sup> Crunchyroll の Olivier Fallaix 氏、Game-One/J-One の Aurore Davoine-Graziani 氏の両インタビューによる。

<sup>134</sup> Crunchyroll の Olivier Fallaix 氏のインタビューによる。

<sup>135</sup> Gulli ウェブサイト <http://www.gulli.fr/programme-tv>

遊☆戯☆王 ARC-V
遊☆戯☆王デュエルモンスターズ GX
遊☆戯☆王 ZEXAL

出所：Gulli ウェブサイト [www.gulli.fr/Chaîne-TV/Dessins-animes](http://www.gulli.fr/Chaîne-TV/Dessins-animes)

- ブロードキャスト・クォータ制

アニメへの関心が高いフランスで、90年代までのブーム以来アニメの放映が淘汰されていった要因のひとつは、欧州以外の外国作品の放映を制限するブロードキャスト・クォータ制にある。EU はテレビ番組に関して自国と欧州のプログラムを守るクォータ制を設定しているが、フランスでは CSA がこれを管理している。フランスのテレビ放送事業者は、年間放映番組の 60%以上を欧州番組とし、うち 40%以上は仏語を原語とする番組でなければならない。また、映画のテレビ放映についても、放映作品数の 60%以上を欧州映画、うち 40%以上が仏語を原語とする映画でなければならない。これらのブロードキャスト・クォータは、プライムタイム（水曜日 14～23 時、木～火曜日の 18～23 時）の放映番組に限って適用される。<sup>136</sup> Game-One、J-One、Mangas などアニメに特化した放送局以外の一般放送局は、この限られた外国作品枠をより幅広い層に支持される米国作品に費やし、アニメへの関心は高くとも、米国作品と比較して限られたファンのためのニッチ市場と捉えられているアニメ作品は二の次となってしまうのが現状である<sup>137</sup>。

アニメに特化した放送局もこのクォータを考慮しなければならず、その影響は大きい。Game-One/J-One の Aurore Davoine-Graziani 氏によると、監督機関との交渉により J-One は外国作品枠を 50%まで広げることができているが、様々な工夫を凝らしてチャンネルの特性を守っている。Game-One、J-One とともに、日本の番組をそのまま（字幕または吹き替え）放送するだけでなく、日本の作品やポップカルチャーをフランス語で紹介する情報番組を制作、放映している。フランスで制作するこうした番組はアニメやポップカルチャーに関するイベントや展示会情報、マンガのグラフィックスやあらすじの分析、新作アニメや日本映画の最新情報などで構成される。Game-One、J-One の番組制作チームは、各地を巡って多数のイベントや展示会に参加し、日本に取材に行くことも多い。こうしたフランス制作のフランス語による番組を放映することで、クォータを満たしながら、日本のポップカルチャー、ジャパニメーション特化チャンネルという特性を維持している。このような紹介番組は日本のライセンスホルダーにもおおむね歓迎されながらも、番組で取り上げる作品の制作会社などから承認を得ることは簡単ではない。それでも Game-One/J-One は、こうした独自制作番組の放映は、クォータ対策としてだけでなく大変注力している。一方で Mangas のクォータへの対策は、ノスタルジーをチャンネル特性のひとつと見なし、フランス人視聴者が懐かしいと感じるフランスの古いアニメーションを放映している。

(ii) 劇場用アニメ

- フランス国内のアニメーション映画

CNC によると、2017 年、フランス国内ではアニメーション映画 5 作品が制作され、その制作

<sup>136</sup> CSA ウェブサイト <https://www.csa.fr/Arbitrer/Promotion-de-la-production-audiovisuelle/Les-quotas-a-la-television>

<sup>137</sup> Crunchyroll の Olivier Fallaix 氏のインタビューによる。

費は約 2,950 万ユーロ、平均で 1 作品につき約 5,900 万ユーロであった<sup>138</sup>。

**表 21： フランス国内制作の劇場用アニメーション作品数と制作費（2016～2017 年）**

	2016 年	2017 年	前年比
作品数	10	5	-50.0%
平均制作費 (€100 万)	7.3	5.9	-19.2%
制作費計 (€100 万)	72.6	29.5	-19.2%
フランス資本 (€100 万)	57	29.5	-48.2%
国外資本 (€100 万)	15.6	0	-100.0%

出所：CNC “Les chiffres clés de l’animation en 2017”

[https://www.cnc.fr/professionnels/etudes-et-rapports/etudes-prospectives/les-chiffres-cles-de-lanimation-en-2017\\_873982](https://www.cnc.fr/professionnels/etudes-et-rapports/etudes-prospectives/les-chiffres-cles-de-lanimation-en-2017_873982)

2017 年に新たに劇場公開されたアニメーション映画は 36 作品で、全新作映画の内 5.2%がアニメーション映画であった。その制作国を見ると、フランス国内が 13.9%、米国が 38.9%、欧州が 25%、アニメを含むその他各国が 22.2%で、例年、米国作品が主流となっている（図 8 参照）。2017 年は前年と比較してフランス作品が半減し、フランス以外の欧州作品が 4 作品から 9 作品と 2 倍以上となり、その他各国作品は 2 作品増加した。日本作品は「Dans un recoin de ce monde (この世界の片隅に)」、「Pokémon, le film : Je te chois ! (劇場版ポケットモンスター キミにきめた!)」などが公開された。

**表 22： フランスの劇場公開アニメーション映画作品数（2016～2017 年）**

	2016 年	2017 年	前年比
フランス作品	10	5	-50.0%
米国作品	15	14	-6.6%
欧州作品	4	9	125.0%
その他作品	6	8	33.3%
計	35	36	2.8%

注) 新規劇場公開作品のみ

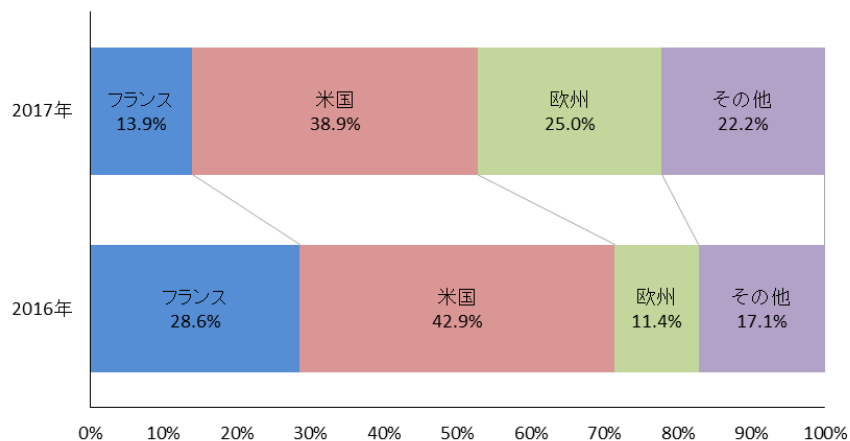
出所：CNC “Les chiffres clés de l’animation en 2017”

[https://www.cnc.fr/professionnels/etudes-et-rapports/etudes-prospectives/les-chiffres-cles-de-lanimation-en-2017\\_873982](https://www.cnc.fr/professionnels/etudes-et-rapports/etudes-prospectives/les-chiffres-cles-de-lanimation-en-2017_873982)

**図 8： フランスの劇場公開アニメーション作品制作国の割合（2016～2017 年）**

<sup>138</sup> 1 ユーロ=124.16 円 (2019 年 3 月 28 日終値)





注) 新規劇場公開作品のみ

出所：CNC “Les chiffres clés de l’animation en 2017”のデータより EBS 作成

<https://www.cnc.fr/professionnels/etudes-et-rapports/etudes-prospectives/les-chiffres-cles-de-lanimation-en-2017-873982>

表 23：フランスの新規劇場公開アニメ作品の興行成績（2016～2017年）

	2016年	2017年	前年比
観客動員数	33.9	31	-8.4%
市場シェア	17.60%	16.30%	-1.3%
興行収入 (€100万)	203.3	186.9	-8.1%
チケット平均単価 (€)	6	6.3	0.5%
フランス作品観客動員数 (100万人)	2.8	2.9	3.6%
米国作品観客動員数 (100万人)	30	25.4	-15.3%

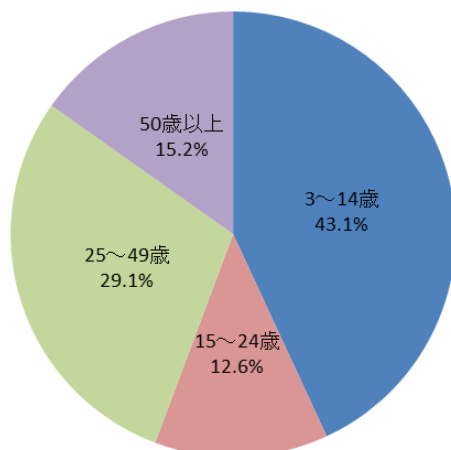
注) 新規劇場公開作品のみ

出所：CNC “Les chiffres clés de l’animation en 2017”

<https://www.cnc.fr/professionnels/etudes-et-rapports/etudes-prospectives/les-chiffres-cles-de-lanimation-en-2017-873982>

アニメーション映画の観客の年齢層は、3～14歳の児童が43.1%と最も多く、15～24歳が12.6%で合わせて24歳以下の層が過半数を占めた。男女別では女性が50.9%、男性が49.1%とほぼ半々となっている（図9参照）。

図9： フランスの劇場公開アニメーション作品の観客年齢層（2017年）



出所：CNC “Les chiffres clés de l’animation en 2017”

<https://www.cnc.fr/professionnels/etudes-et-rapports/etudes-prospectives/les-chiffres-cles-de-l-animation-en-2017-873982>

新規に劇場公開された映画作品全体の制作国を見ると、フランスが圧倒的に多く2017年は359作品が公開され、全体の51.8%を占めた。米国と欧州（フランスを除く）はほぼ同数がリリースされた。欧米以外の作品が占める割合は12.7%と大きくないが、他国が大幅に本数を減らした一方で、日本映画は2016年の7本から2017年は13本と85.7%の伸びとなった（表24参照）。

表24： フランスにおける新規劇場公開作品本数の制作国別推移（2012～2017年）

制作国	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2017年前年比(%)
フランス	299	330	330	321	364	359	(1.40)
米国	149	150	150	141	150	124	(17.30)
欧州 (フランスを除く)	100	107	107	125	118	122	3.40
その他	66	67	67	65	84	88	4.80
カナダ	9	9	9	7	12	9	(25.00)
中国	4	4	4	4	5	1	(80.00)
インド	7	8	8	6	17	12	(29.40)
日本	11	10	10	10	7	13	85.70
計	614	654	654	652	716	693	(3.20)

出所：CNC “Result 2017”

<https://www.cnc.fr/web/en/publications/results-2017-557488>

(iii) DVD

• DVD/Blu-ray 市場

フランスのDVDとBlu-rayの売上は年々減少を続けており、2017年の売上高は5億3,660万ユーロで、10年間で61.2%も減少している。特にBlu-rayに関しては、再生機器を所有する世帯

が全体の16.1%しかなく、2012年までは年々売上を伸ばしていたが、2013年から後退し、2017年の売上ユニット数はDVDの6,010万ユニットに対し、1,220万ユニットとなった。DVDとBlu-rayの需要低下傾向は、DVDとBlu-rayの低価格化、海賊版の横行といった要因もあるが、キャッチアップTVとインターネット配信（VOD）サービスの普及に拠るところが大きい。2012年には全体の18.4%であったVODのシェアは2017年には47.5%と急成長を続け、2018年にはDVD/Blu-rayと逆転していることは間違いない（図10参照）。

表 25： フランスのDVD/Blu-rayとVODの売上（税込）の推移（2012～2017年推定値）

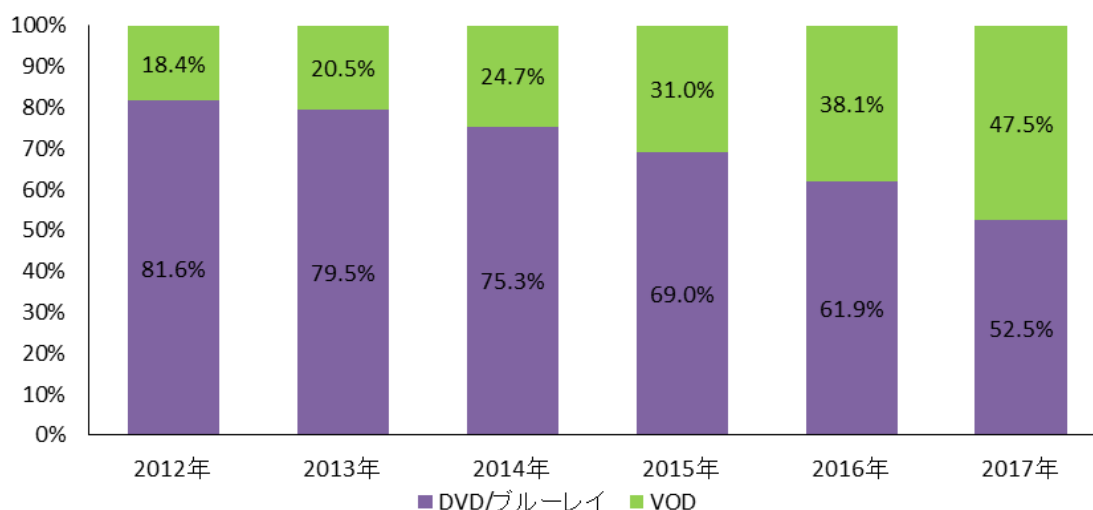
（単位：100万ユーロ）

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
VOD	251.7	239.6	265	317.6	366.6	485.1
DVD/ブルーレイ	1,116.0	929.1	807	707.5	595.1	536.6

出所：CNC "Result2017"

[https://www.cnc.fr/web/en/publications/results-2017\\_557488](https://www.cnc.fr/web/en/publications/results-2017_557488)

図 10： フランスのビデオ市場におけるDVD/Blu-rayとVODのマーケットシェアの推移（2012～2017年推定値）



出所：CNC "Result2017"

[https://www.cnc.fr/web/en/publications/results-2017\\_557488](https://www.cnc.fr/web/en/publications/results-2017_557488)

• アニメのDVD/Blu-ray需要

アニメに関しても同様の要因によりDVD/Blu-ray需要は縮小している。シリーズ作品の販売ライセンスについても、5年前はストリーミングよりもDVD/Blu-rayの方が高額であったが、現在は逆になっている。アニメ専門のビデオ編集者も国内では皆無となり、フランスのアニメに関するビデオ（DVD/Blu-ray）市場もVODの拡大とともに縮小の一途をたどると予想される。<sup>139</sup>

ただしアニメの熱心なファン向けには、依然としてDVDが重要との見方がある。DVDが視聴用というよりもマーチャндаイジング製品になっているためである。Anime Digital Network (ADN)のグループ会社であるKAZÉでは、コレクター用DVDボックスセット、作家のサイン

<sup>139</sup> CrunchyrollのOlivier Fallaix氏のインタビューによる。

やオリジナル描画を付けた DVD の販売でこうした需要に応え、これに伴い販売価格も引き上げを図っている。DVD を購入する層は 35 歳以上が多く、この層は「ドラゴンボール」などを観て育った世代という<sup>140</sup>。

フランスの DVD 市場に占めるアニメの割合について正確なデータはないが、売上高では 4%程度と推測される。このうち首位は KAZÉ で約 20%、これに Studio Ghibli、AV Video、AT Anime、Kana Home Video の順に続く<sup>141</sup>。

- アニメーション映画

アニメーション映画に関しても、2012 年に 1 億 2,020 万ユーロであった DVD/Blu-ray の売上（税込）は、2017 年には 6,980 万ユーロと 42%も減少している。一方、2017 年は前年比は 6.3%増となり、フランス作品の売上が 30.6%伸びた一方で、フランス以外の欧州作品は 43%減、米国・欧州以外の各国作品は 12.6%減となった（表 26 参照）。

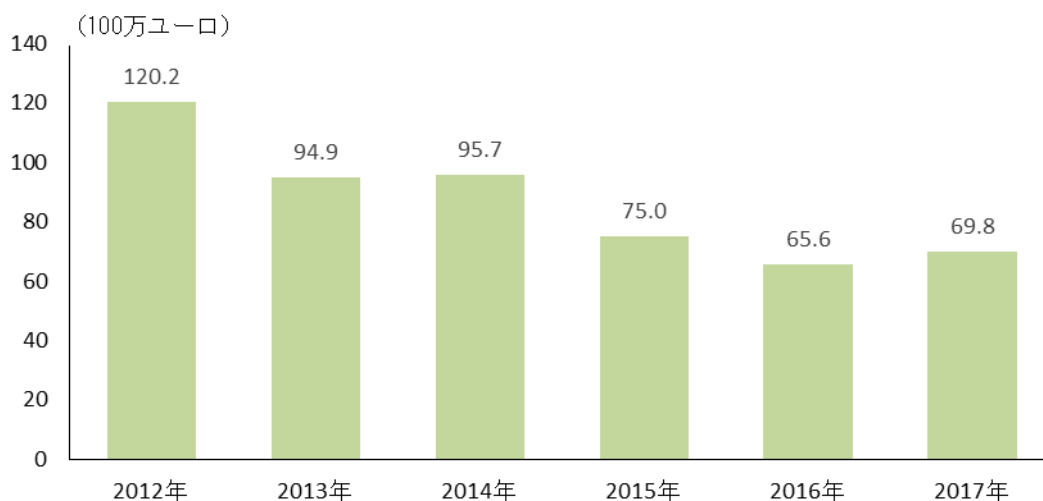
表 26： フランスにおける劇場用アニメーション作品の DVD と Blu-ray の売上（2017 年）

制作国	2017 年 (100 万ユーロ)	前年比
フランス	5.7	30.6%
米国	59.2	4.7%
フランス以外の欧州各国	0.5	-43.0%
その他各国	4.4	-12.6%
計	69.8	6.3%

出所：CNC “Les chiffres clés de l’animation en 2017”

<https://www.cnc.fr/professionnels/etudes-et-rapports/etudes-prospectives/les-chiffres-cles-de-lanimation-en-2017-873982>

図 11： フランスにおけるアニメーション DVD/Blu-ray 売上の推移（2012～2017 年、税込）



出所：CNC “Les chiffres clés de l’animation en 2017”

<https://www.cnc.fr/professionnels/etudes-et-rapports/etudes-prospectives/les-chiffres-cles-de-lanimation-en-2017-873982>

<sup>140</sup> Anime Digital Network の Julien Lemoine 氏とのインタビューによる。

<sup>141</sup> Anime Digital Network の Julien Lemoine 氏とのインタビューによる。

(iv) インターネット配信 (VOD)

CNCによると、フランスの有料 VOD 市場規模は、2017 年に 4 億 8,510 万ユーロ (推定値)、前年比 32.3%増で、そのうち、SVOD 市場は前年比 89.5%の 2 億 4,900 万ユーロ (推定値) であった。2017 年、劇場公開映画 2,790 作品が配信され、そのうち 50.1%が米国作品、33.3%がフランス作品、12.7%がフランス以外の欧州作品、その他各国作品は 3.9%であった。配信作品の公開年を見ると、20 年以上前の古い作品が 38.1%と最も多く、10~19 年前が 30.2%、5~9 年前が 22.9%、4 年以内の比較的新しい作品は 8.8%に留まっている。

配信プラットフォームに関しては、1 つのプラットフォームでのみ配信されている作品が 49.1%で、2 つのプラットフォームで提供されている作品は 29%、3 つ以上のプラットフォームで配信されている作品は 21.9%であったが、複数プラットフォームでの配信作品の数は年々増えている。2017 年、最も人気の VOD プラットフォームは Netflix で、有料 VOD サービス利用者の 33%が Netflix を利用している。同年のランキングで注目に値するのは、Amazon prime の躍進で、2016 年の 23 位から 13 位に上昇した。また、アニメの配信プラットフォームである Anime Digital Network(ADN)が 24 位ながら健闘している (表 27 参照)。<sup>142</sup>

表 27 : フランスの主要 VOD プラットフォーム利用者シェアの推移 (2013~2017 年)

(単位 : %)

		2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年
1	Netflix	-	6.8	26.8	27.1	33.0
2	Orange	28.6	26.9	28.0	29.0	27.2
3	MyTF1VOD	24.8	24.5	27.4	29.9	25.7
4	CAnlPlay VOD	24.1	21.4	21.1	22.9	20.2
5	France.tv	-	6.7	17.4	18.3	16.6
6	Google Play	8.3	10.3	11.6	15.3	13.5
7	Arte	-	11.8	15.2	14.4	12.4
8	SFR Play	-	-	0.2	9.9	12.2
9	CanlPlay(Unlimited Offer)	12.4	19.3	19.2	14.3	12.0
10	iTunes	15.7	15.6	15.6	15.3	11.8
11	SFR Club Video	15.4	15.3	12.6	14.2	11.5
12	Cinema[s]@la demande	-	5.1	7.7	12.2	9.9
13	Amazon Prime Video	-	-		0.6	8.2
14	Filmo TV	5.3	5.3	5.3	7.8	6.5
15	Films&Documentaries.com	-	2.5	4.7	8.0	5.9
16	Fnac Play	-	-		7.4	5.9
17	Studio+	-	-			5.4
18	Video Futur	4.8	5.7	4.9	6.4	5.4
19	Nolim	-	-			4.7
20	Wuaki	-	-			4.6
21	Carrefour	-	-			4.6
22	Vodeo	-	-			4.6
23	Cstream	-	-			4.5
24	Anime Digital Network (ADN)	-	1.9	4.3	5.4	4.5

出所 : CNC "Result 2017"

[https://www.cnc.fr/web/en/publications/results-2017\\_557488](https://www.cnc.fr/web/en/publications/results-2017_557488)

<sup>142</sup> CNC "Result 2017" [https://www.cnc.fr/web/en/publications/results-2017\\_557488](https://www.cnc.fr/web/en/publications/results-2017_557488)

- オンディマンドメディア (SMAD) へのブロードキャスト・クォータ制適用

前項で説明したブロードキャスト・クォータは、2018年に、VODやビデオシェアプラットフォーム配信にも同様のクォータが適用されることとなった。当初3年間は、欧州作品50%、フランス語による作品35%のクォータが適用される。<sup>143</sup> ただし、NetflixやCrunchyrollは、米国からフランス版のプラットフォームを運営しており、現状はこのクォータの適用を受けていない<sup>144</sup>。

- 日本のアニメ配信プラットフォーム

アニメのストリーミング市場に関しての統計データは存在しないが、拡大の一途をたどっているのは確かである。フランスではアニメの配信に特化した主なプラットフォーム、Anime Digital Network (ADN、<https://animedigitalnetwork.fr/>)、Crunchyroll.fr (<https://www.crunchyroll.com/fr>)、Wakanim (<https://www.wakanim.tv/>) がそれぞれに健闘している。2018年11～12月の3カ月間のインターネットトラフィックに関する統計では、フランスで早くから多くの作品を配信するADNが約50%のシェアで、残りの50%をCrunchyrollとWakanimがほぼ半々に分け合っている (図12参照)<sup>145</sup>。

ADNは2013年にフランスにおけるアニメの老舗であるKazé (Viz Media Europeグループ)とKana (Media Participation傘下)両社がそれぞれに運営していたVODプラットフォーム<sup>146</sup>を統合して誕生したため、その配信作品は当初より充実しており、「NARUTO-ナルト-」や「One Piece」といったトップ作品も含まれている。アニメ配信プラットフォームとしては世界最大級のCrunchyrollがフランスで配信サービスを開始したのは2014年で後発となり、現在も2番手である。フランスのCrunchyrollの配信カタログは約6,000話とADNと同規模であるが、人気作品のフランスにおける配信ライセンスは既にADNやWakanimが取得済みであったため、Crunchyrollは比較的新しい作品が主体となっている。

Crunchyrollとほぼ互角のWakanimはフランス初のアニメのストリーミングプラットフォームであり、パイオニア的存在である。日本のアニプレックス社に買収されたことで、アニプレックス社の作品を網羅し、さらに「進撃の巨人」といった大ヒット作のライセンスも獲得し配信している。これら3つのプラットフォームは、フランスのアニメファンが最新作の数々をフランス語字幕付きで合法的に視聴できるサービスを提供している。<sup>147</sup>

---

<sup>143</sup> CSA ウェブサイト <https://www.csa.fr/Arbitrer/Promotion-de-la-production-audiovisuelle/Les-quotas-a-la-television>

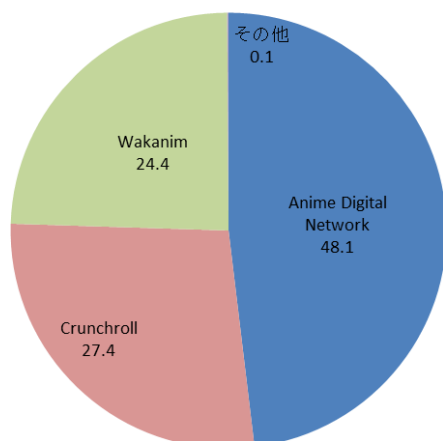
<sup>144</sup> CrunchyrollのOlivier Fallaix氏のインタビューによる。

<sup>145</sup> 市場シェアは季節的な変動も大きく首位のAnime Digital network(AND)のシェアは48～57%の間となっている (Anime Digital NetworkのJulien Lemoine氏とのインタビューによる)。

<sup>146</sup> Kazéの「KZ PLAY」とKana Home Videoの「Genzai」。

<sup>147</sup> CrunchyrollのOlivier Fallaix氏のインタビューによる。

図 12： フランスにおけるアニメ VOD プラットフォームのシェア（2018 年 11 月～2019 年 1 月、%）



出所：ADN の Julien Lemoine 氏の提供データ（Similarweb によるウェブサイトトラフィック分析ツール (<https://pro.similarweb.com/>)

動画の配信方法では、日本でのテレビ放映後 1 時間での配信、1 週間の独占配信があり、Crunchyroll と Wanim はこれをセールスポイントにしている。これは 5 時間程度で違法な配信が出回るため、この著作権侵害に対抗する狙いもある<sup>148</sup>。ADN にもこの配信方法があるが、これをセールスポイントにはせず、吹き替えの質の高さなど編集を含めた包括的なカタログを持つことを目標としている。また、SVOD のほかに AVOD（Advertising Video On Demand／広告付き動画無料配信）でもアニメの配信があり、ADN は 2018 年 4 月から「ワンパンマン」の第 2 シーズンを AVOD で配信している。これにより SVOD の契約が影響を受けることはなく、逆に違法ダウンロードから合法的で良質な AVOD に顧客を取り込むことができるという<sup>149</sup>。なおアニメのストリーミングの視聴の中心的な年齢層は 15～35 歳で、この中でも 15～24 歳の年齢層は最も強力な消費者層となっている<sup>150</sup>。

• TV アニメシリーズの需要ランキング

Parrot Analytics 社の独自調査によると、2018 年 12 月 28 日から 3 月 27 日までの 3 か月間にフランスで最も需要の高かった TV アニメシリーズは「ドラゴンボール超」で、米国発の人気番組「サウスパーク」「シンプソンズ」に大きく差をつけて首位となった。15 位中、日本のアニメが 8 作品、米国が 7 作品で日米以外の作品はなかった。（表 28 参照）

表 28： フランスにおけるアニメ TV シリーズの需要ランキング（2018 年 12 月 28～2019 年 3 月 27 日）

	作品名	需要指数 (DEX) ※ (単位：100 万)
1	ドラゴンボール超	3.8
2	サウスパーク	2.6

<sup>148</sup> Anime Digital Network の Julien Lemoine 氏とのインタビューによる。

<sup>149</sup> Anime Digital Network の Julien Lemoine 氏とのインタビューによる。

<sup>150</sup> Anime Digital Network の Julien Lemoine 氏とのインタビューによる。



3	ザ・シンプソンズ	2.4
4	リックアンドモーティアー	2.3
5	僕のヒーローアカデミア	2.1
6	One Piece	1.9
7	進撃の巨人	1.9
8	ナルト Naruto	1.6
9	ファミリーガイ	1.5
10	アメリカン・ダッド	1.3
11	ブラッククローバー	1.1
12	東京喰種	1.1
13	Bob's Burgers	0.8405
14	ジョジョの奇妙な冒険	0.8329
15	Disenchantment	0.7871

\*Parrot Analytics 社独自の需要計測システム (Demand Expressions®) による計測値。VOD・SVOD などすべてのプラットフォームにおける動画トラフィックデータ (ストリーミング・ダウンロード)、検索時間、ソーシャルメディアにおける露出 (ハッシュタグ・いいね!・共有の回数など)、その他メディア露出度などのデータ収集と解析による。世界各国のデータを標準化し、ギネスブックの世界 TV 番組ランキング決定などに活用されている。

出所 : Parrot Analytics ([www.parrotanalytics.com](http://www.parrotanalytics.com)) 提供“Demand for Animation TV Series in France”

表 29 は同社による、日本のアニメシリーズに絞ったフランスの需要ランキングである。

表 29 : フランスにおける日本のアニメ TV シリーズの需要ランキング (2018 年 12 月 28~2019 年 3 月 27 日)

	作品名	需要指数 (DEX) * (単位 : 100 万)
1	ドラゴンボール超	3.8
2	僕のヒーローアカデミア	2.1
3	One Piece	1.9
4	進撃の巨人	1.9
5	Naruto	1.6
6	ブラッククローバー	1.1
7	東京喰種	1.1
8	ジョジョの奇妙な冒険	0.8329
9	七つの大罪	0.743
10	ソードアート・オンライン	0.7189
11	カウボーイビバップ	0.6297
12	ワンパンマン	0.5642
13	ハンターハンター	0.5269
14	賭ケグルイ	0.3916
15	鋼の錬金術師 FULLMETAL ALCHEMIST	0.3871

\*Parrot Analytics 社独自の需要計測システム (Demand Expressions®) による計測値。

出所 : Parrot Analytics ([www.parrotanalytics.com](http://www.parrotanalytics.com)) 提供“Demand for Japanese Animation TV Series in France”

#### • Netflix と Amazon Prime

フランスの映像配信プラットフォームの首位である Netflix と、急成長を遂げている Amazon Prime Video もフランスでアニメ作品を配信している。現在アニメに注力しているとは言えないが、この巨大プラットフォームの脅威は、その会員規模とともに、ライセンスの独占にある。Netflix がライセンスを取得した作品は、Netflix でしか提供されず、他のプラットフォームは勿論のこと、テレビ放映も制限される。Netflix による配信が遅れた場合、期待作であっても人気を

得るチャンス逃すこともあり得る。<sup>151</sup>

ADNのSVODの契約者を対象とした調査では、約50%がNetflixの契約者でADNはNetflixの補完的な位置づけとなっている。Netflixはアニメに対する世界的な需要に対応し、日本のアニメ・スタジオとNetflix向け作品制作の独占契約も結び、これがアニメに対する新たな関心を生んでいる。フランスのアニメ動画配信プラットフォームもこうした消費者をできるだけ多く取り込むことを目指している。ただし、Netflixは膨大な消費者データを背景にアニメ・スタジオの制作過程にも介入するため、日本のアニメ・スタジオがNetflixへの依存を高めることでオリジナリティを失う懸念があるとの見方も出ている<sup>152</sup>。またNetflixにとっては多くのカタログの一部でしかないため、アニメを宣伝するためのマーケティング予算もなく、マーチャンダイジングにも結びつかないという。

- 子供向けプログラムのVODサイト

日本の作品に特化した上記配信サービス以外では、子供向けのVODサイトもアニメ作品を多く配信している。(表30参照)

---

<sup>151</sup> CrunchyrollのOlivier Fallaix氏のインタビューによる。

<sup>152</sup> Anime Digital NetworkのJulien Lemoine氏とのインタビューによる。

表 30： フランスで子供向けアニメを配信する主な VOD プラットフォーム

VOD	配信企業	メディアグループ	サービス形態	発信国	言語	無料/有料
ADN Anime Digital Network	KAZE SAS		SVOD	フランス	フランス語	有料
Disneytek	THE WALT DISNEY COMPANY FRANCE SA	Walt Disney Inc	TVOD	フランス	フランス語	有料
Gulli Max	Lagardère Active		SVOD	フランス	フランス語	有料
Infinikids	Mobile Mediacom		Free VOD	フランス	フランス語	無料
Ludo	FRANCE TELEVISIONS		Free VOD	フランス	フランス語	有料
Mon Science et Vie junior	AB THEMATIQUES		SVOD	フランス	フランス語	有料
Okidoki	OKIDOKI		SVOD	フランス	フランス語	有料
Pass Gulli	Rakuten Inc.		SVOD	フランス	フランス語	有料
Pass Kids (SFR)	SFR - STE FRANCAISE DE RADIOTELEPHONE	ALTICE S.A.	SVOD	フランス	フランス語	有料
TFOU Max	TELEVISION FRANCAISE 1 (TF1)	BOUYGUES	SVOD	フランス	フランス語	有料
Wakanim.tv	WAKANIM		SVOD	フランス	フランス語	有料
Zooloo Kids	NUMERICABLE-SFR	ALTICE S.A.	TVOD	フランス	フランス語	有料
Crunchyroll	Crunchyroll		SVOD	米国 (欧州版プログラム)	英語・フランス語	有料
Hopster	PLATO MEDIA LIMITED		SVOD	英国	英語	有料
Toon Goggles	Toon Goggles, Inc		Free VOD	米国 (欧州版プログラム)	英語	無料
YouTube Kids	YouTube LLC	ALPHABET INC.	Free VOD	米国 (欧州版プログラム)	英語	無料

注) EU MAVISE データベースにて「子供向け」に分類されているサービスを掲載している。

出所：EU MAVISE のデータベースをもとに EBS 作成  
<http://mavise.obs.coe.int/country?id=1>

## ② 市場予測、展望

Crunchyroll の Olivier Fallaix 氏は、アニメのインターネット配信市場は今後も成長を続けると見ている。特に 18～25 歳の層にとって、インターネット経由は彼らの消費スタイルとなっている。30 歳以上のファン層の中には、DVD ボックスセットの所有や収集を好む人も多いが、DVD/Blu-ray の購入を続けながら、ストリーミングプラットフォームも利用していくことになるであろう。既存のアニメファンにとって最も重要なのは作品の鮮度となっており、日本放映から 1 時間後の配信というモデルが定着してきている。また、視聴可能作品が増え続ける中で、他国では公開されているのにフランスでは視聴できない話題作や美しい作品が存在するを受け入れ難く、そういった未公開作品に関してはいまだに違法ダウンロードが横行している点を改善しなければならない。

Game-One/J-One の Aurore Davoine-Graziani 氏によると、フランスのアニメ市場は急成長を遂げ、現在、コンテンツ需要はかつてない高さとなっている。もともとフランスは日本文化に対する関心が高くアニメファンも多かったが、アニメ市場はニッチ市場であった。インターネットとストリーミングプラットフォームの普及により、ファン層の拡大は目を見張るものがある。こうした中で、テレビというメディア媒体が今後どのような位置づけとなるかを見据えるのは難しい。しかしながらテレビ放送の影響力、可能性はまだ大きい。テレビは偉大なプロモーションツールであり、新作コンテンツの周知はここから始まる。テレビ放映する作品は選考を経て決定される。見逃してはならない作品として放映するのである。一方でインターネット配信は量的な部分がある。テレビ放映される作品はその価値があるという固定観念も健在で、アニメのテレビ放映は今後またいへん有益であると見ている。

Anime Digital Network の Julien Lemoine 氏によれば、同社のプラットフォームの規模は 2016 年に 2 倍、2017 年に 2.5 倍、2018 年には 4 倍に拡大し、2019 年も 2 倍の拡大を見込んでいる。前述のように Netflix の効果もあり、これまでアニメに関心のなかった新たな層にも広がってきている。ただしアニメが Netflix など米国のプラットフォームに依存しすぎて、その要望に沿って制作することで、オリジナリティを喪失することに懸念を示している。また、Netflix がフランスのストリーミングプラットフォームの CanalPlay を打ち負かしたのと同じ手法で、米国の Funimation や Crunchyroll が欧州市場を奪う可能性もあるという。

### ③ 主な関連見本市およびイベント

イベント名	<b>MIPTV</b>
会場	Palais des Festivals, 1 Boulevard de la Croisette 06400 Cannes France
ウェブサイト	<a href="http://www.miptv.com/what-is-miptv/">http://www.miptv.com/what-is-miptv/</a>
開催日 (2019 年)	2019 年 4 月 8～11 日
主催者	Reed MIDEM - Paris Headquarters
連絡先	(France) Sylvia Ferreira, (UK) Paul Nickeas ウェブフォーム: <a href="https://www.miptv.com/practical-information/">https://www.miptv.com/practical-information/</a>
イベント概要	コンテンツ開発制作および流通業者を対象とした世界最大級の映像コンテンツ国際見本市。アニメだけでなく、ドラマシリーズ、子供向け番組、ドキュメンタリーなどあらゆる TV 番組コンテンツを対象とする。100 カ国以上からコンテンツバイヤー、開発者、プロダクション、コミッショナー、投資家、TV 放送局など 3,400 社が参加、1 万人以上が訪問している。

イベント名	<b>MIFA (Annecy Festival)</b>
会場	Imperial Palace, Allée de l'Impérial, 74000 Annecy, France
ウェブサイト	<a href="https://www.annecy.org/home">https://www.annecy.org/home</a>
開催日 (2019 年)	2019 年 6 月 10～14 日
主催者	Reed MIDEM - Paris Headquarters
連絡先	CITIA, c/o Conservatoire d'art et d'histoire, 18 avenue du Trésum, CS 50038, Annecy, FR-74001 Annecy Cedex Tel: +33 (0)4 50 10 09 00, Fax +33 (0)4 50 10 09 70 Email: <a href="mailto:info@citia.org">info@citia.org</a>
イベント概要	あらゆるブロードキャスティングプラットフォームにおけるアニメーションコンテンツの制作、共同制作、資金調達、購買、流通に関して最も重要なイベントとされ、世界中のアニメーション関連業者が参加する。95 カ国から、827 社が出展、490 社のバイヤー・投資家・流通業者、ジャーナリスト 400 人が参加、訪問者数は 1 万 1,700 人。受賞候補映画 194 作品。

イベント名	<b>MIPJUNIOR</b>
会場	Palais des Festivals, 1 Boulevard de la Croisette 06400 Cannes France - JW MARRIOTT HOTEL, 50 boulevard de la Croisette, Cannes.
ウェブサイト	<a href="https://www.mipjunior.com">https://www.mipjunior.com</a>
開催日 (2019年)	2019年10月12～13日
主催者	Reed MIDEM - Paris Headquarters
連絡先	ウェブフォーム: <a href="http://services.reedmidem.com/en/forms/web-to-case/?&amp;date=2019&amp;event=MIPCOM.COM">http://services.reedmidem.com/en/forms/web-to-case/?&amp;date=2019&amp;event=MIPCOM.COM</a>
イベント概要	子供向けコンテンツに特化した、国際的影響力を持つバイヤーとコンテンツ制作者、ライセンサー、販売・流通業者などを繋ぐ国際見本市。主要テレビ局、デジタルコンテンツ制作者、出版社、ライセンサーといった関連業者にとって、最新コンテンツの発掘機会となっている。2018年は66カ国から1,440件の作品・プロジェクト・IPが出展、650人のバイヤーが参加した。

イベント名	<b>MIPCOM</b>
会場	Palais des Festivals, 1 Boulevard de la Croisette 06400 Cannes France
ウェブサイト	<a href="https://www.mipcom.com/en/home/">https://www.mipcom.com/en/home/</a>
開催日 (2019年)	2019年10月14～17日
主催者	Reed MIDEM - Paris Headquarters
連絡先	ウェブフォーム: <a href="http://services.reedmidem.com/en/forms/web-to-case/?&amp;date=2019&amp;event=MIPCOM.COM">http://services.reedmidem.com/en/forms/web-to-case/?&amp;date=2019&amp;event=MIPCOM.COM</a>
イベント概要	娯楽コンテンツに関する国際見本市。世界中のコンテンツ制作者、ライセンサー、バイヤー、販売・流通業者といったコンテンツ関連業者が参加し、新たなコンテンツや共同制作プロジェクトの発掘や、購買契約成立、世界のコンテンツ業界の最新動向を知る場となっている。2018年は、110カ国から1万3,800人が訪問し、うち4,800人のバイヤーが参加した。

イベント名	<b>Japan Expo</b>
会場	Parc des Expositions de Villepinte, Paris-Nord Villepinte (ZAC Paris Nord 2, 93420 Villepinte, France)
ウェブサイト	<a href="http://www.japan-expo-france.jp/jp/">http://www.japan-expo-france.jp/jp/</a>
開催日 (2019年)	2019年7月4～7日
主催者	SEFA EVENT JTS Group
連絡先	Japan Expo 日本駐在事務所 (JTS Group) 住所: 〒141-0021 東京品川区上大崎 2-15-19 MG 目黒駅前ビル Email: <a href="mailto:contact-japan@sefa.event.com">contact-japan@sefa.event.com</a>
イベント概要	1999年初開催以降、2006年を除き毎年開催されている欧州最大の日本文化イベント。日本の伝統文化からアニメ、漫画、ゲーム、コスプレ、音楽、ファッションや格闘技などあらゆる日本文化を扱う。来場者238,241人、会場面積135,000㎡、出展社675社(2017年実績)。毎年規模を拡大し、マルセイユとオレアン(フランス)、ブリュッセル(ベルギー)、サンタクララ(米国)の4カ所でも開催されている。世界最大のアニメイベントとしても認識されており、その規模は米国で開催されているアニメ・エキスポの約4倍。未公開アニメ作品のプレミア上映会もこのイベントで開催されている。

イベント名	<b>Japan Expo Sud</b>
会場	Marseille Chanot - Palais des congrès et des expositions Rond-Point du Prado 13 008 Marseille
ウェブサイト	<a href="https://www.japan-expo-sud.com/fr/">https://www.japan-expo-sud.com/fr/</a>
開催日 (2019年)	2019年2月22～24日
主催者	SEFA EVENT JTS Group
連絡先	Japan Expo 日本駐在事務所 (JTS Group) 住所: 〒141-0021 東京品川区上大崎 2-15-19 MG 目黒駅前ビル Email: <a href="mailto:contact-japan@sefa.event.com">contact-japan@sefa.event.com</a>

イベント概要	上記 Japan Expo と同じ主催者が同様のイベントをマルセイユで開催。2019 年で 10 回目となる。訪問者数は約 5 万人。
--------	---

イベント名	<b>Japan Vannes Matsuri</b>
会場	Le Chorus Parc du Golfe 56000 Vannes France
ウェブサイト	<a href="http://www.lechorus.com/japan-vannes-matsuri-2019-en">http://www.lechorus.com/japan-vannes-matsuri-2019-en</a>
開催日 (2019 年)	2019 年 1 月 26、27 日
主催者	Le Chorus
連絡先	Fanny Le Mentec Tel. +33 (0) 2 97 46 41 41 Email: <a href="mailto:fanny.lementec@lechorus.com">fanny.lementec@lechorus.com</a>
イベント概要	日本の伝統文化とポップカルチャー（漫画、アニメ、ビデオゲーム、音楽など）のイベント。訪問者は約 1 万人。

イベント名	<b>Paris Manga &amp; Sci-Fi Show</b>
会場	Paris Expo - Porte de Versailles. Hall 7.2 1 Place de La Porte de Versailles 75015 Paris France
ウェブサイト	<a href="https://www.parismanga.fr">https://www.parismanga.fr</a>
開催日 (2019 年)	2019 年 2 月 16、17 日 2019 年 10 月 5、6 日
主催者	Parismanga.fr
連絡先	<a href="mailto:contact@parismanga.fr">Email: contact@parismanga.fr</a>
イベント概要	日本の漫画、アニメに関する祭典。2006 年から年 2 回パリ市内で開催。Japan Expo よりも規模は小さいが、業界関係者 200 人以上が招待され、訪問者数は 150,000 人に達する人気イベントとなっている。

上記に挙げたイベントの他にも、フランスではアニメや漫画、日本のポップカルチャーに関するイベントが各地で毎週のように開催され、規模に大小はありながら盛況で、その数は近年急増している<sup>153</sup>。

#### ④ 主要な輸入作品リスト

##### (i) 主要なテレビアニメ放映作品一覧

表 31：フランスでテレビ放映された主要な日本テレビアニメ作品

テレビシリーズ	チャンネル
カリメロ	TF1/MANGAS
キャプテン翼	TF1
モンチッチ	TF1
僕のヒーローアカデミア	TFX
コブラ	Canal+
ルパン三世	Canal+
BTOOOM!	Canal+
ドラゴンボール Z	D17
聖闘士星矢	D17
フルーツバスケット	Cartoon Network
サイレントメビウス	MANGAS
めぞん一刻	MANGAS

<sup>153</sup> Cronchyroll の Olivier Fallaix、Anime Digital Network の Julien Lemoine 氏、Game-One/J-One の Aurore Davoine-Graziani 氏の全員がインタビューで言及している。

出所：各局ウェブサイト、フランスにおける報道、下記サイトから抽出  
<https://www.licensingmagazine.com/2018/09/25/tf1-viz-media-europe-announce-the-broadcasting-of-2-successful-series/?lang=en>  
<http://www.licensingcorner.com>  
<https://www.fangirl.eu/2007/08/05/petit-historique-de-lanime-et-du-manga-en-france-de-1978-a-2003/>

表 32： フランスでテレビ放映された主要な外国制作テレビアニメ作品

テレビシリーズ	制作国	チャンネル
スーパーウィングス	韓国	TF1/C8
パウ・パトロール	米国・カナダ	TF1
すすめ!オクトノーツ	英国・アイルランド	TF1
スポンジ・ボブ	米国	TF1/ニコロデオ
The ZhuZhus	カナダ・米国	France 3
ペッパピッグ	英国	France 5
ピーターラビットのだいぼうけん	米国・オーストラリア	France 5/C8
ボブとはたらくブーブーズ	米国・英国	France 5
ロボットトレインケイ	韓国	C8
Rise of the Teenage Mutant Ninja Turtles	米国	ニコロデオ
Kids Danger	米国	ニコロデオ
Teen Titans Go!	米国	カートゥーン ネットワーク

注) 日本語版がないが英語タイトルがあるものは、英語タイトルで記述。

出所：各テレビ局番組表より抽出し作成。

<https://www.tf1.fr>、<https://www.france.tv>、<https://www.mycanal.fr/chaines/c8>

(ii) 主要な劇場上映アニメ作品一覧

表 33： フランスで劇場公開された主な劇場用アニメ作品（2000年以降、観客動員数順）

	作品名	公開年	上映館数	観客動員数(人)	興行収入	配給
1	劇場版ポケットモンスターミュウツーの逆襲	2000年	627	2,224,432	-	Warner Bros.
2	千と千尋の神隠し	2002年	305	1,436,845	\$6,326,294	GBVI
3	ハウルの動く城	2005年	429	1,354,340	\$8,771,562	Walt Disney Pictures
4	借りぐらしのアリエッティ	2011年	281	934,073	\$7,010,476	Walt Disney Pictures
5	天空の城ラピュタ	2003年	342	931,234	-	GBVI
6	崖の上のポニョ	2009年	261	906,455	\$6,901,818	Walt Disney Pictures
7	風立ちぬ	2014年	399	776,769	\$5,446,333	Walt Disney Pictures
8	劇場版ポケットモンスター幻のポケモンルギア爆誕	2000年	640	730,002		Warner Bros.
9	キャプテンハーロック	2013年	287	724,788	\$5,864,659	Océan Films
10	もののけ姫	2000年	107	688,663	-	GBVI
11	魔女の宅急便	2004年	367	595,195	\$3,488,960	GBVI
12	ドラゴンボール超 プロリー	2019年	311	481,190	\$2,752,691	Wild Bunch
13	猫の恩返し	2003年	303	474,088	\$1,978,488	GBVI
14	コクリコ坂から	2012年	204	409,766	\$2,096,083	GBVI
15	メアリと魔女の花	2018年	292	341,159	\$2,581,813	Diaphana
16	風の谷のナウシカ	2006年	80	307,105	\$1,521,343	Walt Disney Pictures



17	君の名は。	2016年	100	250,859	\$1,412,916	Eurozoom
18	平成狸合戦ぽんぽこ	2006年	308	249,547	\$879,930	Walt Disney Pictures
19	聖闘士星矢 Legend of Sanctuary	2015年	205	247,681	\$1,315,337	Wild Bunch
20	ゲド戦記	2007年	195	232,264	\$1,340,384	Walt Disney Pictures
21	妖怪ウッチ誕生の秘密だニャン!	2017年	202	229,899	\$1,662,159	Wild Bunch
22	未来のミライ	2018年	150	212,917	\$1,529,222	Wild Bunch
23	かぐや姫の物語	2014年	155	196,033	\$379,807	Walt Disney Pictures
24	バケモノの子	2016年	177	171,869	\$308,416	Gaumont
25	おおかみこどもの雨と雪	2012年	49	169,383	-	Eurozoom
26	パンダコパンダ雨ふりサーカスの巻	2009年	90	163,397	-	Gébéka
27	劇場版ポケットモンスター結晶塔の帝王 ENTEI	2001年	152	160,401	-	Warner Bros.
28	こまねこ	2009年	62	124,823	-	Gébéka
29	イノセンス	2004年	178	121,935	\$770,086	UIP
30	メトロポリス	2002年	40	119,259	\$469,191	Columbia
31	思い出のマーニー	2015年	145	114,679	\$328,526	Walt Disney Pictures
32	スチームボーイ	2004年	50	104,526	\$460,978	Gaumont Sony
33	デジモン THE MOVIES	2001年	191	88,345	-	
34	じゃりん子チエ	2005年	57	84,288	-	Gébéka
35	ジャングル大帝	2005年	82	82,804	-	Gébéka
36	聲の形	2018年	75	77,839	\$524,547	
37	ソードアート・オンライン-オーディナル・スケール-	2017年	113	75,578	\$73,577	Eurozoom
38	百日紅~Miss HOKUSAI~	2015年	42	71,636	-	Eurozoom
39	ザ・ラスト ナルト・ザ・ムービー	2015年	82	68,114	-	Eurozoom
40	ももへの手紙	2013年	63	62,511	-	Films du Préau
41	若おかみは小学生!	2018年	90	60,321	\$82,561	Eurozoom
42	ホーホケキョ となりの山田くん	2001年	72	56,057	-	Océan Films
43	となりのトトロ	2018年	141	55,370	-	Walt Disney Pictures
44	ONE PIECE FILM Z	2013年	80	54,532	-	Eurozoom
45	時をかける少女	2007年	29	50,421	-	Eurozoom
46	この世界の片隅に	2017年	64	46,811	-	Septième Factory
47	遊☆戯☆王デュエルモンスターズ光のピラミッド	2004年	69	46,681	\$257,906	Warner Bros.
48	ONE PIECE FILM GOLD	2016年	47	27,470	-	KMBO
49	夜明け告げるルーのうた	2017年	60	25,279	-	Eurozoom
50	サマーウォーズ	2010年	30	25,131	\$75,761	Eurozoom

注) 数値はすべてフランス国内。1米ドル=110.63円 (2019年3月28日終値)

出所: JP's Box-Office (のデータを基に EBS 作成)

<http://jpbox-office.com/>

表 34: フランスで劇場公開された主な外国制作劇場用アニメーション作品 (公開年 2009 年以降)

作品名	制作国	公開年	上映館数	観客動員数(人)	興行収入	DVD	VOD	配給
インクレディブル・ファミリー	米国	2018年	890	5,688,095	\$42,284,590	○	○	The Walt Disney Company France
犬ヶ島	ドイツ/米国	2018年	320	400,227	\$3,193,042	○	○	Twentieth Century Fox France
生きのびるために	カナダ/ アイスランド/ ルクセンブルグ	2018年	198	216,937	\$1,387,865	○	○	Le Pacte
リメンバー・ミー	米国	2017年	918	4,505,123	\$33,311,334	○	○	The Walt Disney Company France
SING/シング	米国	2017年	795	3,526,954	\$22,889,974	○	○	Universal International Pictures France
トロールズ	米国	2016年	611	2,740,550	\$18,495,935	○	○	20th Century Fox
ズートピア	米国	2016年	743	4,845,109	\$31,884,949	○	○	The Walt Disney Company France
モアナと伝説の海	米国	2016年	846	5,625,807	\$35,034,922	○	○	The Walt Disney Company France
KUBO/クボ 二本の弦の秘密	米国	2016年	497	422,894	\$2,768,243	○	○	Universal International Pictures France
インサイド・ヘッド	米国	2015年	892	4,516,453	-	○	○	The Walt Disney Company France
ベイマックス	米国	2015年	625	1,710,483	\$11,253,511	○	○	The Walt Disney Company France
ヒックとドラゴン2	米国	2014年	699	3,376,525	\$25,097,851	○	○	Twentieth Century Fox France
ガーディアンズ 伝説の勇者たち	米国	2012年	855	2,833,326	\$25,314,994	○	○	Paramount Pictures France
トイ・ストーリー3	米国	2010年	758	4,362,701	\$40,499,578	○	○	Walt Disney Studios Motion Pictures France
塔の上のラプンツェル	米国	2010年	729	3,986,786	\$39,405,587	○	○	Walt Disney Studios Motion Pictures France
カールじいさんの空飛ぶ家	米国	2009年	721	4,508,949	\$38,666,686	○	○	Walt Disney Studios Motion Pictures France
メアリー&マックス	オーストラリア	2009年	152	192,933	-	○	○	Gaumont Distribution

ファンタスティック Mr.FOX	米国	2009年	163	35,881	\$2,278,744	○	○	Twentieth Century Fox France
コララインとボタンの 魔女	米国	2009年	438	395,745	\$3,037,196	○	○	Universal International Pictures France
アイス・エイジ3/テ ィラノのおとしもの	米国	2009年	783	7,803,757	\$69,240,468	○	○	Twentieth Century Fox France

注) 数値はすべてフランス国内。1米ドル=110.63円 (2019年3月28日終値)

出所: JP's Box-Office (のデータを基に EBS 作成

<http://jpbox-office.com/>

(iii) 主要な DVD アニメ販売作品一覧

表 35: フランスでリリースされた主なアニメ DVD/Blu-ray

作品名	発売年	配給会社
ヴァンパイア騎士	2010年	Kazé
デス・パレード	2016年	Kazé
寄生獣	2016年	Anime
僕のヒーローアカデミア	2017年	Kazé
暗殺教室	2017年	Kana
君の名は。	2017年	Anime
テイルズ オブ セスティリア ザ クロス	2018年	Kana
六花の勇者	2018年	Anime
ユUri!!! on ICE	2019年	Anime
聲の形	2019年	Kazé

出所: Amazon.fr を参考に EBS 作成

<https://www.amazon.fr>

表 36: フランスでリリースされた主な外国制作アニメーション DVD/Blu-ray

作品名	制作国	発売年	年間売上順位
モアナと伝説の海	米国	2017年	1
トロールズ	米国	2017年	18
カーズ/クロスロード	米国	2017年	19
ズートピア	米国	2016年	3
ターボ	米国	2016年	12
アールと少年	米国	2016年	18
アナと雪の女王*	米国	2015年	5
ミニオンズ	米国	2015年	14
インサイド・ヘッド	米国	2015年	18

\* 「アナと雪の女王」は翌年 2016 年にも Top20 (16 位) にリストアップされている。

出所: CNC 発行 “Result2017” “Result2016” “Result 2015” 掲載の各年 「Top20 physical videl sales」より抽出

(iv) 主要なインターネット配信アニメ作品一覧

表 37： フランスでインターネット配信されている主な日本のアニメ作品とその VOD プラットフォーム (2019 年 3 月現在)

作品名	VOD
僕のヒーローアカデミア (シーズン 2&3)	ADN
BLEACH	ADN
BORUTO-ボルト- NARUTO NEXT GENERATIONS	ADN
FAIRY TAIL	ADN
キャプテン翼	ADN
ONE PIECE	ADN
聖闘士星矢 セインティア翔	ADN
犬夜叉	ADN
NARUTO -ナルト- 疾風伝	ADN
名探偵コナン	ADN
ジョジョの奇妙な冒険 黄金の風	ADN
ソードアート・オンライン アリシゼーション	Wakanim
進撃の巨人	Wakanim
ゲゲゲの鬼太郎	Wakanim
進撃の巨人	Wakanim
約束のネバーランド	Wakanim
かぐや様は告らせたい～天才たちの恋愛頭脳戦～	Wakanim
ブラッククローバー	Crunchyroll
ドラゴンボール超	Crunchyroll
ダーリン・イン・ザ・フランキス	Crunchyroll
盾の勇者の成り上がり	Crunchyroll
モブサイコ 100	Crunchyroll
ジョジョの奇妙な冒険	Crunchyroll
Re:ゼロから始める異世界生活	Crunchyroll
ユーリ!!! on ICE	Crunchyroll
ポケットモンスター XY	Netflix
メタルファイト ベイブレード	Netflix
-ナルト- SD ロック・リーの青春フルパワー忍伝	Netflix
デジモンクロスウォーズ	Netflix
ルパン三世 (パート 4)	Netflix
アグレッシブ烈子	Netflix

注) 複数の VOD プラットフォームで配信されている作品も多い。

出所：各ウェブサイトを参考に EBS 作成

ADN: <https://animedigitalnetwork.fr/>, Crunchyroll: <https://www.crunchyroll.com/fr>,  
Wakanim: <https://www.wakanim.tv/>, Netflix: <https://www.netflix.com/fr/>

表 38： フランスでインターネット配信されている主な外国制作アニメーション作品とその VOD  
プラットフォーム

オリジナル フォーマット	タイトル	制作国	公開/ 発売年	VOD			
				Orange	MyTF1	CANAL VOD	France. TV
映画	インクレディブル・ファミリー	米国	2018 年	○	○	○	
映画	犬ヶ島	ドイツ/米国	2018 年	○	○	○	
映画	生きのびるために	カナダ/アイスランド/ルクセンブルグ	2018 年	○	○	○	
映画	SING/シング	米国	2017 年	○	○		
映画	リメンバー・ミー	米国	2017 年	○	○	○	
映画	トロールズ	米国	2016 年	○	○	○	
映画	モアナと伝説の海	米国	2016 年	○	○	○	
TV シリーズ	スーパーウィングス	韓国	2014 年		○		
TV シリーズ	Teen Titans Go!						○
TV シリーズ	レゴ ニンジャゴー	デンマーク/米国	2011 年				○

出所：ALLOCINE より抽出し EBS で作成。  
<http://www.allocine.fr>

(2) 現地主要企業およびバイヤー

① 現地主要企業およびバイヤーリスト

(i) VIZ Media Europe

社名	<b>VIZ Media Europe</b>
所在地	VIZ Media Europe S.A.R.L. 8 rue Ambroise Thomas - 75009 Paris - FRANCE
ウェブサイト	<a href="http://vizeurope.com/en/">http://vizeurope.com/en/</a>
連絡先	Mr Julien Lemoine (Digital & DVD B2C France Executive Manager) Tel: +33 (0)1 72 71 53 53 (代表) Email: <a href="mailto:julien.lemoine@vizeurope.com">julien.lemoine@vizeurope.com</a>
企業概要	<p>欧州市場における、日本マンガ・アニメの権利仲介、テレビ放送権、DVDの販売、映像配信を事業内容とする。集英社、小学館、小学館集英社プロダクション (Shopro)の3社出資による欧州現地法人で、ライセンサーとして多くのヒット作品を取扱う。フランスでアニメのビデオ販売、マンガ出版を展開してきた Kazé グループを2009年に買収し、Kazéが運営するアニメ VOD 配信プラットフォームである Anime Digital Network (ADN) も傘下となった。</p> <p><b>図 13 : VIZ EUROPE Group の構成図</b></p> <p>出所 : VIZ Europe ウェブサイト (<a href="http://vizeurope.com/en/parents-company">http://vizeurope.com/en/parents-company</a>)</p>
主な取扱作品	「べるぜバブ」「ブラック・ラグーン」「青の祓魔師」「ブルードラゴン」「Death Note」「BLEACH」「とっとこハム太郎」「きらりん☆レボリューション」「黒子のバスケ」「マギ」「ペンギンの問題」「テンカイナイト」
出展もしくは参加展示会	主要展示会の殆どに参加している。 Japan Expo、MIPTV、MIFA (フランス)、TIFFCOM (日本)、Anime Japan (米国)
日本企業とのコンタクト方法	
JETRO のバイヤー招聘事業への関心有無	

(ii) Kazé

企業名	<b>Kazé S.A.S</b>
所在地	VIZ MEDIA EUROPE S.A.R.L. 8 rue Ambroise Thomas 75009 Paris - France
ウェブサイト	Kazé Anime: <a href="http://anime.kaze.fr">http://anime.kaze.fr</a> Kazé Manga: <a href="http://manga.kaze.fr/">http://manga.kaze.fr/</a>
連絡先	VIZ Media Europe S.A.R.L. 8 rue Ambroise Thomas 75009 Paris France

	Tel: +33 (0)1 72 71 53 53 Fax: +33 (0)1 42 96 97 36 Email: <a href="mailto:sav_kaze@vizeurope.com">sav_kaze@vizeurope.com</a>
企業概要	Viz Media Europe の傘下で、フランス・ドイツ市場にてアニメのローカライズ、DVD 制作販売、デジタル映像配信、マンガ出版などの事業を展開する。2009 年に VIZ Media Europe の傘下となり、従来の取扱作品と VIZ Media によるライセンス保有作品の両方を取扱う。Anime Digital Network (ADN) にて VOD プラットフォームも展開する。
主な取扱作品	「アカメが斬る!」 「BLEACH」 「ドラゴンボール Z」 「黒子のバスケ」 「シティーハンター」 「ONE PIECE」 「美少女戦士セーラームーン」 「僕のヒーローアカデミア」 「青の祓魔師」 「聲の形」

(iii) Anime Digital Network

企業名	<b>GIE ADN Anime Digital Network (ADN)</b>
所在地	VIZ MEDIA EUROPE S.A.R.L. 8 rue Ambroise Thomas 75009 Paris - France
ウェブサイト	<a href="https://animedigitalnetwork.fr">https://animedigitalnetwork.fr</a>
連絡先	Mr. Julien Lemoine Tel: +33 (0)1 72 71 53 53 Fax: +33 (0)1 42 96 97 36 Email: <a href="mailto:julien.lemoine@vizeurope.com">julien.lemoine@vizeurope.com</a>
企業概要	Viz Media Europe 傘下 Kazé が Media Participation 傘下の Kana と運営するアニメを配信する欧州最大 SVOD プラットフォーム。すでにアニメを配信していた Kazé による「Kzplay.fr」と Kana Home Video による「Genzai.fr」が統合され 2013 年に誕生した。日本の人気アニメシリーズの最新話に関しては、フランス語字幕を付して、日本の放送日翌日に配信している。6,000 話以上、映画は 250 作品以上を配信し、ストリーミング、ダウンロードを提供する他、別サイトの ADN Store <a href="https://store.animedigitalnetwork.fr/">https://store.animedigitalnetwork.fr/</a> にて DVD 販売をしている。
主な取扱作品	「聖闘士星矢 セインティア翔」 「ボルト-NARUTO NEXT GENERATIONS」 「フェアリーテイル」 「BLEACH」 「NARUTO-ナルト-疾風伝」 「僕のヒーローアカデミア」
出展・参加展示会	

(iv) Viacom International Media Networks France (Game-One/J-One)

企業名	<b>Viacom International Media Networks France</b>
所在地	Viacom International Media Networks France MTV 22, rue Jacques Dulud 92521 Neuilly sur Seine Cedex France
ウェブサイト	J-one: <a href="http://www.jone.com">http://www.jone.com</a> Game-One: <a href="http://www.gameone.net/">http://www.gameone.net/</a>
連絡先 (Game-One/J-One)	Ms. Aurore Davoine-Graziani (Programs and Content Manager) Tel: +33 (0)1 70 94 95 66 / +33 (0) 6 18 02 45 25 Email: <a href="mailto:aurore.davoine-graziani@vimn.com">aurore.davoine-graziani@vimn.com</a>
企業概要	<b>Viacom International Media Networks France</b> 米国の世界的メディア企業であるバイアコム (Viacom) グループ、バイアコム・インターナショナル・メディア・ネットワークス (VIMN) のフランス法人。MTV、ニコロデオン、ニコロデオン.Jr、Paramount Channel などとともに、日本のポップカルチャーを提供する 2 つのケーブルテレビ局、Game-One と J-One を展開している。また規模は小さいが、2018 年に通信ネットワークの Orange による Pickle TV ( <a href="https://pickle.tv/orange.fr/discover">https://pickle.tv/orange.fr/discover</a> ) の中で、Manga-One というプラットフォームを開設し、SVOD 配信サービスを始めた。 <b>Game-One</b>



	<p>ビデオゲームに関するプログラムを提供する初のテレビ局として 1998 年に開局した。視聴率と視聴者ベースの拡大に向け、アニメの他米国作品も多数放映している。開局以来、日本のポップカルチャーに関する最も重要な放送局となっている。アニメはフランス語吹替版を提供し、日本のアニメ、マンガなどに関する情報番組も放映する。衛星、ケーブル、IPTV で視聴可能。</p> <p><b>J-One</b> 日本を中心とするアジアのポップカルチャーに特化したテレビ局。J-One ではバラエティー番組やドラマシリーズなども放映しているが、最新のアニメを視聴者が合法的に楽しめることを最大の強みとし、最新シリーズについては、日本のテレビ放映翌日にフランス語字幕付きで放映している。 CanalInternational と Numericable の 2 つのケーブルネットワークでのみ視聴可能。</p>
主な取扱作品	<p><b>Game One</b> 「ボルト-NARUTO NEXT GENERATIONS」「ドラゴンボール改」 「NARUTO-ナルト-疾風伝」「ONE PIECE」</p> <p><b>J-One</b> 「ONE PIECE」「名探偵コナン」「ゲゲゲの鬼太郎」「ラディアン」「ゴブリンスレイヤー」「学園 BASARA」「東京喰種」「蒼天の拳」「メルクストーリー」「黒執事」「クロックワーク・プラネット」「ウィッチクラフト・ワークス」</p>
出展もしくは参加展示会	<p>主要展示会の殆どに参加している。 Japan Expo、MIPTV、MIFA（フランス）、TIFFCOM（日本）、Anime Japan（米国）</p>
日本企業とのコンタクト方法	<p>直接アプローチを受けることも多いが、主要展示会やイベントといったマーケットプレイスを活用している。日本に拠点を持たないが、日本のライセンスホルダーとはフランスでコンタクトを取れる機会が多い。フランス国内の制作会社や配給会社などを仲介することが多い。JETRO を通して、日本の地方公共団体と関わる機会もある。</p>
JETRO のバイヤー招聘事業への関心有無	

(v) Crunchyroll

企業名	<b>Crunchyroll</b>
所在地	米国本社 835 Market St, San Francisco CA United States
ウェブサイト	<a href="https://www.crunchyroll.com">https://www.crunchyroll.com</a>
連絡先	<p>Mr. Olivier Fallaix (Market Development Manager-France) Tel: +33 0 6 60 62 87 07 Email: <a href="mailto:olivier.fallaix@gmail.com">olivier.fallaix@gmail.com</a></p>
企業概要	<p>米国から世界各国にアニメを配信する世界最大級のストリーミングプラットフォーム。最新エピソードは日本配信日と同日の字幕配信。AT&amp;T's WarnerMedia グループ傘下の Otter Media 子会社。全世界のユーザー数 4,000 万人以上、有料会員数 100 万人以上。アニメ、ドラマの映像ストリーミングの他、マンガ配信（サイマル配信とダウンロード型電子書店）、マーチャンダイジングも手掛ける他、2018 年からはゲーム配信も開始した。クランチロールエキスポ、アニメアワードといったアニメイベントも開催している。作品プロモーションやマーケティング事業も展開する。米国では 900 作品以上、25,000 エピソード以上が視聴可能となっている。（数値はすべて 2018 年現在。）フランスではフランス語圏（フランス、ベルギー、ルクセンブルグ、モナコなど）を対象としたプラットフォームが開発、運用されている。フランスは 2014 年にサービスを開始したため後発となり、約 6,000 エピソードが配信されている。最新のアニメシリーズに関しては、日本での放映から 1 時間後に配信。</p>
主な取扱作品	<p>「91 Days,」「あいまいみー」「アホガール」「悪魔のリドル」「ぼのぼの」「だんちがい」「どーにゃつ」「迷家-マヨイガ-」「終末のイゼッタ」「トリニティセブン」「風のあすから」「ナンバカ」「のんのんびより」「ヤマノススメ」</p>

出展・参加展示会	東京オフィスがあり、制作会社との直接取引がメインのため、展示会等へは積極的に参加していない。
日本企業とのコンタクト方法	東京オフィス（クランチロール株式会社）による
JETRO のバイヤー招聘事業への関心有無	東京オフィス（クランチロール株式会社）による

(vi) Eurozoom

企業名	<b>Eurozoom</b>
所在地	22 Rue la Fayette, 75009 Paris, France
ウェブサイト	<a href="https://www.eurozoomcine.com/">https://www.eurozoomcine.com/</a>
連絡先	Mr.Amel Lacombe (CEO & Founder) Tel: E-mail: <a href="mailto:amel@eurozoom.fr">amel@eurozoom.fr</a>
企業概要	1997年に作家性の高い作品を紹介するために創業されたフランスの独立系映画配信会社。フランス作品も多く取扱う中で、日本映画に注力し、アニメ作品も積極的に配給、フランスにおける日本映画配給のパイオニア的存在となっている。2016年には「君の名は」をフランス国内配給、大成功となった。
主な取扱作品	「リズと青い鳥」「君の名は」「劇場版マジンガーZ」「劇場版ソードアート・オンライン -オーディナル・スケール」「ひるね姫 ～知らないワタシの物語～」、「アップルシード」「時をかける少女」「夜明け告げるルーのうた」「ONE PIECE FILM Z」「ジョバンニの島」「サカサマのパテマ」「花とアリス殺人事件」「おおかみこどもの雨と雪」、「カラフル」、「百日紅 - Miss. HOKUSAI - 」「NARUTO - ナルト - 」「ワンピース フィルム ストロングワールド」「BORUTO - ボルト - 」

(vii) Mangas

企業名	<b>Mangas</b>
所在地	Mediawan Thematics 132 Avenue du President Wilson 93213 La Plaine Saint Denis Cedex France
ウェブサイト	<a href="http://www.mangas.fr">http://www.mangas.fr</a>
連絡先	Tel: +33 (0)1 49 22 20 01 <a href="mailto:contact@mangas.fr">contact@mangas.fr</a>
企業概要	1996年にフランス語圏大手メディアグループのGroupe ABが青少年向けテレビチャンネルのAB Cartoonsを開局し、アニメの人気に伴い、1998年に「Mangas」にチャンネル名を変更し、アニメに特化し現在に至る。アニメ作品の放映と関連情報番組を組み合わせたプログラムとなっている。衛星、ケーブル、IPTVで視聴可能。
主な取扱作品	「シティーハンター」「コブラ」「マスク」「ドラゴンボール」「ドラゴンボールZ」「聖闘士星矢」「キャプテン翼」「モブサイコ 100」

(viii) Wakanim.tv

企業名	<b>Wakanim.tv</b>
所在地	99A Boulevard Descat, B. 207, 59200 Tourcoing France
ウェブサイト	<a href="https://www.wakanim.tv">https://www.wakanim.tv</a>
連絡先	Tel: +33 (0)3 59 22 15 84 ウェブフォーム： <a href="https://www.wakanim.tv/fr/v2/static/contactus">https://www.wakanim.tv/fr/v2/static/contactus</a>
企業概要	ソニー・ミュージックエンタテインメントグループのアニブックス子会社。2010年からフランス語圏を中心に日本のアニメを主とした配信サービスを展開し、フランスのアニメ事業先駆者として市場をリードしてきた映像配信会社。

主な取扱作品	ばくおん!!」「青の祓魔師」「コメット・ルシファー」「ダンガンロンパ」「ダンまち」「エロマンガ先生」「ハイキュー!!」「花物語」「活撃 刀剣乱舞」「三ツ星カラーズ」
--------	--

(ix) Kana Home Video

企業名	<b>Kana Home Video</b>
所在地	Média Participations, Kana Home Video 57 rue Gaston Tessier 75019 Paris France
ウェブサイト	<a href="http://www.kana.fr/animes/">http://www.kana.fr/animes/</a>
連絡先	Ms. Emmanuelle Philippon Verniquet Tel: +33 (0) 1 53 26 32 38 Email: <a href="mailto:presse@mangakana.fr">presse@mangakana.fr</a>
企業概要	マンガ出版社の Kana publishing company によって設立されたアニメの DVD/Blu-ray 配給会社。Media Participation グループの傘下。多くのアニメ作品についてフランス語圏市場での DVD/Blu-ray 販売ライセンスを所有している。2013 年に Kazé との協業でビデオ配信プラットフォームの Anime Digital Network(ADN)を開設した。
主な取扱作品	「亜人」「オールアウト!!」「黒執事」「コンクリート・レボルティオ～超人幻想～」「ディー・グレイマン」「Death Note」「エンドライド」「フェアリーテイル」「ハンター X ハンター」「殺せんせーQ (クエスト) !」「ログ・ホライズン」「NARUTO-ナルト」「NARUTO-ナルト-疾風伝」「ノーゲーム・ノーライフ」「ONE PIECE」「オーバーロード」「パラダイス・キス」「PSYCHO-PASS サイコパス」「聖闘士星矢 Ω」「テイルズオブゼスティリア」「七つの大罪」「ウィッチクラフト・ワークス」

(x) Wild Bunch Distribution

企業名	<b>Wild Bunch Distribution</b>
所在地	65 rue de Dunkerque 75009 Paris France
ウェブサイト	<a href="http://www.wildbunch-distribution.com">http://www.wildbunch-distribution.com</a> <a href="http://wildbunch.eu">http://wildbunch.eu</a>
連絡先	Tel. +33 (0)1 72 71 53 53 / +33 (0)1 43 13 21 96 Email: <a href="mailto:distribution@wildbunch.eu">distribution@wildbunch.eu</a> / <a href="mailto:programmation@wildbunch.eu">programmation@wildbunch.eu</a>
企業概要	欧州内外の映画・テレビ番組約 2,200 作品のライセンスを取扱い、欧州各国と外国での配給や共同制作も手掛ける Wild Bunch Group のフランス拠点。VOD/SVOD 配信プラットフォームの Filmotv (http://www.filmotv.fr) を通じて作品のデジタル配信も実施している。2018 年に「MIRAI Ma Petite Soeur (未来のミライ)」のフランス配給権を得て話題となった。
主な取扱作品	「未来のミライ」「レッドタートル ある島の物語」「ドラゴンボール超 ブロリー」

## ② 現地主要企業およびバイヤーとの面談記録

### (i) Crunchyroll

Orivier Fallaix 氏 (Market Development Manager-France)

面談日：2019年2月19日

#### • Crunchyroll France

Crunchyroll France は、アニメのストリーミングサービスに特化している。フランスのアニメファンは最新作品を求めており、作品の鮮度が重要である。最新シリーズに関しては、日本放映1時間後に配信しており、この1時間後というタイミングは大変重要で、業界のスタンダードとなりつつある。1時間を超えてしまうと、ファンは違法ダウンロードという手段に走ることが分かっている。Crunchyroll はライセンサーと直接契約しているため、日本放映以前からフランス語版の準備を進めており、技術的には日本放映時間と同時配信が可能であるが、日本側が、まずは日本で世界に先駆けて放映という順番を守っているために実現していない。

#### • フランス市場

アニメの海外市場に関する統計は皆無と言える。統計資料に乏しい中で、フランスはアニメ海外市場で米国に次ぎ2番目に大きいと言われているが、米国と比較して圧倒的に小さな市場であるフランスの売上高がどれだけかは明確でなく、本当に世界2番目の市場規模かは常に疑問である。韓国をはじめとするアジア市場ではマンガ文化がフランス以上に確立しており、消費量もより大きいに違いない<sup>154</sup>。一方で、アニメに対する関心の高さと選択肢の多様性としては、フランスが世界第2位であることは確かである。アニメ市場統計が存在しない理由のひとつとして、Crunchyroll を含む配信プラットフォーム各社にとって、会員数、視聴回数、ダウンロード数、パフォーマンスなどの数値は企業秘密であり公表できない<sup>155</sup>。

#### • Crunchyroll のビジネスモデル

会員制 (SVOD) であるが、契約期間の縛りはなく、有料 (月額 4.99 ユーロ) と無料の二つの会員制度を提供している。有料会員は新作 (エピソード) を日本での放映1時間後に視聴できるが、無料会員は1週間後に視聴可能となる。無料会員制度は広告収入を財源としており、無料会員のみ視聴時に広告が入る。現在 Crunchyroll 利用者の8割は無料会員で、有料会員の増加による収益増を目指しているが、若年層を主要ターゲットにしているため、無料会員制度の提供は不可欠としている。米国ではマーチャンダイジングによる収益源もある。欧州でも今後展開予定となっている。

---

<sup>154</sup> 日本動画協会発行のアニメ産業レポート2018 ([https://aja.gr.jp/jigyuu/chousa/sangyo\\_toukei](https://aja.gr.jp/jigyuu/chousa/sangyo_toukei)) によると、アニメ作品の有効契約数では米国に次ぐのは韓国、台湾でフランスは4位となっており、Olivier氏の考察に合っている。

<sup>155</sup> テレビ局のGame-One/J-OneのAurore Davoine-Graziani氏もインタビューにて同様のコメントをしている。

- テレビ放送

フランスでは、アニメーションは子供向けという認識が強く、アニメーション番組は子供向けチャンネルと子供向けプログラム内で放映されている。ただしフランス欧州ともに子供向けアニメーションの制作は非常に盛んで、需要を十分に満たしているため、日本はこの分野を狙うべきではなく、本来得意とする青少年以上向けのアニメに注力するのが得策と考える。

- アニメ配信プラットフォームの課題

配信タイミングのスピード化と作品数の急増により、人気タイトル、シリーズの入れ替わりが激しくなっている。Crunchyroll では各シーズンに約 30 作の新作を追加している。新作の視聴率が高く、口コミなどで人気を高め、長期に渡って視聴されるのは数タイトルのみで、ほとんどが次のシーズンには忘れられてしまうのは残念である。

クォータ制に関しては、現状は米国からの配信サービスとして考慮していないが、将来的に対応を余儀なくされる可能性はある。

アニメに特化した配信プラットフォームをフランス 1 カ国だけで展開するのは大変不経済で困難な事業である。ライセンス取得からプラットフォームの開発運営まで、莫大なコストを 1 カ国の運営収益で賄うことは難しい。そのため、より多くの国・地域で同じプラットフォームを展開することが理想である。また、複数国で展開できたとしても、国によって視聴可能な作品が異なることにユーザーが不満を抱くのは当然である。したがって Crunchyroll は、アジアを除くグローバルライセンスを取得したいのだが、日本の制作会社はグローバルライセンスに積極的でなく、切り売りの収益性が高いと認識しているようだ。

- 共同制作シリーズ

Crunchyroll は、ライセンス取得作品の配信から、次のステージとなる作品の共同制作を開始した。これまで、日本の制作会社は共同制作に積極的ではなかったため、これは大きな前進である。その後は、独自制作作品の配信を見据えている<sup>156</sup>。ただし Crunchyroll のユーザーであるアニメファンにとっては日本のアニメがすべてであり、共同制作や Crunchyroll オリジナル作品であっても、コンテンツ素材はあくまでも日本で制作されなければならない。現状、共同制作シリーズは成功しているとは言えない。

(ii) Viz Media Europe (Anime Digital Network/ADN)

Julien Limoine 氏 (Digital&DVD B2C France Executive Manager)

面談日：2019年2月22日

- Viz Media Europe と ADN

Viz Media Europe は米サンフランシスコの Viz Media の関連企業で、集英社、小学館、小学館集英社プロダクションが 2009 年にフランスの KAZÉ Group を買収して設立した。B to B では欧

---

<sup>156</sup> Netflix は日本の制作会社 3 社と業務提携し、独自のアニメ作品の制作を発表している。(2019年3月12日付日本経済新聞記事)

州内の出版社への漫画のライセンスを供与し、アニメのライセンスは日本の権利保有者から欧州向けに権利を取得する。B to C では漫画出版社の KAZÉ Manga、ビデオ編集の KAZÉ Video、デジタルプラットフォームの ADN がある。

ADN は 2013 年に、KZ PLAY (KAZÉ が運営) と Genzai (大手出版社 Media Participation 傘下の Citel Video のレーベルである Kana Home Video が運営) が統合されて誕生した。2018 年 1 月には DVD 市場の縮小とストリーミングの拡大というトレンドに対応するため、Viz Media Europe と Media Participation が GIE (経済利益グループ) を設立した。

- テレビ放映におけるアニメの割合

フランスの地上デジタル放送 (TNT) でのアニメの割合は明確ではないものの、極めて小さい。また、ペイテレビなどその他テレビチャンネルでもストリーミングに比べてかなり少ない。これは欧州以外の外国作品の放映を制限するブロードキャスト・クォータ制により、欧州以外の作品の放映が認められる 40%の枠内は米国のプログラムで占められるためである。

なお 2015 年頃に日本のアニメ放映の割合は大幅に低下しているが、これはチャンネル「D17」で「ワンピース」のシリーズ放映が終了した時期に一致する。これがやや盛り返したのは、「キャプテン翼」の放映によるという。

- DVD 市場と ADN の戦略

フランスの DVD 市場は約 4 億 4,800 万ユーロである。このうちアニメの割合についての正確なデータはないが、1,800 万~2,000 万ユーロ程度である。このうち KAZÉ は約 20%を占めて首位となっている。DVD 市場は急速に縮小し、平均価格も毎年低下してきた。しかし今や DVD は視聴用コンテンツというよりマーチャндаイジング製品になっており、アニメの熱心なファンにとっては物理的に DVD を所有することが依然として重要である。このため KAZÉ は、コレクター用 DVD ボックスセット、作家のサインやオリジナル描画を付けた DVD の販売により、価格の引き上げも図っている。DVD を購入する年齢層の大半は 35 歳以上で、依然として物理的な DVD を求める層であり、「ドラゴンボール」や「キャプテン翼」などを観て育った世代である。

- ストリーミング市場と ADN の戦略

フランスのアニメのストリーミングに関する一般的な情報源はない。配信サービスの中で TVOD (Transactional Video On Demand/都度課金制動画配信) は急速に縮小し、今ではほとんどが SVOD になっている。ただ ADN のラバルである Wakanim には依然として TVOD もある。Crunchyroll と Wakanim は日本でのテレビ放映後 1 時間での配信と 1 週間の独占配信をビジネスモデルとし、これをセールスポイントにしている。これは日本のテレビ放映後 5 時間で違法ダウンロードが出回ることに對抗する手段でもある。ただ ADN は、これをセールスポイントとはせず、吹き替えなどの編集を含めた包括的なカタログを持つことを目標にしている。実際に同社は、1 時間後配信から編集とコンセプトを備えた調和のとれたコンテンツのカタログに代わりつつあり、マーケティング予算もこれに投じているという。1 時間後配信は著作権侵害に対抗するには依然として重要なものの、もはや最優先事項ではないと考えている。

同社ではコンテンツを消費者に提供するだけでなく、正確な吹き替えなど編集機能を充実させ

て消費者を啓蒙することを重視している。「ワンパンマン」のシリーズでは、声優としてフランスで人気のラッパー、Orelsan を起用したことで、人気は 10%以上高まったという。また、「ワンパンマン」では 2016 年初めの視聴者が 50 万人だったが、2018 年のシリーズでは 150 万人に拡大した。これは米 Funko のフィギュアが登場したことが大きいという。ADN の「ワンパンマン」のライセンスに関する人気度調査では、フランスの 18~49 歳で同シリーズを知っている人の割合は 25%と非常に大きいことが判明している。

ADN の契約者に対する調査では、25%が Wanim か Crunchyroll の契約者で、この層はアニメの熱烈なファンである。ただ 2 年前にはこれが 40%を占めていたため、プラットフォームの発展に伴って消費者は異なる層に広がってきている。また ADN の契約者のうち約 50%は Netflix の契約者であり、ADN が Netflix の補完的な位置づけになっている。Netflix との厳しい競争にさらされているものの、ADN の利点は Netflix の市場を補完する市場を開発していることである。ただ Netflix がフランスのストリーミングプラットフォームの CanalPlay を打ち負かしたのと同じ手法で、米国の Funimation や Crunchyroll が欧州市場を奪う可能性もあるという。

ADN では SVOD のほか AVOD も提供している。2018 年 4 月から「ワンパンマン」の第 2 シーズンを AVOD で配信しているが、SVOD の契約者に影響が出ることはなく、違法ダウンロードから合法的サービスへの顧客の取り込みにつながっている。

- アニメのフランスアニメに対する新たな影響

フランスや欧州のアニメは主に子供向けとされ、アニメが軽視されている。日本では、アニメとはクリエイターがテーマについて語る一つのフォーマットとなっており、独自の描画スタイルやコンセプトなどの特徴があり、広範なテーマを対象にしている。ただ、フランスでも新たなアニメが誕生している。フランスで制作された「Lastman」はシナリオも描画もフランス人によるもので大きな成功を収めたが、美的感覚や描画スタイルは日本のアニメに非常に大きな影響を受けている。ただし資金調達をはじめ制作面では苦労しており、日本が何らかの形でこうしたフランスの動きを支援できないかと ADN は考えている。

- アニメの課題

Netflix が世界的なアニメの需要に対応するため、日本のアニメ・スタジオと独占契約を結んで Netflix 用のコンテンツを発注している。Netflix は膨大な消費者データを駆使して、アニメの制作プロセスにも介入してくる。大型予算により多くのコンテンツが制作されるものの、創造性の自由がやや管理されている。このため日本のアニメ・スタジオがこうしたプラットフォームに完全に依存するようになると、本来のオリジナリティが失われる懸念がある。さらに Netflix ではアニメシリーズは多くのカタログの 1 つにすぎないため、アニメシリーズを宣伝するマーケティング予算はほとんどなく、マーチャンダイジングなどにも何も影響を与えないため、市場機会を失うことになる。

また、日本のボズ (Bones) やマッドハウス (Madhouse) など一部のアニメ・スタジオは熱心なファンの間ではよく知られているものの、世界的には Studio Ghibli に続くブランドが出ていない。GC を駆使したアニメで知られる米国の Pixar Animation Studios は常に進化している世界的に知られるブランドだが、こうしたブランドが日本から出てきていないのが残念である。

- アニメのライセンス保有者への要望

日本のアニメ業界は米国を優先し、常に欧州は後回しになっている。フランスの市場規模やフランス市場のもたらす価値を考えると、これは理解しがたい。米国に比べれば市場規模は小さいのは確かだが、欧州市場を軽視している印象を受ける。日本のアニメ・スタジオや権利保有者が欧州市場の特徴を理解することを望んでいる。

例えば最近、集英社の漫画である「Dr.STONE」のアニメの権利を取得しようとしたが、プロデューサーは世界的プラットフォームとの契約を選んだ。もしライセンスを分割して欧州各国に個別に売れば、関連コストはかかったとしても利益は大きくなるはずである。ライセンスの利用も全てを標準化する世界的な販売会社よりも各国の会社のほうが高まるはずである。

すでに ADN は、サブライセンスを日本の権利保有者からではなく米国から購入する必要がある。例えば、世界的権利を保有するもののフランスで運営していない Funimation から購入しなければならない。こうした状況に、欧州市場が日本のアニメ・スタジオに無視されていると感じている。

また、アニメは日本のソフトパワーと考えられるが、そのパワーは米国によって弱体化される可能性がある。Netflix がその好例だが、同じ取り組みに乗り出す Crunchyroll にも当てはまるといえる。

### (iii) Viacom International Media Networks France (Game-One/J-One)

Aurore Davoine-Graziani 氏 (Programs and Content Manager Game-One and J-One)

面談日：2019年3月11日

- Game-One と J-One

Game-One と J-One は、主に日本のポップカルチャーに特化したテレビ局で、フランスとアメリカを含むフランス語圏の多くで放映している。20年前に開局したこの分野におけるパイオニア的存在であり、現在も業界リーダーとしての地位を保っており、重要な新作の開発やリリース時に最初にアプローチを受けることが多い。

Game-One は、ビデオゲームに関する番組とアニメを中心に構成されている。アニメに関しては、J-One よりも幅広い層をターゲットにした作品のフランス語吹替版を放映している他、アニメ、マンガといったポップカルチャーをフィーチャーしたショープログラムも多数放映している。

一方で J-One はアニメ作品のサイマル放映が主体で、日本放映の翌日にフランス語の字幕付きで放映している。Canal と Numericable という2つのケーブルネットワークのみで放映されているため、Game-One よりもターゲットを絞った作品展開となっている。ゲームとアニメ以外のプログラムも多く、日本映画やバラエティー番組の他、Viacom 傘下という強みを生かし、MTV Japan の協力で日本開催のコンサートや音楽番組も放映している。日本映画に関しては、「劇場版 NARUTO -ナルト-」や「「おおかみこどもの雨と雪」といった大ヒット作を放映している。



- 新作の放映タイミング

J-One はテレビ局であり、テレビ放送は放映プログラム枠が設定されており、児童保護の観点から番組の放映時間帯にも法規制がある。そのため、VOD プラットフォームにおける日本放映 1 時間後というタイミングは、テレビでは実現不可能であり、日本放映の翌日放送としている。

- アニメ作品のテレビ放映の重要性

Game-One と J-One は、フランスにおけるアニメ人気とコンテンツ事業の成功に大きく貢献している。アニメ番組に限らず、マンガ、マーチャンダイズなどの分野にも影響している。例えば「Naruto」は、Game-One での放映が作品の大ヒットに繋がり、フランスに「Naruto」旋風を巻き起こしたと言える。SVOD 配信が躍進する中でも、より幅広い層に作品を紹介できるテレビ放映の影響力は強く、映像に限らず、例えば同タイトルのマンガ本の売上増にも繋がることもある。

- アニメ配信プラットフォームとの協力

アニメ配信プラットフォームの ADN、Crunchyroll、Wakanim とは常に協力体制にある。彼らは日本のライセンスホルダーとの仲介業者の役割も担っており、新作の独占権を共有する場合もあれば、彼らが購入した包括ライセンスのうちテレビ放映権のみを当社が譲り受ける場合もある。

- Game-One/J-One のビジネスモデル

メディアグループによるテレビ局であり、運営収益と広告収入で成り立っている。

- ヒット映画の影響

宮崎駿監督作品など映画作品は、アニメに対する否定的イメージや懸念の払しょくに大きく貢献した。これらの映画の成功により、日本のアニメーションは文化的、知的で洗練されたものあるという認識が大いに広まり、テレビ番組に対する認識にも好影響を与える結果となった。

- 情報番組の制作放映とその効果

Game-One/J-One ではアニメやその他日本の番組の字幕・吹き替え版を放映しているだけではなく、アニメをはじめとする日本のポップカルチャーの紹介やレビュー、分析を行う情報番組も制作し放映している。これはフランスのブロードキャスト・クォータ対策ではあるが (①概要 (i) 参照)、大変注力している分野である。Game-One/J-One の持つライセンスと放映シリーズは業界一であり、最も売れているマンガのほとんどが、Game-One/J-One で放映された作品のマンガ版である。日本の制作会社、ライセンスホルダーは、我々の情報番組が、作品の放映後も、関連するゲームやマンガ、キャラクター商品 (マーチャンダイズ) を紹介していることを歓迎している。Game-One/J-One は、ライセンスができることの視野を広げて広範囲にカバーしている。これは日本のライセンサーにとって、フランス市場にアニメをより浸透させる、より面白い手段となる。

- 作品中の違法広告問題

日本のアニメでは、広告目的で商標や商品名を背景など作品中に表示する「プロダクト・プレ

イスマント」が頻繁に行われているが、これはフランスでは違法行為となる。フランスで流通されている商品が表示されている場合には編集の上削除しなければ放映できない。日本の制作者とライセンスホルダーの理解と編集許可を得ることに困難が生じる場合がある。

- 字幕・吹き替えの問題

フランスでは、字幕や吹き替え番組について、あらゆる発言と、背景に書かれた店名や小さなシンボルから提供クレジットまで作品中に流れるすべての内容に字幕・吹き替えを施すことが法律で求められている。英語作品でこの作業はあまり問題とならないのだが、日本の作品、特に「SASUKE」などのエンターテイメント番組では膨大な作業となり問題である。

- ビジネス慣習の違い

フランスのアニメ市場に関する統計情報が乏しいのは、数値が重要な企業秘密として各社が非公開としているからである。日本は統計を最重要視し、日本のライセンスホルダーとの交渉時も、すべてにおいて数値の提示が求められるが、フランスではそのような情報の提示は難しい場合も多い。また日本のライセンスホルダー、制作会社とのプロジェクトでは、ありとあらゆる事柄にそれぞれ合意と承認の手続きを踏まなければならない、時間がかかる。Game-One は良いパートナーであり、ライセンスホルダーにとってリスクとなるようなことはしないのだが、何事にも承認手続きを踏んでいる。